

令和4年度第3回つくば市スポーツ推進審議会 次第

日時：令和5年3月15日（水）10時00分から

場所：つくば市役所本庁舎2階 防災会議室2

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

【審議事項】 第2次スポーツ推進計画策定について

4 そ の 他

5 閉 会

〈配付資料一覧〉

- つくば市スポーツ推進審議会委員名簿
- スポーツ推進計画策定スケジュール
- 〔資料1〕 第2次つくば市スポーツ推進計画策定
- 〔参考資料1〕 令和4年度つくば市スポーツ活動調査報告書（成人）
- 〔参考資料2〕 令和4年度つくば市スポーツ活動調査報告書（障害者）
- 〔参考資料3〕 令和4年度つくば市スポーツ活動調査報告書（子供）

つくば市スポーツ推進審議会委員名簿

任期:令和5年11月18日まで

No	氏名	性別	所属	区分等
1	酒井 利信 (サカイ トシノブ)	男	筑波大学体育系教授 博士(体育科学) 武道学	【会長】 学識経験者
2	萩原 武久 (ハキワラ タケヒサ)	男	つくば市スポーツ担当理事 (一社)つくば市スポーツ協会会長	スポーツ団体の代表者
3	齊藤 まゆみ (サイトウ マユミ)	女	筑波大学体育系教授 博士(スポーツ医学) アダブテッド・スポーツ科学	【職務代理者】 学識経験者
4	宮本 智雄 (ミヤモト トモオ)	男	つくば市中学校体育連盟会長 (つくば市立高崎中学校校長)	スポーツ団体の代表者
5	高野 文男 (タカノ フミオ)	男	つくば市議会議員 (市民経済常任委員会委員長)	市議会議員
6	青戸 克哉 (アオト カツヤ)	男	霞ヶ浦医療センター 整形外科医長	学識経験者
7	片岡 千恵 (カタオカチエ)	女	筑波大学体育系 准教授 学校保健学、健康教育学	学識経験者
8	石黒 澄子 (イシクロ スミコ)	女	(一社)つくば市スポーツ協会理事	スポーツ団体の代表者
9	木村 一男 (キムラ カズオ)	男	市民委員(公募)	市民委員
10	野村 友香里 (ノムラ ユカリ)	女	市民委員(名簿)	市民委員
11	木村 陸 (キムラ リク)	男	市民委員(公募)	市民委員
12	大久保 克己 (オオクボ カツミ)	男	市民部長	関係行政機関の職員

資料 1

第2次つくば市スポーツ推進計画

Ⅱ スポーツを取り巻く現状と課題

Ⅱ- i スポーツを取り巻く社会情勢の変化

1 国におけるスポーツ施策の動向

(1) 第3期スポーツ基本計画の策定

令和4年3月に策定された第3期「スポーツ基本計画」は、令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までの5年間で国等が取り組むべき施策や目標等を定めており、第2期計画において掲げた中長期的な4つの基本方針は今後も踏襲しつつ、スポーツを取り巻く環境や社会状況の遷移を踏まえ、「3つの新たな視点」を挙げています。

今後5年間に取り組む施策として、第3期からは新しくDXの推進、安全・安心の確保等の施策が強化されており、また、オリ・パラを契機とした国際交流・協力や、共生社会などの施策の強化などが示されています。

(2) スポーツ庁の創設

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの開催決定によるスポーツへの機運の高まりや、スポーツによる健康寿命延伸の可能性など、スポーツを社会発展により一層活用する必要性が高まる中で、スポーツ施策を総合的に推進するため、平成27年10月1日に文部科学省の外局としてスポーツ庁が発足しました。

スポーツ庁では「スポーツ基本法」の理念を実現するために、国際競技力の向上、スポーツを通じた健康増進、地域・経済の活性化、国際交流・協力、障害者スポーツの振興、学校体育の充実など、関係省庁や企業と連携しながらスポーツ行政を総合的・一体的に推進しています。

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

1964年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、戦後の日本の復興を世界に示す象徴的な大会となりましたが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、大会史上初の延期開催、大会参加者の感染症対策の徹底、無観客試合の導入など、スポーツとウィズコロナを象徴する大会となりました。

東京オリンピック競技大会は33競技・339種目205か国、東京パラリンピック競技大会は22競技・539種目161か国、それぞれ過去最多の選手の参加となり、我が国からも過去最多の選手が参加し、メダル数や入賞者数が大幅増となるなど、優秀な成績を収めたほか、幅広い世代や女性アスリート等が活躍しました。本大会を通してスポーツの価値や素晴らしさが、より一層認識されるとともに、スポーツの機運が高まりました。

2 県におけるスポーツ施策の動向

(1) 第2次茨城県総合計画で示すスポーツ施策

茨城県においては、令和4年3月に「第2次茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」を策定しています。令和4年度（2022年度）～令和7年度（2025年度）における県政運営の基本方針となるもので、スポーツについては、「基本計画Ⅲ 新しい人材育成 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城」において、「スポーツの振興と遊びのある生活スタイル」が施策として位置付けられています。

4年間の主な取組としては、ジュニア世代に重点を置いた選手の発掘・育成・強化や見るスポーツへの県民の参加の促進、指導者の資質向上や総合型地域スポーツクラブ等の活性化の支援、都市公園の魅力向上、地域資源であるフード、音楽、スポーツ、アウトドアなどを活かした取組などが示されています。

(2) 世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業

2019年（令和元年）茨城国体を契機とした選手強化及びスポーツ文化の醸成を継続させるため、令和2年から県及び県スポーツ協会主催で「世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業」を実施しています。国内外で活躍するトップアスリート輩出を目指し、①ジュニアアスリートの発掘・育成、②指導者の確保・活用、③トップアスリート育成モデル（育成システム）を進めています。

①ジュニアアスリートの発掘・育成では、各地で実施するスポーツ能力測定会（小学4年生を対象）で、運動能力の高い子どもを発掘するとともに、育成面では各種競技の経験、県内プロチームや大学・各種団体と連携した講座を実施しています。③トップアスリート育成モデル事業としては、県内にプロチームがあるサッカーとバスケットボールの2競技をモデルケースとし、ジュニア選手を年齢別に選抜し、プロチームや大学等と連携しながら、一貫した指導体制のもと選手の育成・強化を図っています。

(3) いばらきサイクルツーリズム構想

つくば霞ヶ浦りんりんロードは、霞ヶ浦や筑波山地域の風光明媚な自然風景、鹿島神宮などの歴史・文化的資産等を楽しめる全長約180kmの県整備のサイクリングロードです。令和元年に国指定のナショナルサイクルルートに認定され、スポーツ（サイクル）ツーリズムの観点からも活用が推進されており、県とつくば霞ヶ浦りんりんロード沿線7市が連携した広域レンタサイクルの実施、サイクルサポートステーションの設置、各種イベントの実施を行っています。

また、日本一のサイクリング環境を目指して「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の他、県全域に「奥久慈里山ヒルクライムルート」、「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」、「鬼怒・小貝リバーサイドルート（仮称・整備中）」などの多様なモデルルートを設定し、国内外からのサイクリストが「安心して」、「何度も」、「楽しめる」いばらきサイクルツーリズム構想を推進しています。

3 社会情勢の変化とスポーツとの関係

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

令和2年から感染拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、中長期に渡り感染症対策と向き合う中で、活動制限による運動不足から身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害や、子どもの健全な発育・発達への影響、テレワークの推進に伴う身体活動量の低下のほか、特に、中高年齢者については体力・生活機能の低下をきたすリスクが高まりました。今後は対策の緩和が見込まれるものの、引き続き感染予防対策を留意、実践しながらスポーツに親しむことが求められています。

(2) 子どもの体力低下

全国的に小・中学生の運動時間が減少し、運動をする・しない子どもの二極化が続いている中、「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、新型コロナの影響により小・中学生ともに体力レベルの低下傾向が進む状況が明らかになりました。子どもの運動時間の減少や学習以外のスクリーンタイムの増加、肥満の子どもの増加等に加え、学校の活動の制限により体力向上の取組が減少したことが要因とされています。スポーツが好きな子どもを増加させ、生涯にわたりスポーツを継続し、健康で幸福な生活を営む資質や能力の育成が求められています。

(3) デジタル技術革新の進展

ICT、AI（人工知能）、VRなどの技術開発が急速に進展しています。これらの技術は、新しい産業の創出・発展のみならず、人々の働き方やライフスタイル、健康管理、教育など、市民の生活に関わるあらゆる分野での活用が期待されています。スポーツ分野においても、トレーニング動画のオンライン配信や、VRを活用した新たなスポーツなど、多様な楽しみ方の創出が期待できます。

(4) 共生社会の実現

令和3年には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。東京2020大会では、障害の有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会を実現することを目指し、心のバリアフリーやユニバーサルデザインの普及などの様々な取組が実施されました。また、東京2030大会を契機とした取組とレガシーが継承されることが求められています。

さらに、スポーツ庁においては誰もが気軽にスポーツを行えるよう、身近な施設のユニバーサルデザイン化を推進する「スポーツ施設におけるユニバーサルデザイン化等推進事業」を進めており、令和5年3月には配慮事項や実践手法をとりまとめたガイドブックが作成されました。

(5) 学校部活動と新たな地域クラブ活動

少子化の加速や過度な練習による疲弊、指導時間等の教員への負担が全国的に問題視される中、スポーツ庁及び文化庁は令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応についての考え方を示しました。生徒数が減少し、学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により、生徒のスポーツ・文化芸術活動の場として整備することが求められています。また、指導者の質など部活動にとどまらないとの新たな問題を提起しており、地域の実情に応じた解決が求められています。

(6) スポーツビジネスの成長

スポーツは産業の一面を有し、海外等においては既に巨大産業となっています。スポーツ庁では、スポーツ市場の規模拡大に向け、まちづくりや地域活性化にも繋がるスポーツ施設の整備推進、スポーツ分野と他産業との連携による新事業創出と地域社会の課題の解決を目的とした取組を推進しています。スポーツで稼ぐことでスポーツ産業の活性化や市場の拡大化に繋がり、その収益をスポーツ環境の改善に還元することで、さらにはスポーツ参画人口の拡大に繋がるといった好循環を自律的に拡大していくことが期待されています。

(7) SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

2015年9月の国連サミットで採択された国際目標であるSDGsは、2030年までに持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。スポーツ分野においても、リサイクル素材によるスポーツウェアの生産、プロチーム等による環境対策とスポーツのイベント、誰でも参加できるスポーツ交流会、マイボトルの推進などの取組が進んでおり、スポーツの多様な力を活用してSDGs達成に貢献していくことが期待されています。

II - ii これまでの取組の実績と評価

第1次つくば市スポーツ推進計画では、「スポーツで“つながる” まち つくば」を基本理念として、4つの基本戦略に基づき各種施策を進めてきました。

取組の実績と評価は次のとおりです。

1 基本戦略1. ライフステージに応じたスポーツ活動の促進

施策の対象を「子ども」「高齢者」「障害者」「成人」の4つの主体に分けて、ライフステージに応じたスポーツ活動の促進を図りました。

仕事・家事・育児が忙しい世代（30代、40代）のスポーツ実施率の向上、障害者のスポーツの推進に関する施策・取組の満足度や認知度の向上、県内で低い状況にある子どもの体力の向上などを主な課題として、スポーツ協会との連携による各種スポーツ大会の開催、ニュースポーツや障害者スポーツなど各種スポーツの体験イベント、各世代にあわせたスポーツ教室、身近な施設としての学校体育施設の開放などに取り組みました。

新型コロナウイルスの感染拡大はスポーツにとっても大きな障壁となりましたが、一方で、社会にデジタル技術の急速な普及を促しました。こうした中、第41回つくばマラソン（令和3年）では、いち早く技術を取り入れ、アプリを活用したオンライン大会として実施しました。

これら実施した施策は個々には目標どおりの進捗、実績を得た取組も多く、一定の達成度があったと考えられます。特に、高齢者のスポーツでは、多くの軽運動教室やウォーキングイベントなどが頻度高く開催され、充実した内容となりました。学校部活動改革の取組についても全国の先導モデルとして注目されています。

しかし、スポーツ実施率においても、障害者スポーツの認知度においても目標には届いておらず、女性のスポーツ未実施率も増加しています。また、コロナ禍で子どもの体力も著しく低下してしまいました。スポーツ関連情報の入手については、依然としてアクセスしにくいといった声がきかれます。アンケート結果からも半数以上が、市の広報紙である「広報つくば」が情報源となっており、コロナ禍によりデジタル技術の普及が加速する中、SNSからの入手は1割にも満たない状況です。

2 基本戦略2. スポーツを通じた交流と組織基盤の強化

スポーツイベントやスポーツ教室を通して、スポーツを楽しみ、学び、理解する機会を提供するとともに、施設、指導者などの環境整備を図りました。

子どもから高齢者まで参加可能な様々なスポーツイベントによる交流の促進、スポーツ協会以外の地域のスポーツ団体への活動支援、学校との連携などを主な課題として、本市最大のスポーツイベントであるつくばマラソン、地域交流センターをいかしたスポーツ講座、スポーツを通じた国際交流、地域住民で構成されるスポーツ振興会への支援などの取組を進めてきました。

地域交流センターで行われる人気の高いヨガ、体操、ダンスなどの教室は、民間のスポーツクラブなどの立地が比較的少ない地域の市民に対して、スポーツ活動と交流の促進に大きく貢献していると考えられます。また、つくばマラソンは、ランナーの約7割は県外から訪れており、全国のランナーとの交流を図る絶好の機会となっているほか、観光推進や地域の活性化にも寄与しています。

しかし、スポーツ協会の登録団体数や会員数は年々減少している傾向にあり、コロナ禍で拍車がかかりました。またイベントや団体への支援については、多くは「する」スポーツに対するもので、「する」、「みる」、「ささえる」の3つの観点からはバランスが偏る結果となりました。

地域全体でのスポーツ文化への理解増進については、文部科学省は、「スポーツは、人間の体を動かすという本源的な欲求に応えるとともに、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びを与えるなど、人類の創造的な文化活動の一つ」であるとしています。

地域においては、住民の生活、文化的な営みの中でスポーツは身近に存在するものです。企業においては、例えば、アスリートのキャリアを支えることを社会貢献的価値としてとらえ、その活動が企業の文化として強く表れている場合があります。市内にも地域特有のスポーツ文化の実態があるものと想定されますが、こうした観点からの理解増進のための活動は極めて少なかったものととらえられます。

3 基本戦略3. スポーツ環境の整備・充実

スポーツイベントやスポーツ教室を通して、スポーツを楽しみ、学び、理解する機会を提供するとともに、施設、指導者などの環境整備を図りました。

スポーツ施設の適切な管理や新たな施設の整備検討、指導者の養成と資質の向上、スポーツ教室の民間スポーツクラブ等との差別化などを主な課題として、様々な事業に取り組みました。

スポーツ施設については、「つくば市スポーツ施設個別施設計画（令和3年3月）」に基づき各施設の修繕を進めたほか、陸上競技場、市民利用も可能な学校プール、スケートボードパーク、BMXレーシングコース等の新たな施設の整備を進めました。これらにより、様々なスポーツを安全・安心に楽しみ、学び、理解する機会は大きく広がるものと考えられます。

しかし、スポーツ施設の平日の低稼働率解消や、学校体育施設一般開放で不効率な運用の改善は課題として残ったままとなっています。また、陸上競技場やプール等の新たな施設の整備は、今後の利活用と維持管理に新たな課題を提示することにもなりました。

指導者の養成と資質の向上については、スポーツ協会において、スポーツ少年団指導者資格取得を増やしていく取組を積極的に進めており、人材育成に貢献しています。この取組はスポーツ少年団の指導者だけにかかわらず、部活動改革に伴う地域クラブのスポーツ指導者人材育成の基盤としても発展が期待されます。また、部活動改革を背景として、地域には指導者の質と量の確保が求められていますが、これまでの取組の継続だけでは対応は難しいものと考えられます。

スポーツ教室については、子どものスポーツをはじめるきっかけづくりとなる体験教室、民間では多くは実施されていないトレイルランニング教室や障害者スポーツ教室、交流センターなどを活用した地域住民のための教室などを実施しました。交流センターなどで実施したスポーツ教室では、特定の地区に偏らない身近な場所で行うことで参加者同士の交流機会の促進につながりました。スポーツ教室については、民間との差別化も図りながら進めましたが、例えば障害者スポーツの教室については、年間を通して参加できる環境を求める声も多く、こうした市民のニーズには応えられていない状況となっています。

4 基本戦略4. スポーツ団体との連携・協働の推進

スポーツの推進のために、地域の団体、関係するスポーツ団体、学校、大学・研究機関、国、茨城県などとの連携・協働の体制強化を図りました。

筑波大学と連携した「マラソンを科学する」をテーマとしたつくばマラソンの開催、本市に拠点を置くトップスポーツチームをスポーツイベントなどに招き、選手と市民との交流を通じたスポーツ振興や地域の活性化などを進めました。

連携・協働の体制づくりとして、つくば市におけるスポーツ推進のため筑波大学、筑波学院大学、つくばFC、つくばユナイテッドサンガイア、茨城ロボッツ、弱虫ペダルサイクリングチーム、大塚製菓の8者とそれぞれ協力・連携協定を結んでいます。

スポーツの推進を地域が一体となって総合的に行う取組としては、国、茨城県、筑波大学との連携・協働のもと、令和元年のいきいき茨城ゆめ国体（第74回国民体育大会）及びいきいき茨ゆめ大会（第19回全国障害者スポーツ大会）では、自転車（ロードレース）やアーチェリー等を市内で開催、令和3年の東京2020オリンピック競技大会では、聖火リレーやスイス選手団の陸上競技、柔道、自転車(MTB)の事前合宿の受け入れを行いました。

筑波大学とは、「マラソンを科学する」を大会テーマとして開催しているつくばマラソンの運営や障害者スポーツに関する共同研究、大学の先生を講師としたスポーツ教室の実施等に取り組みました。

地域の団体、企業などとは、スポーツに参加する機会や新たに楽しむ機会を提供するために市が開催している「スポーツフェスティバル」と(株)カスミ、関彰商事(株)、東京ガスネットワーク(株)の民間企業が開催している障害者スポーツイベント「つくパラ」を合同開催するなど、新たな連携を模索しながら、規模や内容の拡充を進めました。

一方で、体育専門学群のある筑波大学には、スポーツに関する国内トップレベルの専門家やアスリートが多く在籍し、スポーツにおけるつくば市の最大の強みの一つですが、専門家や学生の地域のスポーツ活動への参加などが主な連携事項で、スポーツ科学的なエビデンスの活用や、教員、学生との新たな連携など、筑波大学が持つ強みはもっと多くの場面でいかしていけるものと考えられます。

このほかトップスポーツチームとの連携の面からは、各競技の中央競技団体は、興行面からも観客やフィールドなどの基準を設定しており、それは市民サービスレベルの規模とのギャップが生まれます。トップスポーツチームと連携・協働を進めるうえで、それを通じて市域にどのような、「する」、「みる」、「ささえる」の環境を求めていくのが求められます。

5 成果指標について

第1次つくば市スポーツ推進計画では、①定期的にスポーツをする市民の割合と②スポーツの推進について満足している市民の割合について達成状況を評価する成果指標として設定しています。

第2次つくば市スポーツ推進計画に係る目標の達成状況は以下の通りです。

①定期的にスポーツをする市民の割合

(H30→R4)

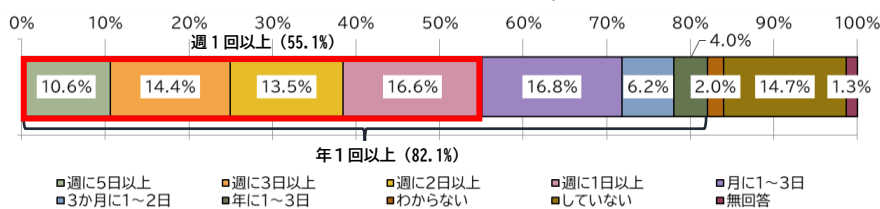
数値目標1	成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%以上にする。	↓ 55.1%
数値目標2	成人の年1回以上のスポーツ実施率を85%以上にする。	↓ 82.1%
数値目標3	障害者の週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションの実施率を50%以上にする。	↓ 38.3%

②スポーツの推進について満足している市民の割合

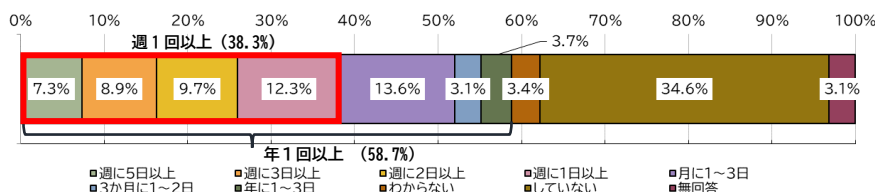
(H30→R4)

数値目標4	スポーツの推進について満足している市民の割合を55%以上にする。	↓ 37.0%
数値目標5	つくば市が実施している障害者のスポーツに関する取組の認知度の割合を50%以上にする。	↓ 40.9%

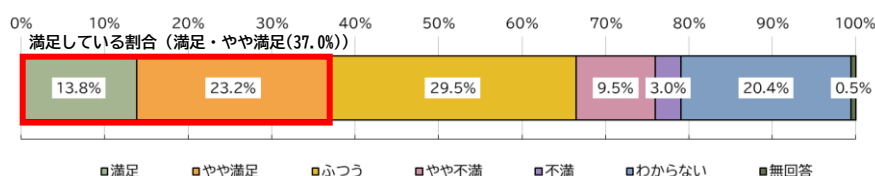
■数値目標1・2 【成人（市民）のスポーツ実施率】 n = 1,282



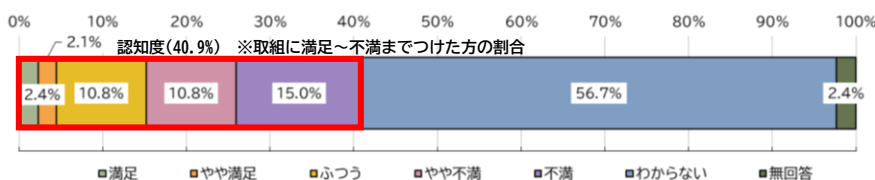
■数値目標3 【障害者のスポーツ実施率】 n = 381



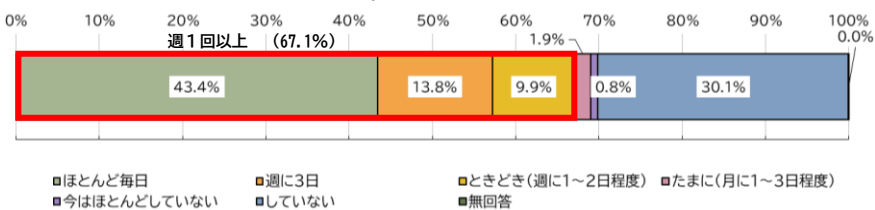
■数値目標4 【スポーツ推進（スポーツ環境）に対する市民の満足度】 n = 1,282



■数値目標5 【障害者のスポーツに関する取組の認知度（満足度）】 n = 381



(その他参考) 【学生の実施率について】 n = 2,294



※集計した数値(%)は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示であり、合計が100.0%とならない場合があります。

※本頁の示すスポーツ実施率と本調査における実施頻度の算出方法は異なります。本調査は「スポーツを実施した人」を対象に実施頻度を聞いていますが、実施率の算出では「実施していない人」を含んだ、全体の実施率を算出しております。

II - iii スポーツを取り巻く現状

1 つくば市スポーツ活動に関する調査

(1) 調査の概要

市民の運動・スポーツ活動の実態やスポーツ振興に関する意識・意向などを把握し、本計画に定める施策検討の基礎資料として活用するため、令和4年11月1日(火)～20日(日)の期間で「成人(市民)」「障害者」「学生(小・中・高校生)」を対象にアンケートを実施しました。

対象者		調査方法	配布数	回収数			回収率
①成人	市内在住の18歳以上 (無作為抽出)	・調査票を郵送配布 ・郵送又はweb回答	4,010	1,282	(郵送) 813	(web) 469	32.0%
②障害者	市内在住の障害者手帳を お持ちの7歳以上の方 (無作為抽出)	・調査票を郵送配布 ・郵送又はweb回答	1,010	381	(郵送) 294	(web) 87	37.7%
③学生	市内公立学校の小学5年 生、中学2年生(義務教育 学校)、高校2年生	・QRコード付案内を 学校を通じて配布 ・web回答	3,875	2,294	—	(web) 2,294	59.2%

(2) 調査結果のとりまとめ

■成人のスポーツ活動について

- 1)成人の週1回以上のスポーツ実施率は55.1%で前回と同数値。
- 2)実施したスポーツについては、「ジョギング等(59.4%)」や「軽い運動(35.6%)」、「筋トレ(24.8%)」を行っている回答者が多く、前回調査の結果と同様。新たにやってみたいスポーツでは、「ヨガ等(18.3%)」や「アウトドアスポーツ(14.6%)」、「水泳(13.0%)」が人気。スポーツを行う理由は、全体では「健康(68.2%)」、「体力増進・維持(52.2%)」、「楽しみ、気晴らし(47.7%)」が多く、スポーツをしていない理由については、「仕事や家事などが忙しいから(46.8%)」、「お金に余裕がないから(19.7%)」、「年をとったから(18.6%)」が多い。
- 3)1年間にスポーツをした場所は、「自宅(48.6%)」、「道路(35.7%)」、「公園(33.7%)」の順で多くの人は身近な場所で活動している。また、「公共スポーツ施設(18.5%)」や「小中高の体育施設(3.4%)」などの公共施設の利用は少ない結果となった。
- 4)今後つくば市が目指すべきスポーツ環境については、「市民が身近にスポーツできる環境(81.0%)」や「高齢者・障害者がスポーツをより一層楽しめる環境(42.1%)」が多くを占める。
- 5)スポーツを始める、または新たに始めるきっかけは、「仕事や家事に余裕ができたら(43.4%)」、「スポーツができる場所が近くにできたら(41.0%)」、「やってみたいスポーツがあったら(27.2%)」の順であった。
- 6)スポーツを「みる」「ささえる」、「施設」「全般」の環境の満足度は、満足傾向だが、「する」環境については、満足と不満足が同程度の結果となった。
- 7)障害者スポーツ(パラスポーツ)については関わりが少ない市民が非常に多い。

■障害者のスポーツ活動について

- 1)週1回以上のスポーツ実施率は38.3%で前回調査時(46.8%)より低下。
- 2)実施したスポーツについては、全体で「ジョギング等(41.5%)」、「軽い運動(26.2%)」、「筋トレ(13.6%)」の順。新たにやってみたいスポーツでは、全体で「水泳(12.6%)」、「ヨガ等(9.2%)」、「筋トレ(6.8%)」が上位。スポーツを行う理由は、全体では「健康のため(60.4%)」、「楽しみ・気晴らしのため(55.4%)」、「体力増進・維持のため(52.5%)」の順。スポーツをしていない人も全体の約35%いて、理由としては、「身体上の理由(40.9%)」、「仕事や家事が忙しい(18.2%)」が多く、「スポーツに興味がない(14.4%)」、「特に理由がない(13.6%)」との回答も上位を占めた。
- 3)1年間にスポーツを実施した場所は、全体で「自宅(50.4%)」、「公園(32.5%)」、「道路(30.0%)」の順で成人の結果同様多くの人は身近な場所で活動している。次いで、「公共スポーツ施設(18.3%)」や「小中高の体育施設(8.3%)」など公共施設の利用もみられる。
- 4)スポーツをする際の障壁については、「新型コロナウイルス感染症が不安(21.3%)」、「どこで行えるか情報が無い(18.6%)」、「特になし(18.6%)」との回答が多くを占める。また、「仲間がいない(16.8%)」や「施設の利用しにくい(10.8%)」、少数ではあるが「利用を断られる(2.4%)」との回答もみられる。
- 5)市内の障害者スポーツに関する環境の満足度については、全体として「わからない(56.7%)」との回答が最も多く、「わからない」を除くと不満足傾向にある。
- 6)公共スポーツ施設の利用については、全体として利用したことがあると回答した割合は、16.0%で、市の公共スポーツ施設に「施設利用の情報提供(28.6%)」、「予約システムの充実(14.7%)」、「利用時間帯の拡大(11.8%)」などを望んでいる。
- 6)市内のスポーツに関する情報の入手については、「広報つくば(42.0%)」、「積極的に入手していない(30.2%)」、「入手できていない(16.0%)」に次いで、「家族・友人等(13.6%)」、「新聞・タウン誌(12.3%)」、「市のホームページ(11.8%)」の順となっている。

■学生（小・中・高）のスポーツ活動

- 1)週1回以上のスポーツ実施率は67.1%。
- 2)体力の自信について、「ある・どちらかといえばある(51.9%)」と「ない・どちらかといえない(48.1%)」と回答した割合がほぼ半数であり、運動不足についても「かなり感じる・ある程度感じる(50.8%)」と「あまり感じない・まったく感じない(49.2%)」と回答した割合も同様の結果であった。
- 3)スポーツの好き嫌いについては、「好き・やや好き(75.4%)」が「嫌い・やや嫌い(11.2%)」を大きく上回る結果となった。全体として嫌いな理由は、「運動・スポーツが嫌い(苦手)(71.4%)」、「面倒くさい、疲れる(14.3%)」、「他に趣味ややりたいことがある(14.3%)」の順となっている。
- 3)授業以外のスポーツの実施について、「部活動やスポーツクラブ等でスポーツを行っている(46.9%)」に次いで、「スポーツはしていない(30.1%)」、「スポーツ少年団やクラブチームに所属している(15.3%)」の順となっている。スポーツをしない理由としては、「他に趣味ややりたいことがある(35.7%)」、「やりたいと思うスポーツがない(32.6%)」、「疲れるから(32.6%)」、「苦手だから(31.3%)」、「機会がなかった(28.1%)」の順となっている。
- 4)スポーツをする目標としては、「体力・技術の向上(62.2%)」、「健康の維持・増進(43.1%)」、「仲間との交流(41.1%)」が上位を占める一方、「プロスポーツ選手・オリンピック選手(12.8%)」を目標とする回答もあった。
- 5)障害者スポーツ(パラスポーツ)について「関わったことがない(53.9%)」と回答した割合が多い中、「みたことがある(35.7%)」、「やったことがある(16.7%)」との回答もあり、その種類も車いすバスケットボールやボッチャ、ブラインドサッカー、パラ陸上競技など豊富である。
- 6)スポーツを「する」、「みる」「ささえる」、「施設」の環境の満足度は、全体として満足傾向にある。
- 7)運動部活動の地域移行については、否定的な意見が約4割と肯定的な意見約3割を上回った。体力に自信のある子どもは意欲的だが、一部不安を感じる子どもも存在する。

2 グループミーティング

(1) グループミーティングの実施概要

■実施目的

つくば市において日常的にスポーツ活動を行っている団体との意見交換を通じて市民意識調査では把握できない課題などを明らかにするため、以下のテーマで実施しました。

■実施方法

1) テーマ及び参加者

自由な発想で意見・アイデアが出せるよう、座談会方式で実施しました。

テーマ	スポーツを楽しむ ～身近で気軽にスポーツを楽しむためには～
参加者	・茨城県ウォーキング協会 ・ライフテックつくば（つくばウェルネスパーク指定管理者） ・日本スポーツアカデミー ・スポーツ振興会 ・つくば市軟式野球連盟 ・つくば市バレーボール連盟 ・つくば市スポーツ協会 ・Next one. ・つくば市（スポーツ、高齢福祉、健康増員担当部署）
テーマ	障害者スポーツの推進 ～障害のある人がスポーツを楽しむには～
参加者	・筑波技術大学 ・シッティングスポーツ協会 ・つくば市身体障害者協議会 ・関彰商事 ・筑波記念病院つくばトータヘルスプラザ ・つくば市社会福祉協議会 ・筑波大学スポーティア ・つくば市（スポーツ、障害福祉担当部署）
テーマ	子どものスポーツ振興 ～子どもたちのスポーツ環境を整えるためには～
参加者	・スポーツ少年団（ミニバスケットボール部、野球部） ・日本スポーツアカデミー ・つくばFC ・つくばユナイテッドサンガイア ・to be athlete club ・茨城ロボッツ ・つくば市スポーツ協会 ・つくば市（スポーツ、学校教育担当部署）

(2) 結果概要

■スポーツを楽しむ ～身近で気軽にスポーツを楽しむためには～

- 誰でも取り組みやすいウォーキングを促進している。用具も会場の心配もいらない。
- スポーツ展などで各スポーツ団体が活動を周知する。
- スポーツに興味を持ち、するきっかけとしてアプリの提供や健康と結びつけた情報を提供する。
- やっていたけどやらなくなった人、やってない人のために、スポーツ教室はじめいろいろな選択肢やきっかけを増やしていきたいが指導員が不足している。
- スポーツを始める際に同級生や職場の仲間などだれと始めるかが大事。
- 未就学児から高齢者までが気軽に参加できるスポーツ機会を提供し、集いの場や居場所づくりを進めていきたいが、運営スタッフが高齢化している。
- 近年は公園や広場などの施設でやってはダメなことが多くなり、スポーツと馴染めない。
- 大会で市の体育施設を使うが、老朽化により未改修の一部には危なそうなところもある。
- 施設規模により会場を分散して大会を開催しているが、交流のためには一堂に会して開催できるような施設が必要。
- 今回のように、互いの活動や課題を知り、交流を深める機会がこれまでにはほとんどなかった。
- スポーツを見て楽しむという要素がつくばには少ない。
- 見る機会を増やす環境をつくる。

■障害者スポーツの推進 ～障害のある人がスポーツを楽しむには～

- 障害者スポーツの目的は、障害者がスポーツを通じて精神的、身体的な健康を高めていくこと。
- 障害者スポーツを、まずは見てもらう体験してもらうことが重要だが、障害者スポーツのイベントをやると参加メンバーはいつも同じ。他の参加者が増えない。
- 小学校の体育の授業として体験をしてもらい機会と参加者を増やす。子どもたちから障害者と健常者のスポーツの垣根をなくしていく。
- イベント等の情報がうまく広まらず、伝わらない。活動側と受け手側双方に問題がありそう。
- 運営面でのサポートが必要。資金、ボランティアスタッフ等の人、移動など。特に移動は家族に負担が大きい。
- 社会貢献意識の高い民間企業や地域の団体のボランティア活動との協力連携をさらに強化
- 障害者にとってeスポーツは良い。移動などサポート問題の軽減につながる。
- 障害者のためのスポーツを多様化させるために専門家とのつながりをつくる。
- 市内の施設利用の空きがなく、活動場所の確保が難しい。
- それぞれの障害の程度や、達成したいことに合わせて課題設定してクラス分けしている。
- てんかんの発作や熱中症など、参加者のリスクに細心の気配りが必要で、活動の時期も春と秋など限定的になる。
- 今回のように、互いの活動や課題を知り、交流を深める機会がこれまでにはほとんどなかった。

■子どものスポーツの振興 ～子どもたちのスポーツ環境を整えるためには～

- 例えば技術レベルにどれだけ差があっても、子ども達みんながスポーツを楽しめる仕組みづくり。
- プロスポーツに関わる人達が、魅力を伝えていく活動をする。
- 活動場所の確保が難しい。使いたくても使えない団体も多い。
- 学校の運動場や体育館の空き時間をなくす工夫をする。
- 大学生や大学院生をいかすために実践的な指導者育成の場を増やす。
- 部活動地域移行が進むと子ども達の運動する機会が減ってくる可能性があり、その対策として活動団体などの協力が必要になってくると思うが、無償では難しい。
- 部活動地域移行は、スポーツする機会が確保され、事業者も一定の収益が得られ、学校も安心できるよう、今の枠組みを超えた新たな仕組みをつくる。
- 今回のように、互いの活動や課題を知り、交流を深める機会がこれまでにはほとんどなかった。

3 障害者スポーツに関する筑波大学との共同研究

(1) 共同研究の概要

■実施目的

つくば市における障害者のスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、障害のある人が、スポーツ施設、スポーツ教室その他のスポーツに関連するサービスを活用することに関するニーズ及び課題の調査研究を筑波大学とともに実施しました。

■研究内容

スポーツ関連施設や障害者就労支援施設へのアンケート調査や障害者スポーツサポーター養成講座、モニター調査などを実施しました。

(2) 共同研究の結果

アンケート調査については、市内の民間のスポーツ施設 50 施設、公共のスポーツ施設 38 施設、計 88 施設、障害者就労施設 15 施設にアンケート調査を依頼しました。回答数は民間スポーツ施設 10 件、公共スポーツ施設 38 件、就労施設に至っては 5 件とかなり低い回答数でした。

スポーツ施設のアンケートでは、受入実績や受入れるための仮定条件、障害者に対する印象など、受入れるための方策につながるような項目を中心に行いました。また、障害者就労施設では、施設でのスポーツの実施状況やスポーツ施設を利用する上での懸念、スポーツを実施するうえでの課題など、障害者施設の現状や障害者のニーズ把握するための内容としました。

スポーツ施設の回答の内容としては、おおむね好意的でしたが、残念なことに民間スポーツ施設、就労支援施設ともに、2度にわたり回答依頼を行いましたが、回答率が大変低い結果となりました。

障害者スポーツサポーター養成講座については、スポーツ施設、障害者施設、障害者相談支援事業所などの関係者が参加し、ワークショップ形式で開催しました。当日は、スポーツ活動をしている障害者も参加し、インクルーシブ・スポーツを体験したり、障害者がスポーツをするためのサポート方法や課題等について意見交換を行うなど充実した内容となりました。(仮)

モニター調査については、障害者がスポーツ施設を利用した場合の課題やニーズ等を明らかにするため、筑波大学病院健康・スポーツ科学センターWITの協力を得て、障害者5人程度が実際にスポーツ施設を体験します。(仮)

4 スポーツ施設の現状について

本市には、スポーツに関連のある市営スポーツ施設として、体育館（柔剣道場を含む）が9施設、野球場が13施設、サッカー場（多目的広場を含む）が5施設、テニスコートが20施設、その他の施設（プール、健康増進施設、広場等）が8施設あります。また、県営で現在市営化に向けて検討が進められている洞峰公園にも野球場、テニスコート、プール、多目的広場があります。

市営のスポーツ施設については、多くの施設が建築後30年を経過し老朽化が進行していることから、「つくば市スポーツ施設個別施設計画（2021年3月）」を策定し、中長期的な視点で計画的に修繕等を行い利用環境の改善を図ることとしています。

また、新たなスポーツ施設として現在、市民も利用できる学校プール、スケートボードパーク、BMXレーシングコースを整備しています。さらに、本市における長年の懸案事項であった陸上競技場については、整備に向けて基本構想策定後、大規模事業評価を経て、現在基本計画の策定に取り組んでいます。

施設の利用状況について、令和3年度の実績で年間利用件数73,091件、利用者数合計516,186人の利用があります。稼働率は、どの施設においても休日が高いのに比べ平日が低い傾向です。

施設の事前予約については、先着順で管理事務所の窓口に行き予約する方法とインターネット（つくば市公共施設予約システム）による方法がありますが、どの施設においても利用したい時間帯が平日夕方や休日に集中し予約が取りづらい状況にあることから、市民からは予約方法の改善に関する声も寄せられています。

II-iv 課題の整理

1 課題の整理

これまでに検討・とりまとめを行った社会情勢、取組、アンケート、グループミーティング、施設の現状等から考えられる、第2次計画において解決を図るべき課題をまとめました。

(1) すべての市民が気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

- スポーツ推進（環境）についての満足度は37%と低い
- 施設設備（公園設備、バスケットコート設置等）について不満度が高く、特に年齢が若い層の不満度が高い
- 成人のスポーツ実施率は55.1%（計画目標未達成）
- 女性のスポーツ実施率は増加するが、未実施率も増加
- 高齢者や障害者を含め誰もが身近で気軽にスポーツに親しみ楽しめる環境が求められている
- 「する」スポーツのイベントや団体支援が多く「する」、「みる」、「ささえる」のバランス偏りがある

(2) 障害者スポーツに対する理解や支える環境の整備と共生社会の実現

- 障害者スポーツの実施率（38.3%）や認知度は低い（計画目標未達成）
- 障害者スポーツを支える環境の充実が求められている
- イベント等の参加者が固定化されてしまう
- 2020 東京パラリンピック大会を契機とした取組とレガシーの継承
- スポーツの多様な力を活用したSDGs達成への貢献

(3) 子どもの体力の低下・すべての子どもがスポーツ機会に恵まれる環境整備

- 生活環境の変化やコロナ禍にあって子どもの体力は低下
- 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の取組強化が推進されるなか、学生の意見は否定が肯定を上回る

(4) スポーツ活動を支える指導者の人材不足、高齢化の顕在化

- 部活動改革を背景に指導者の質と量の確保が必要
- 運営スタッフの高齢化に対し人材確保・世代交代が必要

(5) 施設の老朽化への対応や維持管理及び新たな施設の整備

- 施設の老朽化や予約に関することについては市民満足度が低い
- バリアフリー化の推進・ノーマライゼーションの理念の周知が求められている
- 学校体育施設の一般開放の不効率な運用の改善 / 施設の平日の稼働率は低く、休日や夜間は施設が不足
- 公式記録の取れる陸上競技場、一堂に会する大会の開催が可能なアリーナや屋外施設がない

(6) スポーツ活動に関する情報の周知

- スポーツ活動の情報が届けられていない、広がらない
- SNSを活用した情報提供は十分な効果を発揮していない

(7) 大学や地域のスポーツ関係団体との連携・協働の強化

- 筑波大学と連携したスポーツ政策を市の強みとしていくことが求められる
- 地域のスポーツ関係団体との連携・協働が一層重要となっている

(8) スポーツでのDXの活用

- デジタル技術を活用した新たなスポーツへの期待
- DXを活用した利便性の高いスポーツ環境への期待

成人のスポーツ活動調査

[令和4年度 つくば市スポーツ活動調査報告書]

はじめに	1
1 属性	2
2 自身の健康状態・体力について	4
3 つくば市のスポーツ環境について	6
4 「する」スポーツについて	10
5 「みる」「ささえる」スポーツについて	19
6 障害者スポーツ(パラスポーツ)について	22
7 公共のスポーツ施設について	25
8 自由意見	27

令和5年3月

はじめに

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度から令和15年度までを計画期間とする「第2次つくば市スポーツ推進計画」を策定するにあたり、市民の運動・スポーツ活動の実態やスポーツ振興に関するご意見・意向などを把握し、計画の策定や施策の推進に役立てることを目的に実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査対象者：市内在住の18歳以上の市民4,010人（無作為抽出）
- (2) 調査期間：令和4年11月（配布・回収）
- (3) 配布・回収方法：郵送による配布・回収+Web回収

3. 配布・回収状況

回収数			配布数	回収率
郵送	Web	合計		
813	469	1,282	4,010	32.0%

4. 調査の分析にあたっての注意事項

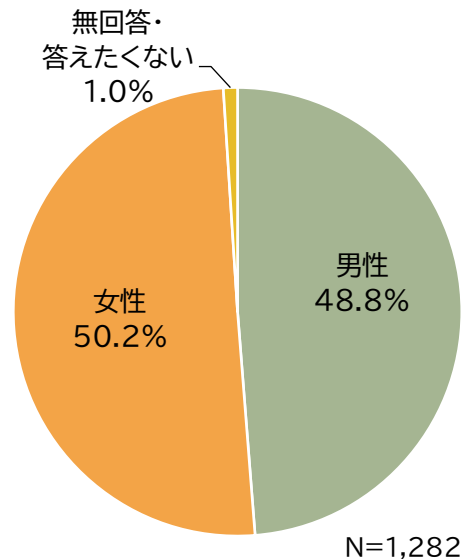
- ・集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっています。したがって、シングル・アンサー〈SA〉（1つの選択肢のみを回答する設問）の合計は、100.0%とまらない場合があります。
- ・回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、マルチ・アンサー〈MA〉（複数の選択肢を回答する設問）の各選択肢の割合を合計した場合、100.0%を超えた数値となります。
- ・グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・本文グラフ及び表では「無回答」を含んで集計しています。
- ・回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- ・有効回答者数は各設問に（N=●●）で表してあります。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票はカウントしていません。
- ・表中の今回と記載のあるものは本調査の結果を指しており、前回の記述のものは平成29年度に実施した「つくば市スポーツ活動に関する調査」の調査結果を用いています。

1 属性

問1 あなたの性別についてお答えください。 [SA]

回答者の男女比は、おおむね半々

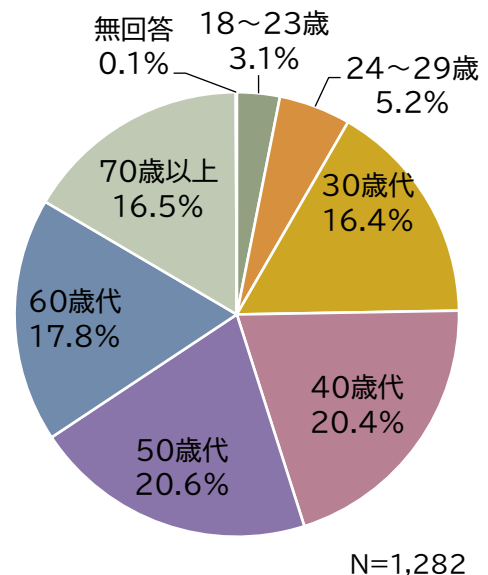
- ・回答者の性別は、「女性」が50.2%、「男性」が48.8%、「無回答・答えたくない」が1.0%の順となっています。
- ・回答者の男女比は、女性が若干多くなっていますが、おおむね半々となっています。



問2 あなたの年齢についてお答えください [SA]

30歳代以上ではその割合に大差なく、その中では40～50歳代が多い

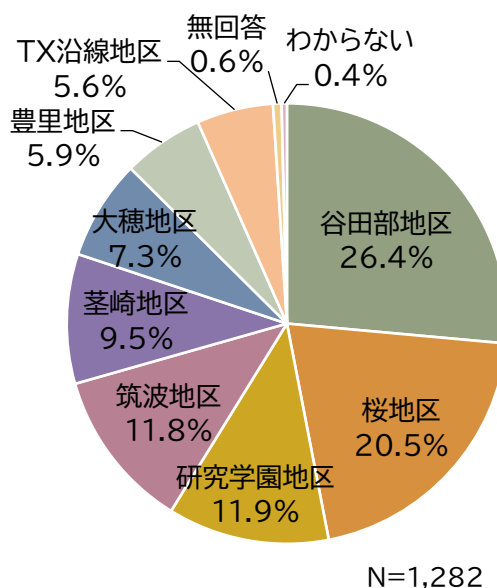
- ・回答者の年齢は、「50歳代」が20.6%と最も多く、次いで僅差で「40歳代」が20.4%となっています。続いて「60歳代」、「70歳以上」、「30歳代」となっています。
- ・30歳代未満の回答者の割合が低くなっているものの、その他の年齢区分の割合に大きな差がなく、その中では40～50歳代回答者が多くなっています。



問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。 [SA]

谷田部地区と桜地区の割合が多い

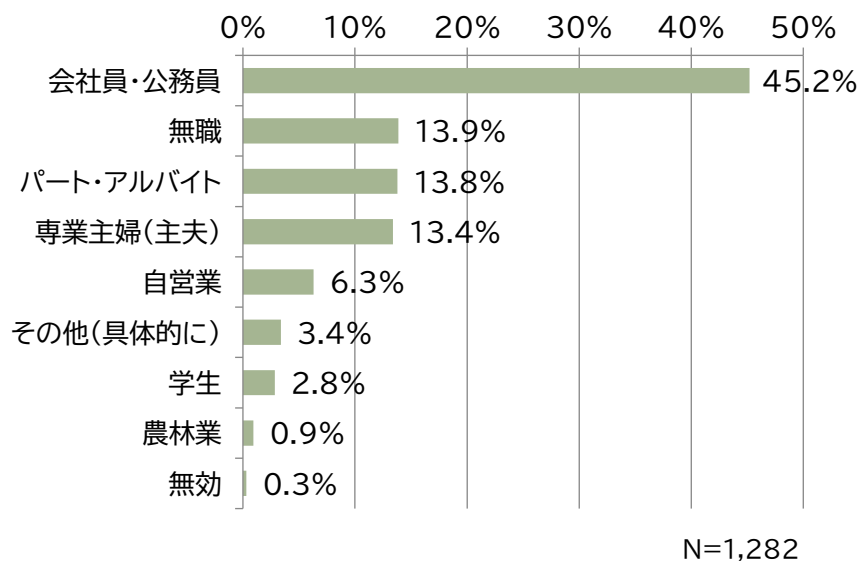
- ・回答者の居住地区は、「谷田部地区」が26.4%と最も多く、次いで「桜地区」が20.5%、「研究学園地区」が11.9%、「筑波地区」が11.8%などとなっています。
- ・谷田部地区や桜地区については、行政区人口でもそれぞれ1位、2位となっています。



問4 あなたの職業について、主な職業はこの中のどれにあたりますか。 [SA]

会社員・公務員の割合が突出して多い

- ・回答者の職業は、「会社員・公務員」が45.2%と最も多く、次いで「無職」が13.9%、「パート・アルバイト」が13.8%、「専業主婦（主夫）」が13.4%の順となっています。
- ・会社員・公務員の割合が突出して多くなっています。

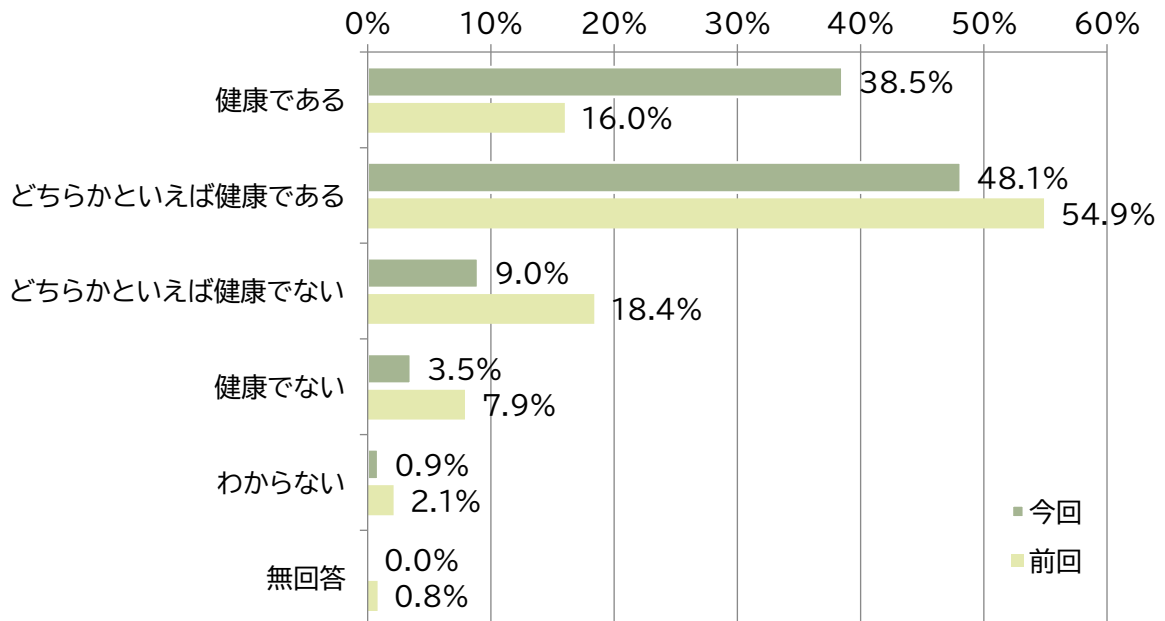


2 自身の健康状態・体力について

問5 あなたはご自身の健康状態についてどのように感じていますか。(〇は1つ) [SA]

健康状態にあると感じている回答者が約9割近くを占める

- ・回答者の自身の健康状態については、「どちらかといえば健康である」が48.1%と最も多く、次いで「健康である」が38.5%となっており、二つを合わせた健康状態にあると感じている回答者が約9割近くを占めています。
- ・前回調査(2018年)と比較すると、「どちらかといえば健康である」が約7ポイント少なくなったものの、「健康である」が倍以上増加しています。
- ・一方、「健康でない」、「どちらかといえば健康でない」との回答は、どちらも前回より半分以下と減少しています。
- ・前回調査以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響下において、健康に留意する回答者が増えたのではないかと考えられます。



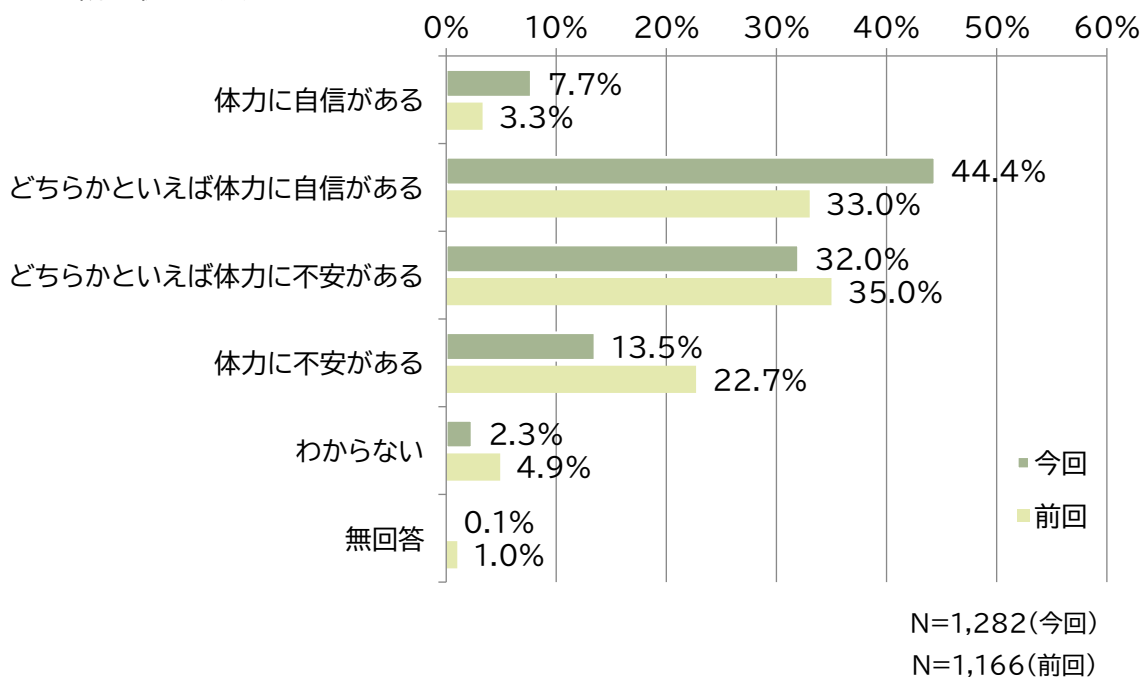
N=1,282(今回)

N=1,166(前回)

問6 あなたはご自身の体力についてどのように感じていますか。(〇は1つ) [SA]

おおむね体力に自信があると、おおむね不安を感じている回答者の割合が拮抗

- ・回答者の自身の体力については、「どちらかといえば体力に自信がある」が44.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば体力に不安がある」が32.0%となっています。
- ・「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」を合わせた、おおむね体力に自信があると感じる回答者は52.1%、一方、「体力に不安がある」と「どちらかといえば体力に不安がある」を合わせたおおむね体力に不安があると感じる回答者は約45.5%となっており、前者が若干多くなっています。
- ・前回調査(2018年)と比較すると、ポイントは少ないものの「体力に自信がある」が倍以上増加し、「どちらかといえば体力に自信がある」のポイントは10ポイント以上増加しています。
- ・問5の自身の健康状態の回答では「健康状態にある」と感じている回答者が多くを占めていますが、本問では体力に不安を感じる回答者も多く、“健康状態が良ければ体力に自信がある”わけではないことが読み取れます。

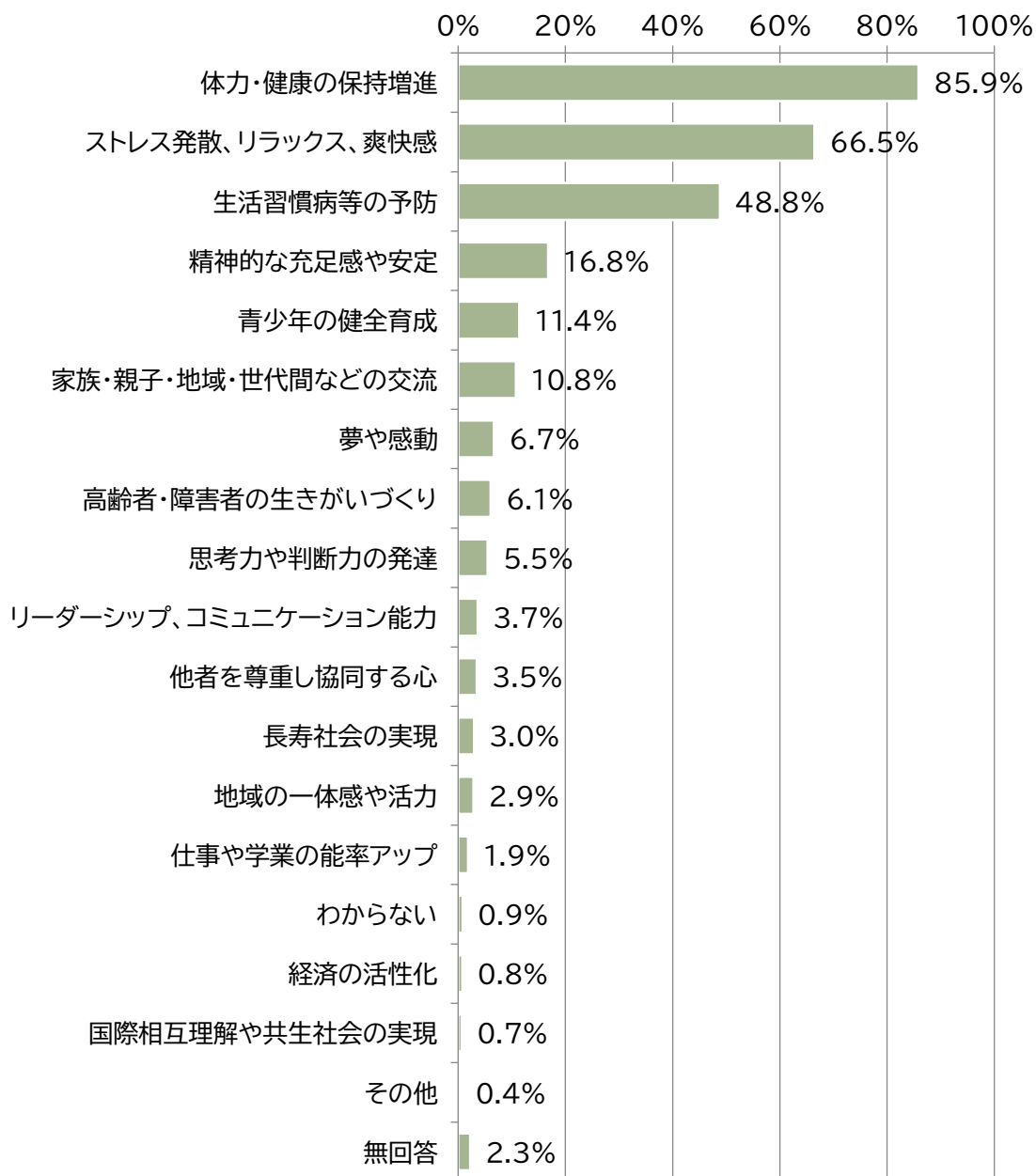


3 つくば市のスポーツ環境について

問7 あなたは、社会生活の中で、スポーツにはどのような役割があると思いますか。または、期待しますか。 [MA:3 つまで]

健康増進やストレス発散と捉える割合が高い

- ・スポーツの一義的役割ととらえる「体力・健康の保持増進」が85.9%、順に「ストレス発散、リラックス、爽快感」が66.5%、「生活習慣病等の予防」が48.8%と続いています。
- ・「精神的な充足感や安定」、「青少年の健全育成」及び「家族・親子・地域・世代間などの交流」も10%台と上記上位3つに比べると少なくなっていますが順に続いています。



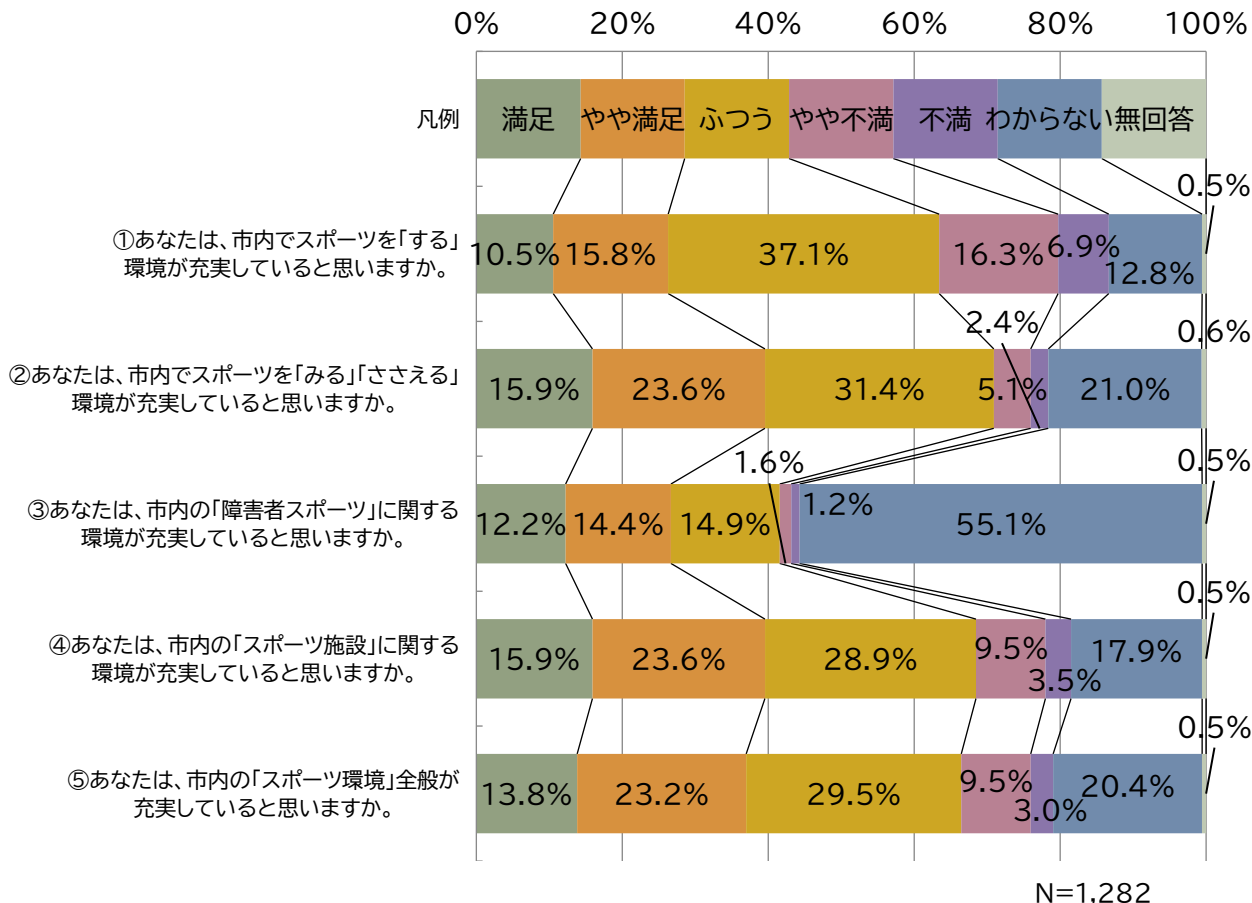
N=1,282

問8 スポーツ環境等について、普段あなたが感じているお考えをおたずねします。

(①～⑤それぞれ〇は1つ) [SA]

- スポーツ環境全般では満足傾向
- スポーツをみる、ささえる環境とスポーツ施設に関する環境で満足傾向
- スポーツをする環境で不満傾向

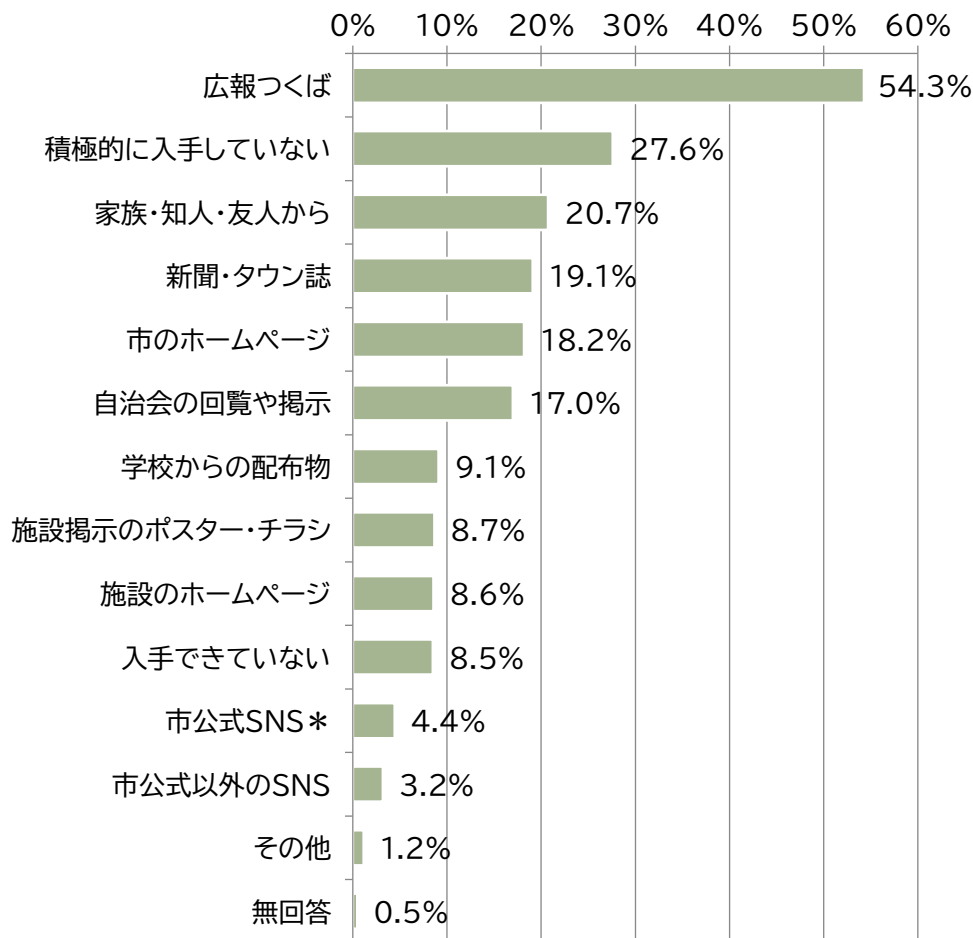
- ・「満足」と「やや満足」を足した満足傾向をみると、「②スポーツをみる、ささえる環境」と「④スポーツ施設に関する環境」が同ポイントで他の項目より高くなっています。
- ・「不満」と「やや不満」を足した不満傾向をみると、「①スポーツをする環境」が他の項目に比べ高くなっています。自由回答では、「子供達が個人的に野球、サッカーの練習等自由に使用が出来る場所・広場が少ない」、「総合体育館や陸上競技場など大きなスポーツ施設がない」、「高齢者の身近なスポーツ施設がない」、「スポーツ公共施設の予約が取りにくい」などが挙げられています。
- ・「④スポーツ施設に関する環境」の満足度が高いものの、「①スポーツをする環境」の不満傾向が高くなっていることから、運動場、公園等のハード面では一定の充足感があるものの、使い勝手などソフト面での改善ニーズがあるものと捉えられます。
- ・「③障害者スポーツに関する環境」については、満足傾向が比較的低いことに加え、「わからない」が他の項目に比べ圧倒的に多くなっています。



問9 あなたは普段、市内のスポーツに関する情報をどこから入手していますか。 [MA]

「広報つくば」での入手が半数以上を占める一方、SNSを通じた情報入手は極僅か

- ・「広報つくば」が54.3%と最も多く、半数以上を占めています。次いで「積極的に入手していない」が27.6%、「家族・知人・友人から」が20.7%、その他順に、「新聞・タウン誌」、「市のホームページ」、「自治会の回覧や掲示」などが続いています。
- ・一方、「市公式以外のSNS」、「市公式SNS」などが低い割合となっています。



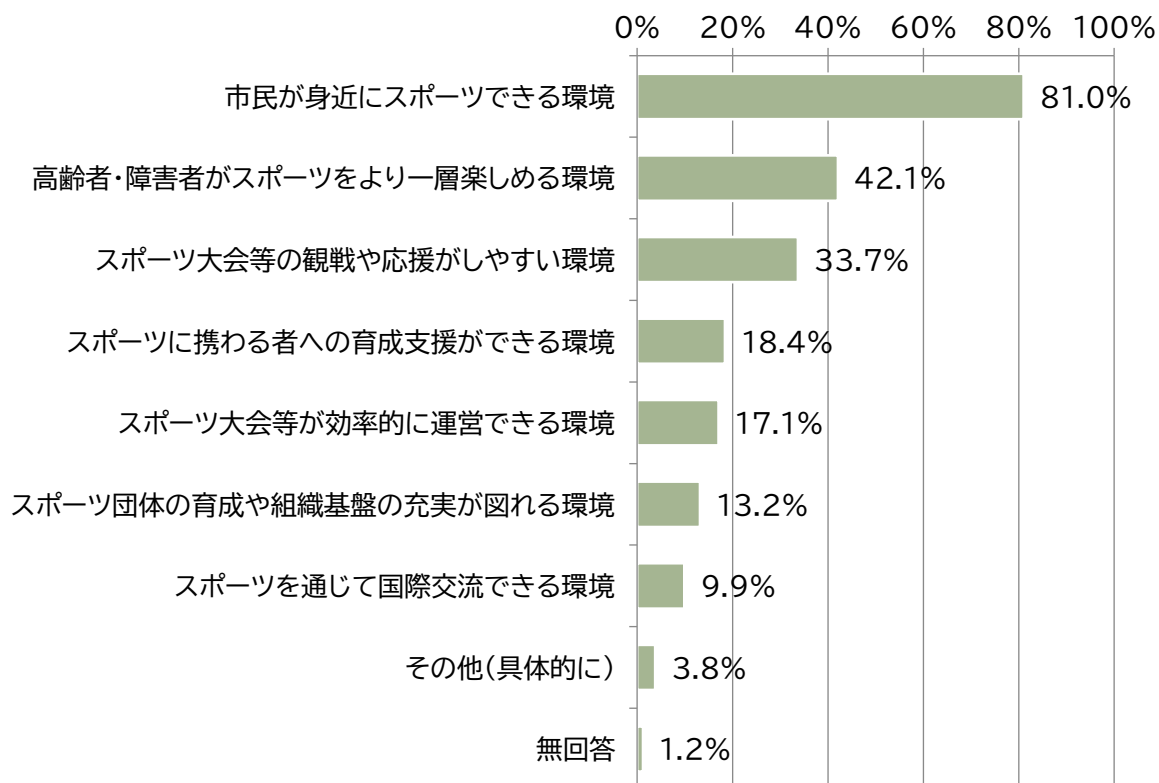
N=1,282

問10 あなたは、今後つくば市が目指すべきスポーツ環境は、どうあるべきだと考えますか。

[MA:3 つまで]

高齢者や障害者など誰もが身近に楽しめるスポーツ環境づくりが求められている

- ・「市民が身近にスポーツできる環境」が最も多く、全体の8割以上を占めています。
- ・次いで、「高齢者・障害者がスポーツをより一層楽しめる環境」が42.1%、「スポーツ大会等の観戦や応援がしやすい環境」が33.7%となっています。



N=1,282

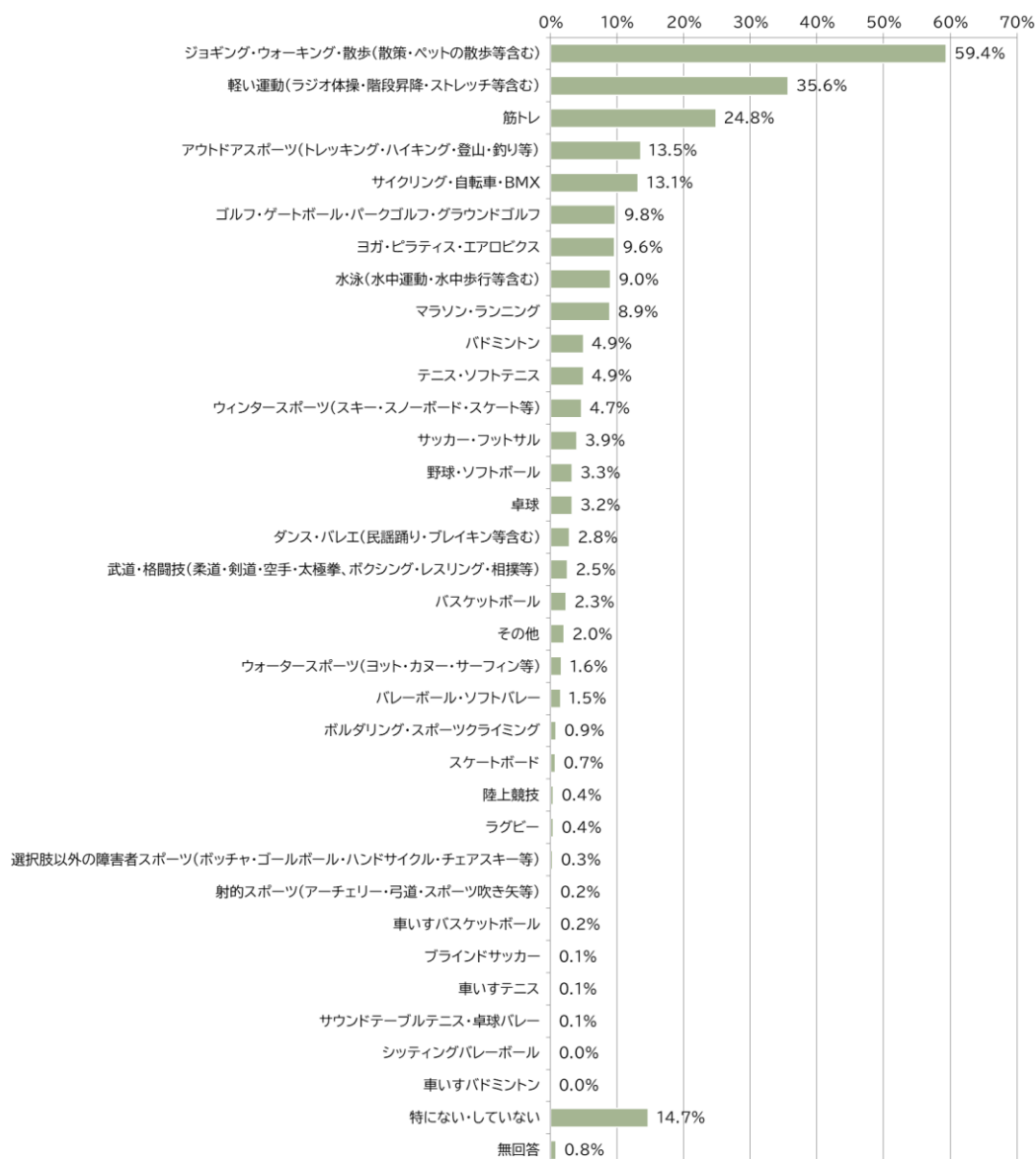
4 「する」スポーツについて

問11 あなたが、この1年間に実施したスポーツがあれば、選択肢から番号を選んでご記入ください。（学校の体育の授業として実施したものや、職業として実施したものは除きます。）
また、新たにやってみたいスポーツがあれば番号を選んでご記入ください。（それぞれいくつでも） [MA]

①1年間に実施したスポーツ

気軽な運動・スポーツをしている人が多い中、特にしていない人も一定数存在

- ・「ジョギング・ウォーキング・散歩（散策・ペットの散歩等含む）」が59.4%で最も多く、次いで「軽い運動（ラジオ体操・階段昇降・ストレッチ等含む）」が35.6%、「筋トレ」が24.8%となっています。
- ・その一方で「特にない・していない」が14.7%と4番目に多くなっています。

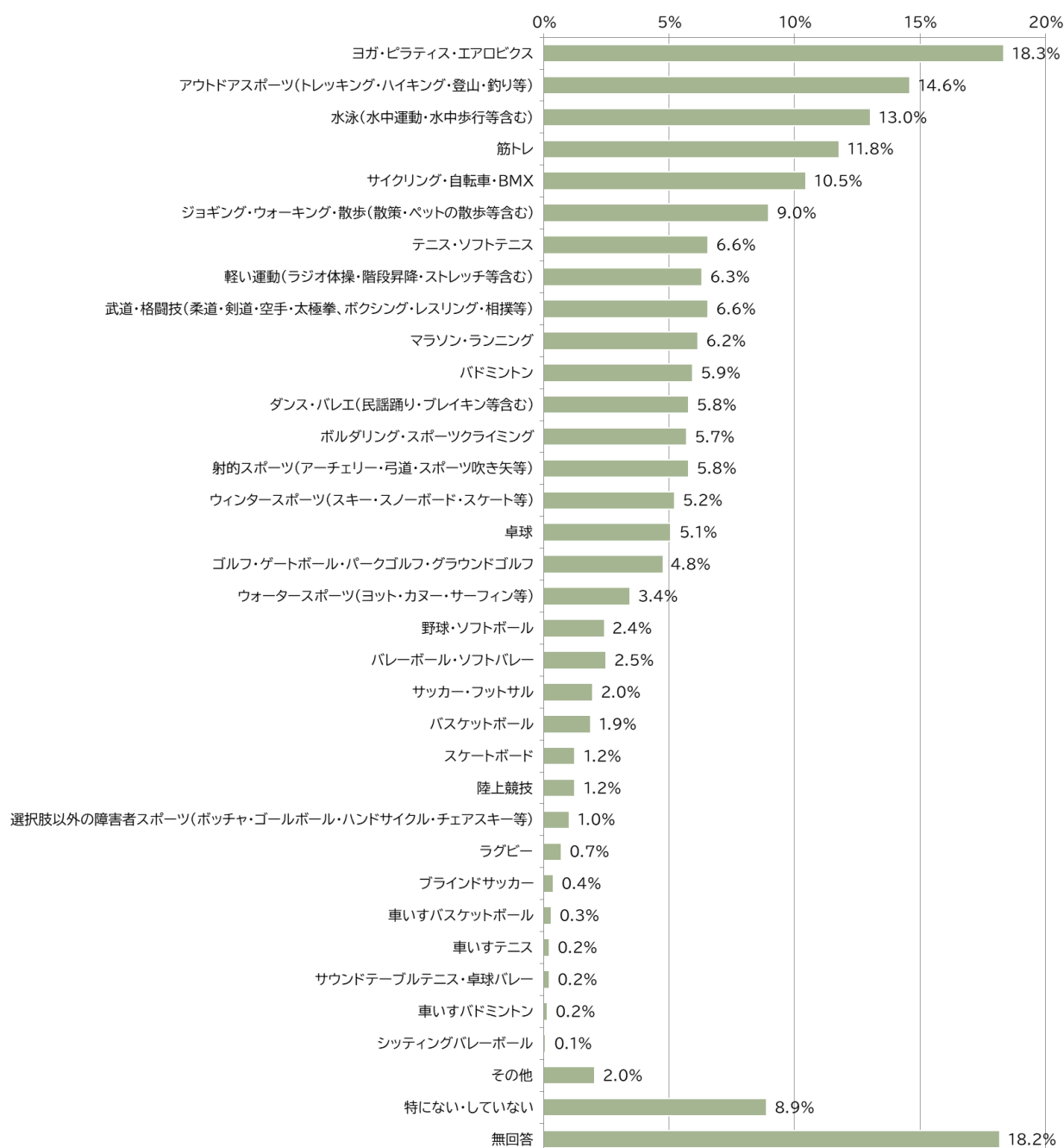


N=1,282

②新たにやってみたいスポーツ

捉え方の視点を変えるスポーツの場・機会の提供が求められる

- ・「ヨガ・ピラティス・エアロビクス」が18.3%で最も多く、次いで「アウトドアスポーツ（トレッキング・ハイキング・登山・釣り等）」が14.6%、「水泳（水中運動・水中歩行等含む）」が13.0%となっています。
- ・前述の1年間に実施したスポーツでは回答が多くなかった「ヨガ・ピラティス・エアロビクス」がトップになっているほか、非常に回答が低かった「ボルダリング・スポーツクライミング」も中位に挙げられています。

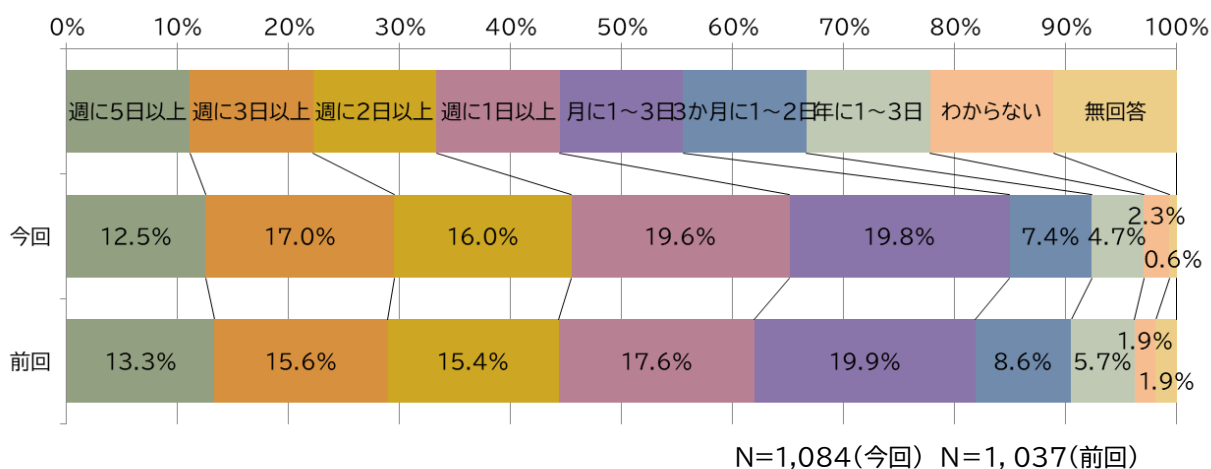


N=1,282

問12 この1年間にスポーツをどの位の頻度で行っていますか。[SA] ※問11-①で「1～33」に回答した方（スポーツを実施した方）

スポーツの実施頻度が向上

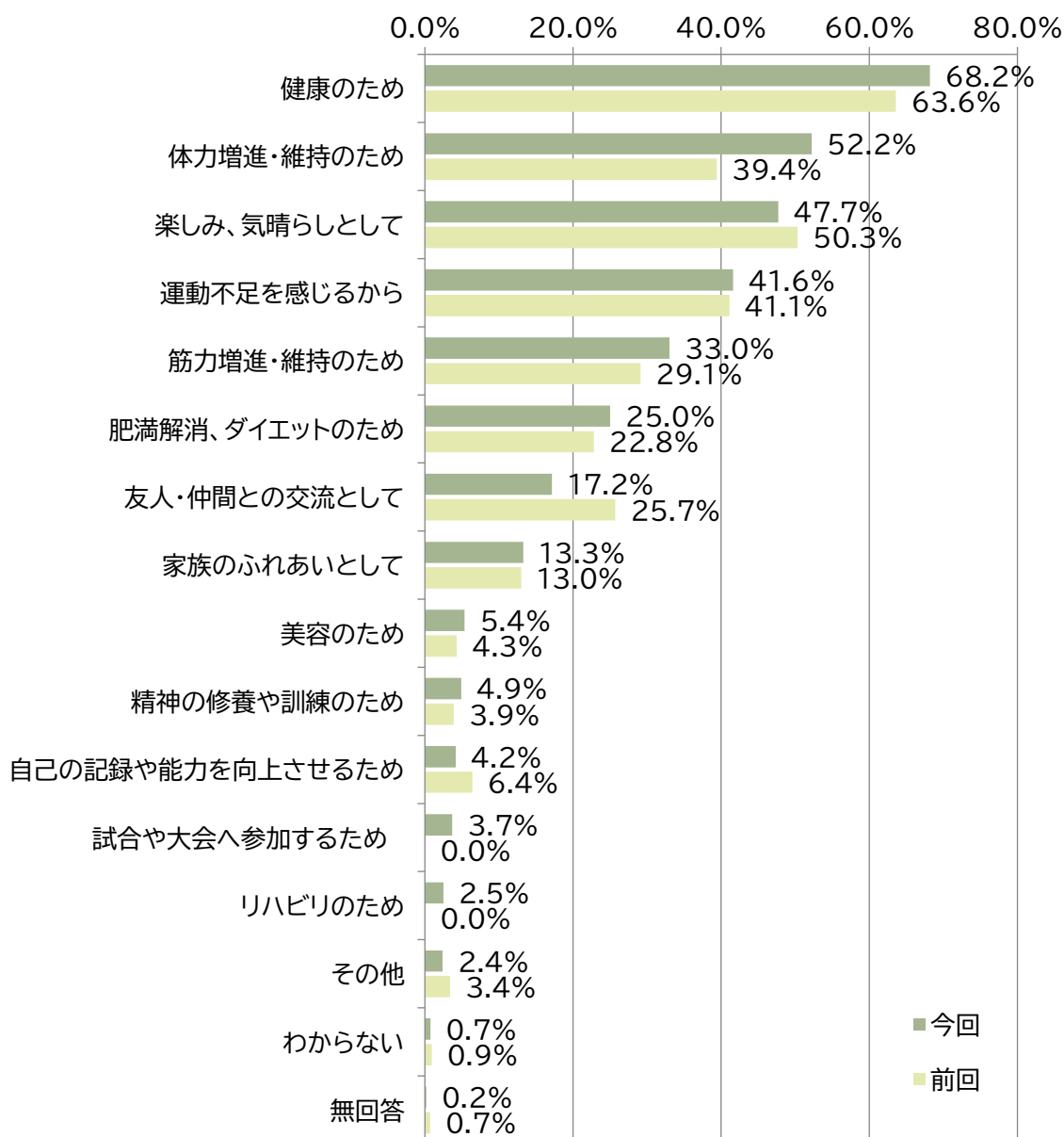
- ・「月に1～3日」が19.8%で最も多く、次いで「週に1日以上」が19.6%、「週に3日以上」が17.0%となっています。
- ・前回と比較すると、「月に1～3日」が最多なのは変化しない中、週に5日以上が微減したものの、週に1日以上、2日以上、3日以上がそれぞれおおむね1～2ポイント増加しました。
- ・前述した[問11①. 1年間に実施したスポーツ]との関連をみると、ジョギングや散歩、軽い運動など気軽に行えるスポーツを日常的に行っていることが伺えます。



問13 この1年間にスポーツを実施したのはどのような理由からですか。 [MA]

スポーツを行う理由で多いのは、健康、体力増進・維持、楽しみのため

- ・「健康のため」が68.2%で最も多く、次いで「体力増進・維持のため」が52.2%、「楽しみ、気晴らしとして」が47.7%となっています。
- ・前回と比較すると、若干の順位の入替えはあるものの、大きな変化は見られません。
- ・1位の「健康のため」は今回も前回同様1位でしたが、前回4位だった「体力増進・維持」が、約13ポイント増加し、今回2位となっていることが特徴的です。
- ・一方、割合は少ないものの、「友人・仲間との交流として」が前回に比べ約8.5ポイント減少しています。
- ・前回調査以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響下において、外出や運動の機会減少による体力低下や、大人数での集まりが敬遠されたことなどが影響しているとも考えられます。

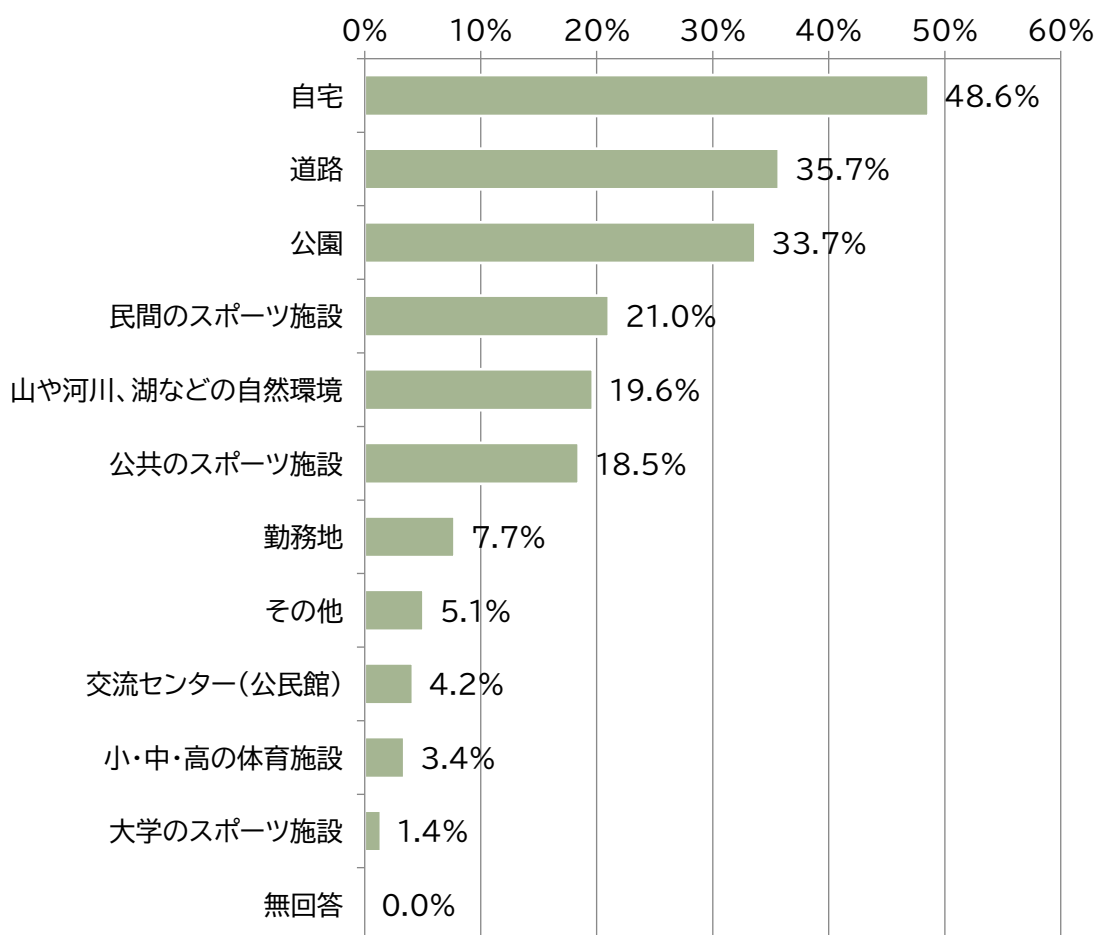


N=1,084(今回) N=1,037(前回)

問14 この1年間に、スポーツをどこで行いましたか。 [MA]

「自宅」や「道路」「公園」など、実施したスポーツ(体操やジョギング等)との関連性が強い

- ・「自宅」が48.6%で最も多く、次いで「道路」が35.7%、「公園」が33.7%となっています。
- ・前述した[問11①、1年間に実施したスポーツ]との関連をみると、上位を占めたジョギングやラジオ体操、ストレッチ、筋トレなどの実施場所と関係性が強く現れています。

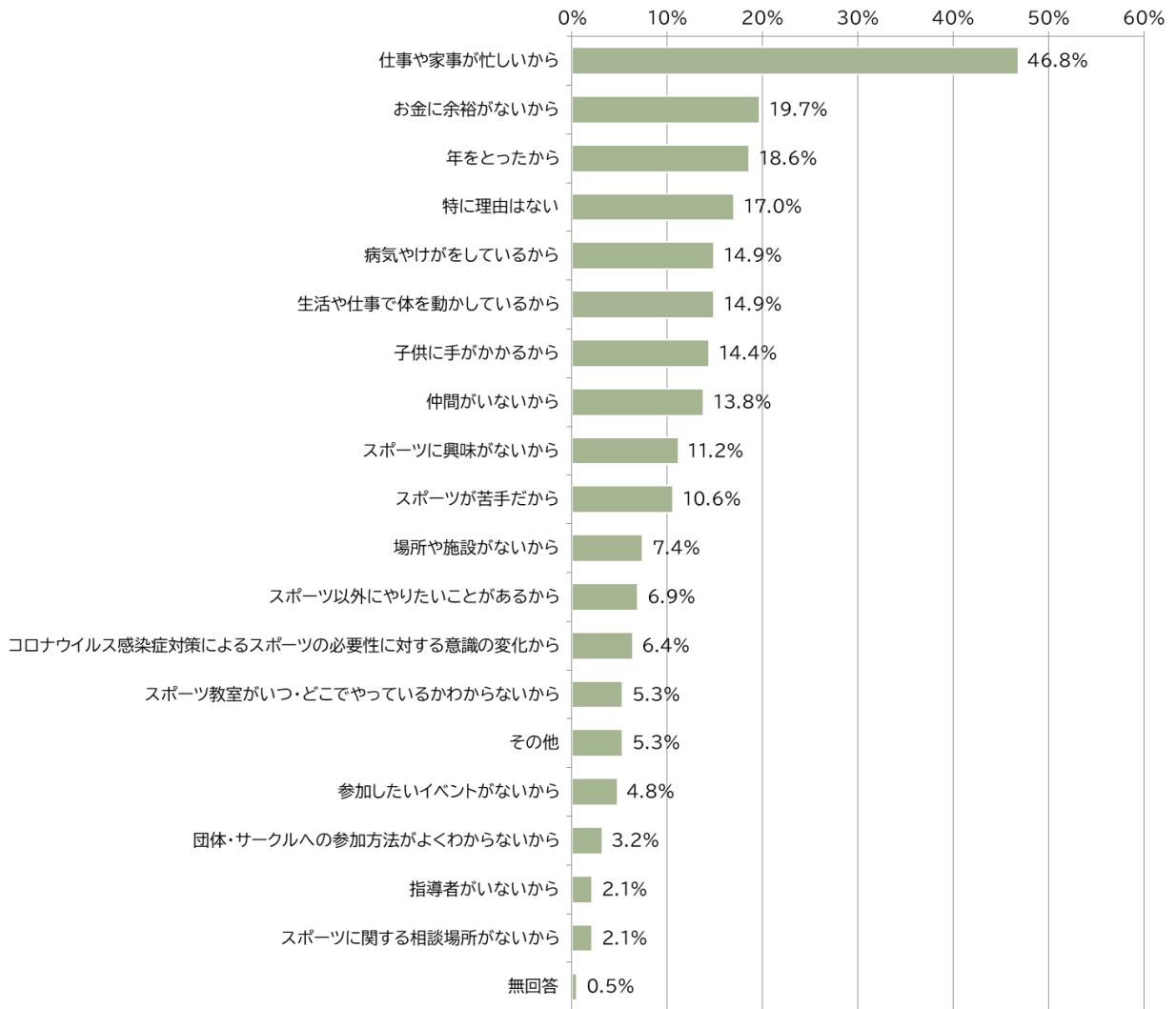


N=1,084

問15 問11の①で「34 特にない・していない」に回答した方（スポーツしていない方）におたずねします。この1年にスポーツをしなかったのはどのような理由からですか。 [MA]

仕事や家事など忙しいのが最も多い理由

- ・「仕事や家事が忙しいから」が46.8%で最も多く、次いで「お金に余裕がないから」が19.7%、「年をとったから」が18.6%となっています。
- ・他の回答に比べ1位の「仕事や家事が忙しいから」が圧倒的に多いのが特徴です。

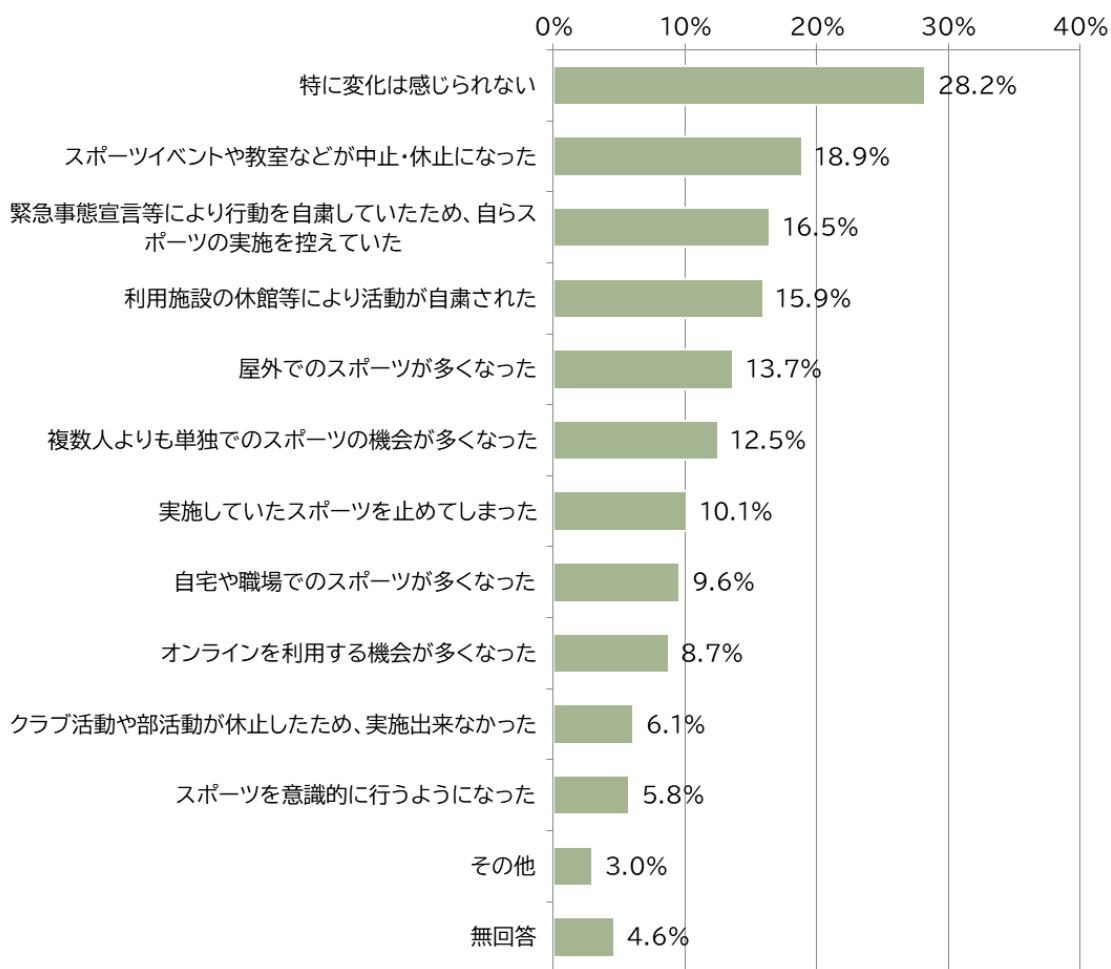


N=188

問 16 すべての方におたずねします。新型コロナウイルス感染症等の影響により、スポーツ環境に変化を感じましたか。 [MA]

スポーツをする機会の減少など様々な影響を受けた

- ・「特に変化は感じられない」と「無回答」を合わせると約3割となっており、残りの約7割の回答者が何らかの影響を受けたと言えます。
- ・その影響の回答としては、「スポーツイベントや教室などが中止・休止になった」が18.9%、「緊急事態宣言等により行動を自粛していたため、自らスポーツの実施を控えていた」が16.5%、「利用施設の休館等により活動が自粛された」が15.9%などとなっています。
- ・[問 14. スポーツの実施場所]において、学校の体育施設や交流センターの割合が少なかった理由や、[問 11①. 1年間に実施したスポーツ]において、屋外で一人でも行えるジョギングや散歩などが高い割合を示した結果との関係性が見て取れます。

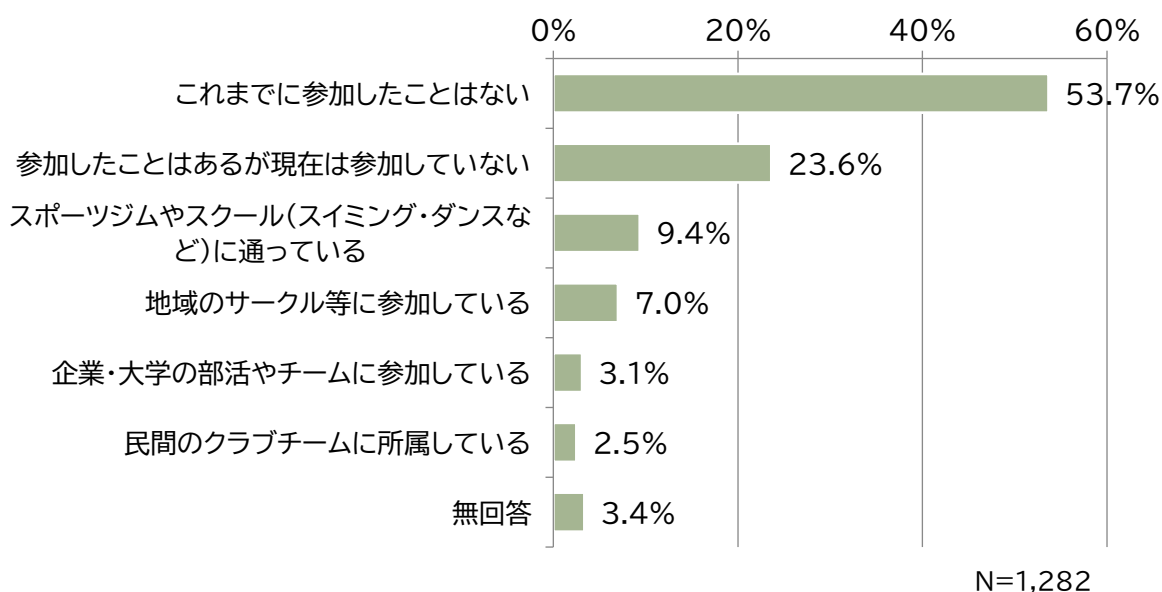


N=1,282

問 17 現在、各種スポーツ団体等に参加していますか。 [MA]

スポーツ団体等への参加経験は少ない

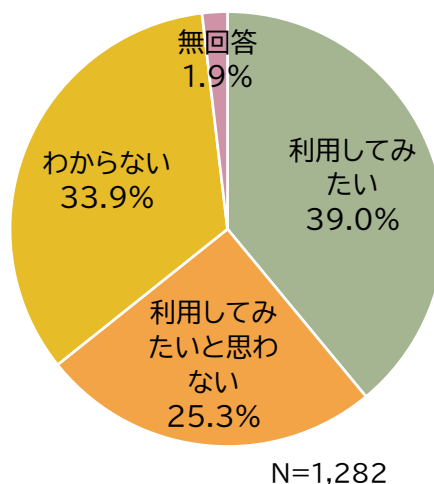
- ・「これまでに参加したことはない」が 53.7%で最も多く、次いで「参加したことはあるが現在は参加していない」が 23.6%、「スポーツジムやスクール（スイミング・ダンスなど）に通っている」が 9.4%となっています。
- ・一人でも気軽に行えるジョギング等軽運動を行っている回答者も多く、スポーツ団体等への参加経験が少なくなっている、あるいは必要がないものと考えられます。



問 18 あなたは、総合型地域スポーツクラブについて、利用してみたいと思いますか。 [SA]

利用したい市民も存在するが、約1/3がわからないとの回答

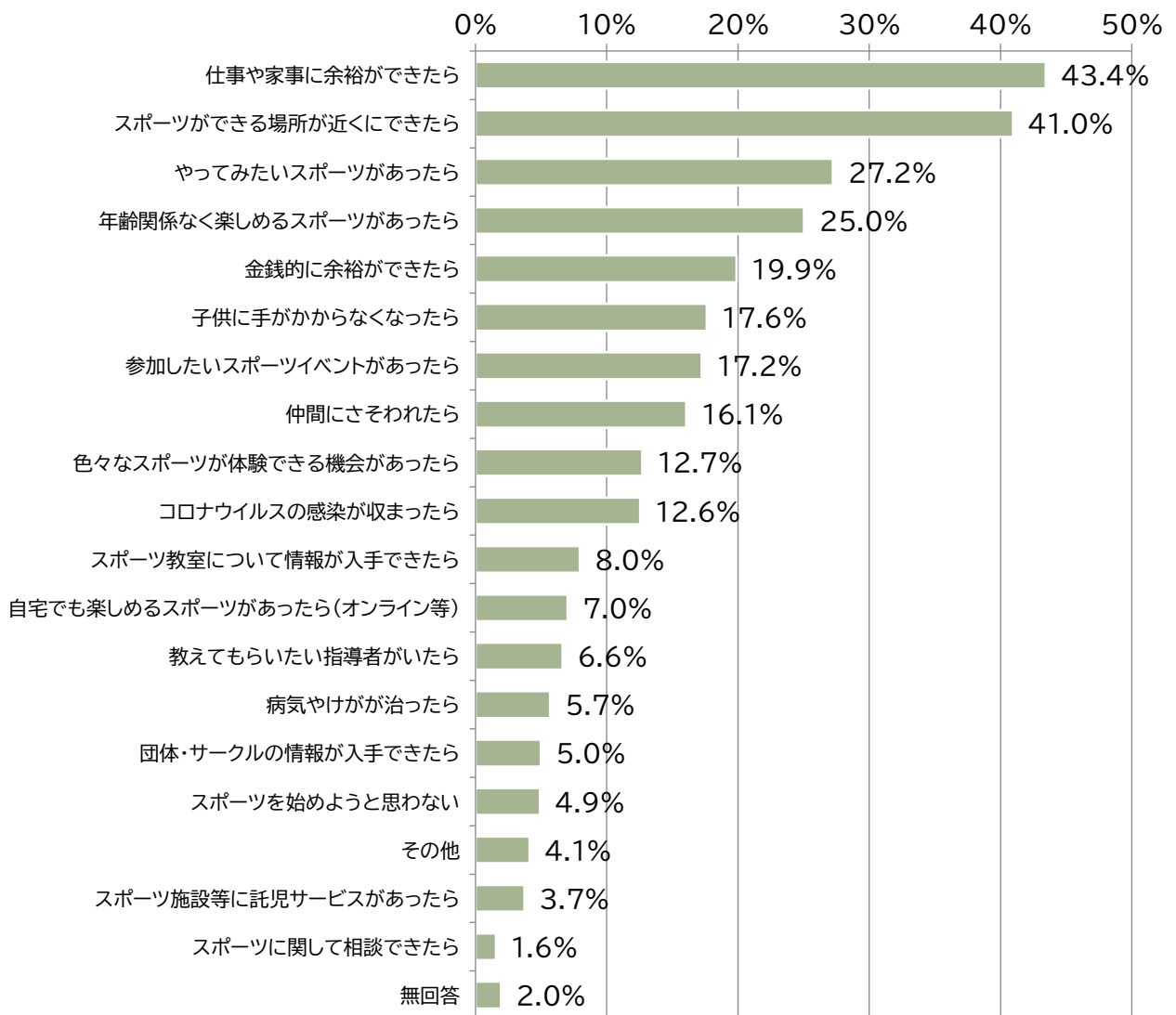
- ・「利用してみたい」が 39.0%で最も多く、次いで「わからない」が 33.9%、「利用してみたいと思わない」が 25.3%となっています。
- ・「利用してみたい」が「利用してみたいと思わない」を上回っていますが、「わからない」が約 34%を占めており、多くの市民にとって、総合型地域スポーツクラブ自体が知られていないことが分かります。



問19 あなたは、どのようなきっかけがあれば新しくスポーツを始めようと思いますか。（現在スポーツをしている人は新しいスポーツを始めるきっかけ、現在していない人は始めようと思うきっかけについてお答えください。） [MA]

スポーツをしない理由の裏返しへの傾向が強い

- ・「仕事や家事に余裕ができたなら」が43.4%で最も多く、次いで「スポーツができる場所が近くにできたなら」が41.0%、「やってみたいスポーツがあったら」が27.2%となっています。
- ・[問15. スポーツをしない理由]との関係性が強く、「仕事や家事に余裕ができたなら」が、しない理由のトップ「仕事や家事が忙しいから」の裏返しとして現れています。この他、「年齢に関係なく楽しめるスポーツがあったら」や「金銭的に余裕ができたなら」、「子供に手がかからなくなったら」なども同様のことがうかがえます。
- ・そのような中、「スポーツができる場所が近くにできたなら」や「やってみたいスポーツがあったら」については、上記の傾向とは違い、本問において高い割合を示しています。



N=1,282

5 「みる」・「ささえる」スポーツについて

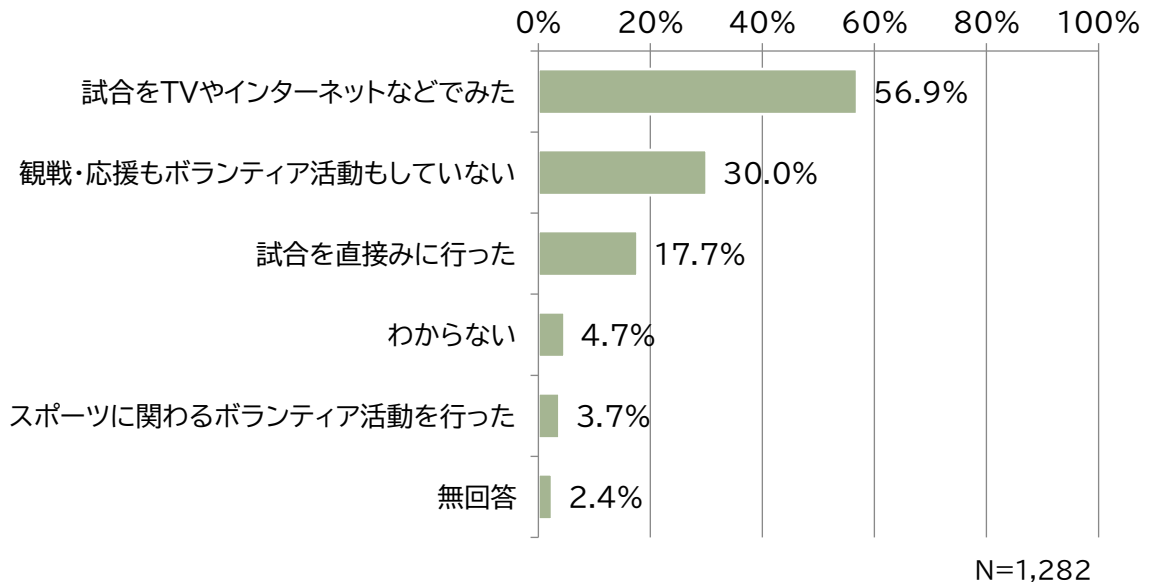
問20 あなたは、この1年間に、スポーツの試合を観戦・応援したり、スポーツに関わるボランティア活動を行ったりしたことがありますか。 [MA]

TVやインターネットでの観戦が多い

- ・「みる」機会としては、「試合をTVやインターネットなどでみた」が56.9%となっており、「試合を直接見に行った」の17.7%の3倍以上の割合を示しています。

スポーツ関わるボランティア活動をした回答者は少ない

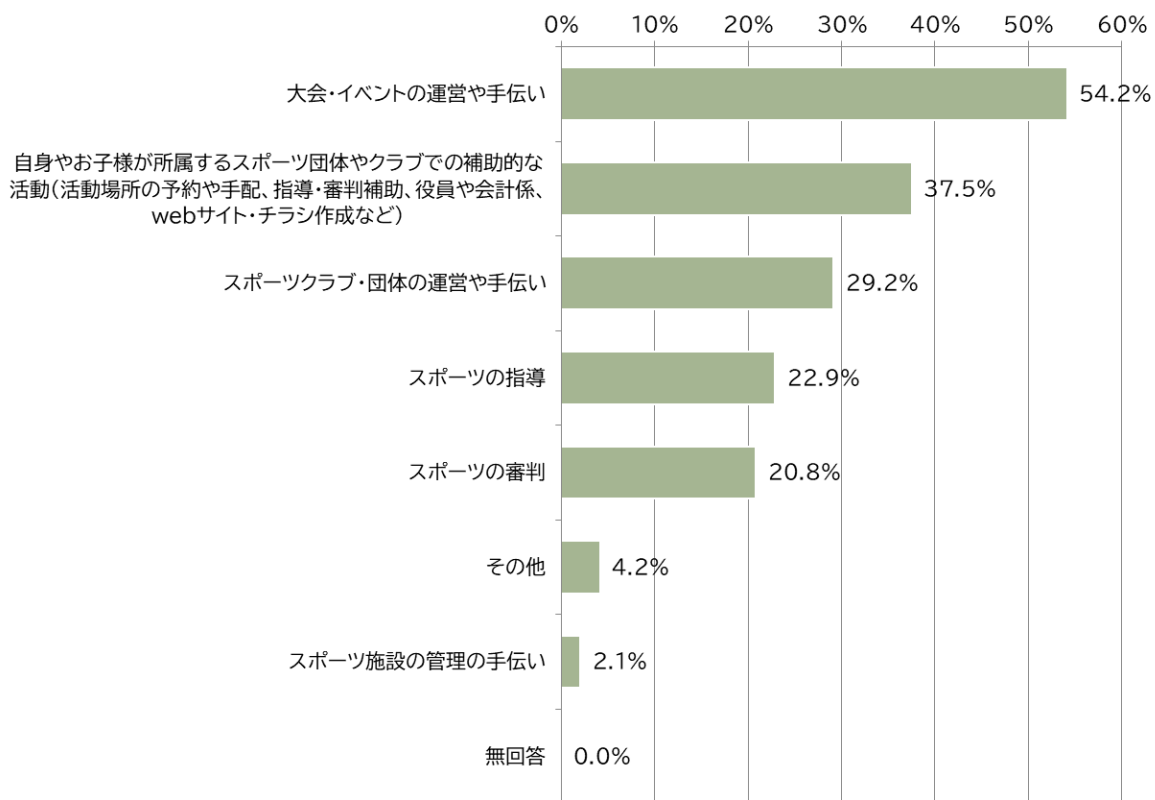
- ・「ささえる」機会としては、「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が30.0%と全体の中で2番目に多い割合を示しており、また、「スポーツに関わるボランティア活動を行った」は3.7%と少ない結果となっています。



問21 問20で「3 スポーツに関わるボランティアを行った」と回答した方におたずねします。スポーツに関わるボランティア活動として、具体的にどのようなことを行いましたか。【MA】

ボランティアとして大会・イベントの運営や手伝いに携わる機会がそれなりに多い

- ・具体的なボランティア活動の内容については、「大会・イベントの運営や手伝い」が54.2%で最も多く、次いで「自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動（活動場所の予約や手配、指導・審判補助、役員や会計係、webサイト・チラシ作成など）」が37.5%、「スポーツクラブ・団体の運営の手伝い」が29.2%となっています。

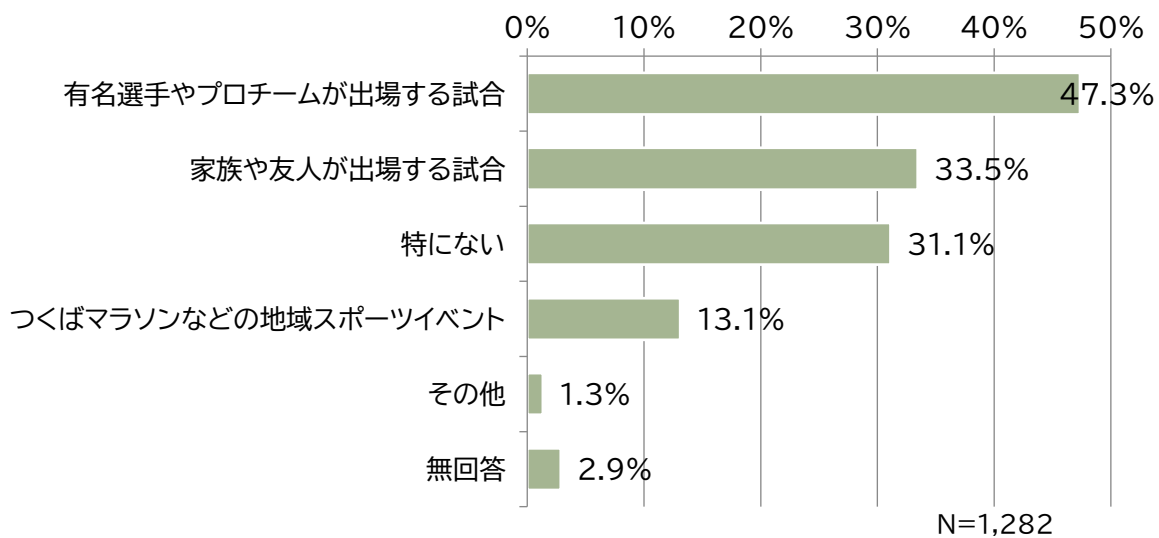


N=48

問 22 今後、市内で観戦・応援してみたいものはありますか。 [MA]

有名選手やプロチームが出場する試合開催が機運を高める

・「有名選手やプロチームが出場する試合」が 47.3%で最も多く、次いで「家族や友人が出場する試合」が 33.5%となっています。一方で、「特にない」が 31.1%となっています。



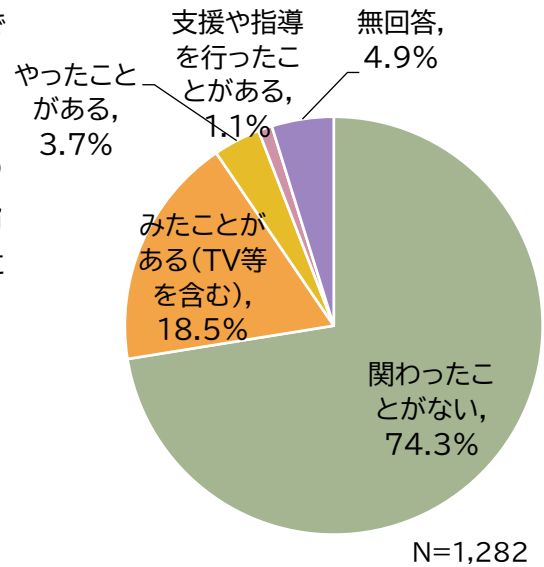
6 障害者スポーツ(パラスポーツ)について

問23 あなたは、これまでに障害者スポーツ(車いすバドミントン、ボッチャ等の障害者スポーツ)に関わったことがありますか。[MA]

また、関わったことがある場合、それぞれ関わった種目を選択肢①～⑧から選び()内にご記入ください。[MA]

パラスポーツの観戦や体験など、パラスポーツとの関わりが非常に少ない

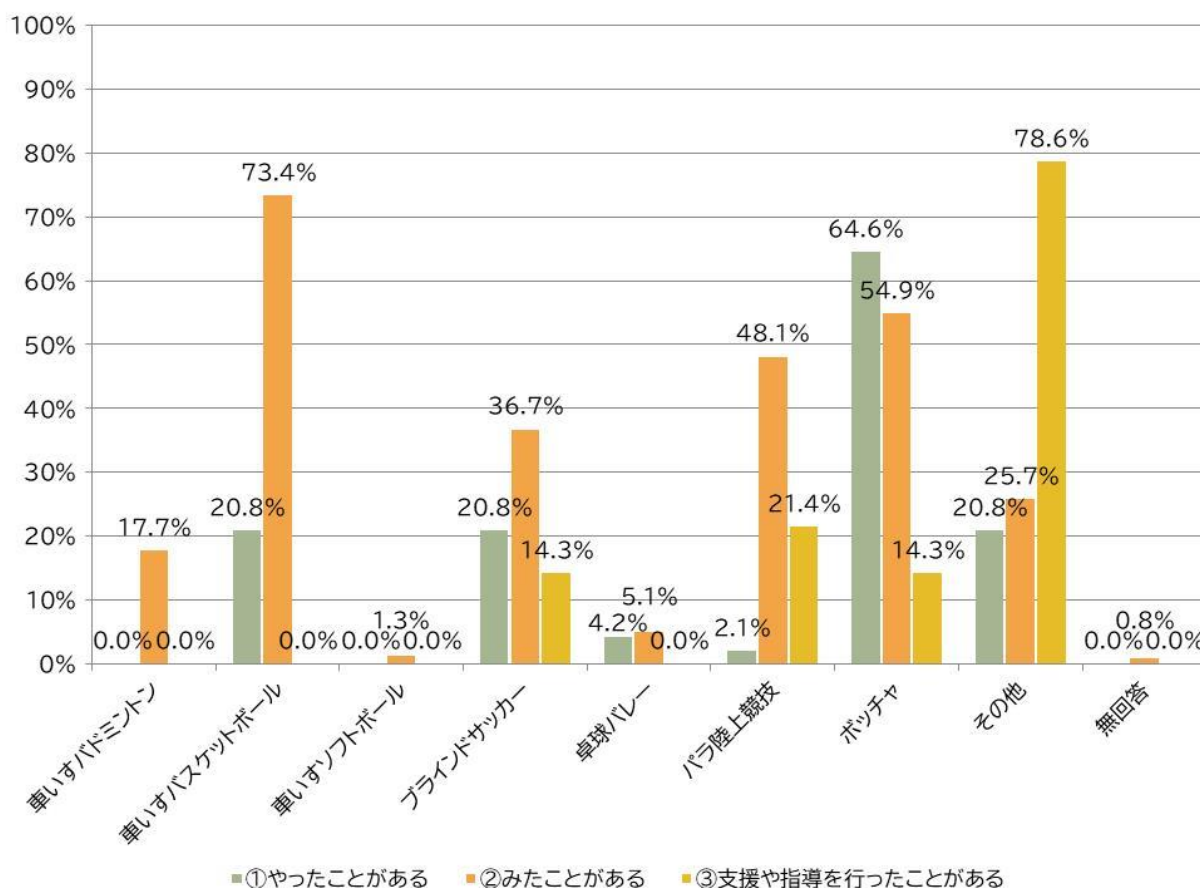
- ・「関わったことがない」が74.3%で最も多く、次いで「みたことがある(TV等を含む)」が18.5%、「やったことがある」が3.7%となっています。
- ・「関わったことがない」が7割以上と圧倒的に多くの割合を占める中、「やったことがある」や「支援や指導を行ったことがある」は全体に占める割合が非常に少なくなっています。



①やったことのあるパラスポーツ／②みたことがあるパラスポーツ／③支援や指導を行ったことがあるパラスポーツ

ボッチャは、やったことも、みたことも比較的多いが、
全体的にはみたことはあるが、やったことは少ない

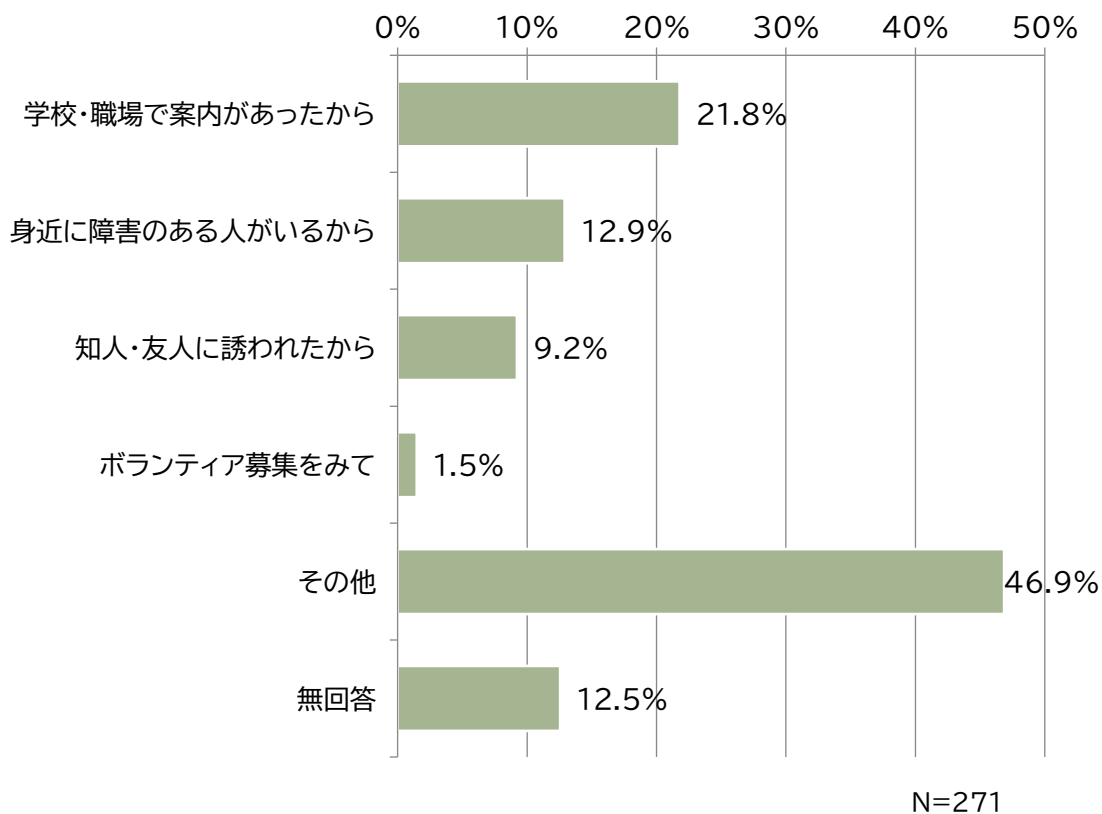
- ・①やったことのあるパラスポーツでは、「ボッチャ」が 64.6%と最も多く、次いで「車いすバスケットボール」と「ブラインドサッカー」及び「その他」(*)が同数で 20.8%となっています。
 (*)車いす卓球・車いすアルティメット・歩く大会・ブラインドテニス・知的障害者卓球・サウンドテニスボール・フライングディスク・ブラインドフットベースボール・ペタンク・サウンドテーブルテニス
- ・②みたことがあるパラスポーツは、「車いすバスケットボール」が 73.4%と最も多く、次いで「ボッチャ」が 54.9%、「パラ陸上競技」が 48.1%となっています。
- ・③支援や指導を行ったことがあるパラスポーツは「その他」が 78.6%と最も多く、次いで「パラ陸上競技」が 21.4%、「ブラインドサッカー」と「ボッチャ」が 14.3%となっています。
 (*)車いすテニス・車いすアルティメット・水泳・サウンドテーブルテニス・スペシャルオリンピックス日本(陸上)・スペシャルオリンピックス日本(フロアホッケー)・行政での事務従事・大学のアドバンスドボランティアコースを通じて 等
- ・①～③の有効回答者数が違うため正確な比較はできませんが、①～③いずれも一定の割合を得たのは、「ボッチャ」、「ブラインドサッカー」です。「その他」(車いすテニスなど)についても同様ですが、特に支援や指導を行ったことがある割合が他に比べ突出しています。
- ・全体の傾向としては、パラスポーツは観たことがあるがやったことがない、また支援や指導の経験が少ないことが読み取れます。



問24 問23で1～3に回答した方(関わりがある方)におたずねします。どのようなきっかけで、やったりみたり、支援などを行いましたか。[MA]

パラスポーツとの関わりは、多様なきっかけで

- ・パラスポーツに関わったきっかけについては、「その他」が46.9%と最も多く、次いで「学校・職場で案内があったから」が21.8%、「身近に障害のある人がいるから」が12.9%、「知人・友人に誘われたから」が9.2%となっています。
- ・「その他」の具体的なきっかけとしては、テレビのオリンピック・パラリンピック中継、施設で働いている、知人が車いすラグビーをしている、かかりつけ医にあるポスター、偶然見たプレイ技術に釘付けになった、支援団体に所属していた、漫画やSNSで見た、職場に障害者スポーツの専門家がいる、好きなアナウンサーが試合実況を担当していたから等多様なきっかけから関わりを持った回答者も多く見られます。

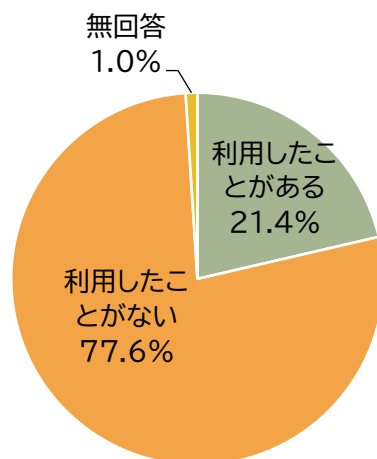


7 公共のスポーツ施設について

問 25 この1年間で、市の公共スポーツ施設を利用したことはありますか。 [SA]

利用したことがない約8割

- ・「利用したことがある」が21.4%、「利用したことがない」が77.6%となっており、利用したことがない割合が大きく上回っています。
- ・利用したことがない割合が多い理由としては、設問の11や14の結果にもあるように、自宅や道路、公園等、スポーツ施設を使わないで行うジョギングや散歩、軽い運動などをすると回答した人が多いためと推察されます。

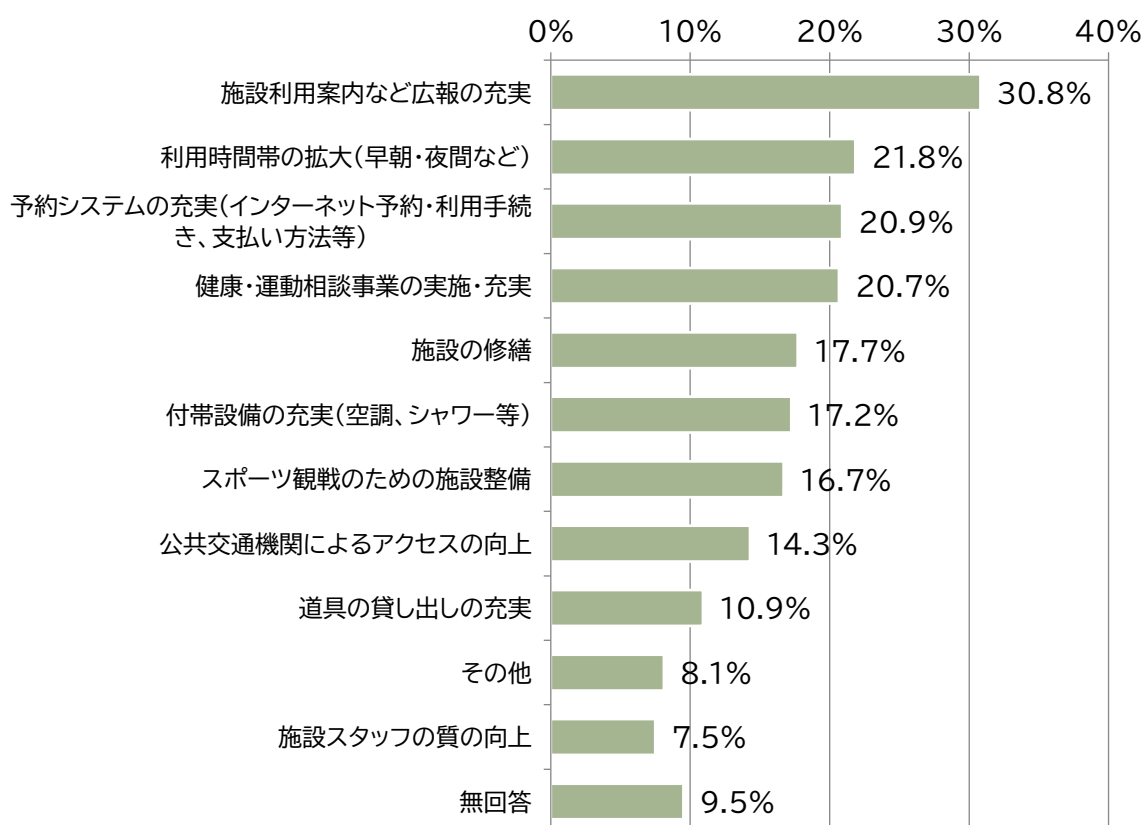


N=1,282

問 26 今後、市の公共スポーツ施設に期待することはありますか。 [MA:3 つまで]

施設の利用利便性向上に対し多様な要望

- ・「施設利用案内など広報の充実」が 30.8%で最も多く、次いで「利用時間帯の拡大（早朝・夜間など）」が 21.8%、「予約システムの充実（インターネット予約・利用手続き、支払い方法等）」が 20.9% となっています。
- ・突出して割合の多い回答はなかったものの、分散的に選択されたことにより 10%台～20%台の割合の回答が多く、公共のスポーツ施設に対し多様な期待を有していることが伺えます。



N=1,282

8 自由意見

最後に、つくば市のスポーツ振興の取組や、スポーツ行政サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。[FA]

自由意見について、H30年度つくば市スポーツ推進計画の施策を元に下表のとおり①から⑮の項目及びその他の項目に分類し集計しました。

意見によっては複数の項目に及ぶものもあるため、それぞれの件数にカウントしています。

スポーツ施設の整備や維持管理に関するご意見が全体の約4割と最多

子供のスポーツ活動、スポーツイベント、スポーツ等を学ぶ機会に対するご意見も1割程度

項 目	件 数
①成人のスポーツ活動に関するご意見	5
②子供のスポーツ活動に関するご意見	36
③高齢者のスポーツ活動に関するご意見	13
④障害者のスポーツ活動に関するご意見	4
⑤スポーツを通じた交流に関するご意見	3
⑥スポーツをささえる組織基盤に関するご意見	2
⑦住民が参画するスポーツイベントの機会に関するご意見	29
⑧スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	124
⑨スポーツ指導者に関するご意見	3
⑩スポーツ・運動を学ぶ機会に関するご意見	26
⑪スポーツ活動における安全の確保に関するご意見	24
⑫スポーツ団体との連携・協働に関するご意見	6
⑬大学及び研究機関との連携・協働に関するご意見	4
⑭行政部局間の連携に関するご意見	5
⑮国、茨城県等との連携に関するご意見	4
その他	23
合 計	311

※各項目の代表的な意見を次ページに示します。

<代表的な意見>

①成人のスポーツ活動に関するご意見

- ・ふれあいプラザのプールで大人のスイミングがフリーでできる時間を設定してほしい
- ・つくば市から新しいスポーツ（障害者用を含む）を発信できれば面白いかもしれない など

②子供のスポーツ活動に関するご意見

- ・子供達のためにも記録会ができる競技場の建設をお願いしたい
- ・スポーツに対してもどんな子供でも参加しやすい環境が整備されていけばいいと思う
- ・スポーツ施設へのアクセス向上を希望する
- ・自然を満喫できるスポーツ、子供が参加したくなるようなイベント等があれば嬉しい など

③高齢者のスポーツ活動に関するご意見

- ・高齢者が使いやすい施設と、スポーツ施設への気軽な移動手段の充実を望む
- ・高齢者のためのスポーツ教室を増やして欲しい
- ・WEB 配信等で高齢者も自宅でできる体操等があれば高齢の家族を参加させてみたい など

④障害者のスポーツ活動に関するご意見

- ・公共交通の充実が障害者のスポーツ参加を促すと思う
- ・ボッチャ等パラスポーツの練習場があればよいとの声を競技者から聞いたことがある など

⑤スポーツを通じた交流に関するご意見

- ・初めてでも気軽に参加できるようなスポーツ機会の提供を望む
- ・スポーツを通じ地域社会全体で多様な世代間交流が進められる仕組みがあるといい など

⑥スポーツをささえる組織基盤に関するご意見

- ・昔からつくば市で頑張っているスポーツ少年団やサークルを大切にしたい
- ・市内のスポーツ少年団（サッカー、野球、剣道など）の活躍に期待している

⑦住民が参画するスポーツイベントの機会に関するご意見

- ・年寄りでもわくわくするような魅力的なスポーツイベントの開催とその宣伝活動を望む
- ・プロスポーツやパラスポーツを観戦できる施設の充実を望む
- ・やりたいと思った人が広く受け入れられる講座（短期でいいので）を増やして欲しい
- ・初心者が気軽に参加できるイベント等を増やして欲しい など

⑧スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理

- ・子供も大人も一緒に使用出来る楽しい施設が欲しい
- ・スポーツのジャンルの幅を広げて、施設拡充や観戦施設の拡大を望む
- ・運転免許がない、車を所有していないなどの理由から、駅近くなどアクセスしやすい場所にスポーツ施設があるとありがたい
- ・予約なしで利用できるスポーツ施設があればありがたい
- ・予約方法がわからない、もっと簡単に予約できればよい、アプリ等を使って予約できればよい
- ・ストリートスポーツ環境の充実を望む
- ・駐車場が少ない
- ・公園へのドッグランの併設や、ドッグスポーツ施設があればいいと思う
- ・公共のスポーツ施設だけではなく、民間のスポーツ施設と連携したスポーツ推進が必要

- ・将来に負担を残すような過度な施設を造らず、人口増や税収に合わせた適切な拡充をお願いしたい
- ・利用時間帯の拡大や施設の修繕などが行われるともっと利用しようとする人が増えるのではないだろうか など

⑨スポーツ指導者に関するご意見

- ・各種スポーツの指導者の育成が必要
- ・様々な国・地域のかたから地元のスポーツやローカルルールを教えてほしい

⑩スポーツ・運動を学ぶ機会に関するご意見

- ・幼児向けのスポーツ教室やイベントがあると嬉しい
- ・広報つくば等での情報しか知らないなので、もっとそれ以外でも積極的に発信してほしい
- ・仕事や介護などで時間がない人も気軽にできる参加できる機会があればよいと思う
- ・知らないスポーツの体験ができる機会があると、そのスポーツへの理解が進みやってみたい、応援してみたいと思う
- ・休日の朝など公園で無料でだれでも予約なしで気軽に参加できるスポーツイベントがあればいいと思う など

⑪スポーツ活動における安全の確保に関するご意見

- ・ジョギング中に車に危険を感じることが多い
- ・テニスコートのひび割れなどの修理を望む
- ・街灯を増やして夜間のウォーキング、ランニングを安全に行えるようにしてほしい
- ・人、自転車、車がお互い安全に通行できる交通環境の充実が必要 など

⑫スポーツ団体との連携・協働に関するご意見

- ・プロスポーツの誘致を望む
- ・プロスポーツを応援する機会をつくってほしい
- ・市内事業者や人材をうまく活用すればいいのではないかなど

⑬大学及び研究機関との連携・協働に関するご意見

- ・筑波大学の設備や人的資源の一層の活用 など

⑭行政部局間の連携に関するご意見

- ・スポーツ振興やスポーツ行政を積極的に行って欲しい
- ・スポーツ推進事業による市の財政の、支出削減効果や税収アップ効果がどれだけ見込まれるか説明して欲しい など

⑮国、茨城県等との連携に関するご意見

- ・土浦市との連携によるサイクリング施設の充実 など

その他

- ・スポーツだけでつくば市が良くなるとは思えない
- ・つくば市のスポーツ振興の取組やスポーツ行政サービスのことがあまりよくわからない
- ・スポーツ振興は優先順位が低く、スポーツをする限定的な人のためにあまり税金を無駄遣いしてほしくない
- ・様々な取り組みに期待する など

障害者のスポーツ活動調査

[令和4年度 つくば市スポーツ活動調査報告書]

はじめに	1
1 属性	2
2 つくば市のスポーツ環境について	4
3 「する」スポーツについて	12
4 「みる」「ささえる」スポーツについて	28
5 自由意見	31

令和5年3月

はじめに

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度から令和15年度までを計画期間とする「第2次つくば市スポーツ推進計画」を策定するにあたり、市民の運動・スポーツ活動の実態やスポーツ振興に関するご意見・意向などを把握し、計画の策定や施策の推進に役立てることを目的に実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査対象者：障害者手帳をお持ちの7歳以上の方から1,010人（無作為抽出）
- (2) 調査期間：令和4年11月（配布・回収）
- (3) 配布・回収方法：郵送による配布・回収+Web回収

3. 配布・回収状況

回収数			配布数	回収率
郵送	Web	合計		
294	87	381	1,010	37.7%

4. 調査の分析にあたっての注意事項

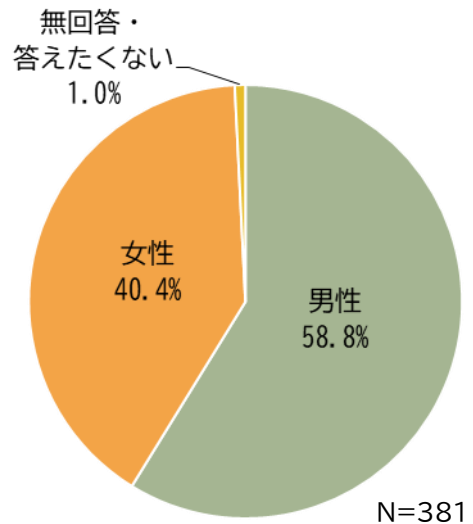
- ・集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっています。したがって、シングル・アンサー〈SA〉（1つの選択肢のみを回答する設問）の合計は、100.0%とまらない場合があります。
- ・回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、マルチ・アンサー〈MA〉（複数の選択肢を回答する設問）の各選択肢の割合を合計した場合、100.0%を超えた数値となります。
- ・グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・本文グラフ及び表では「無回答」を含んで集計しています。
- ・回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- ・有効回答者数は各設問に（N=●●）で表してあります。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票はカウントしていません。
- ・表中の今回と記載のあるものは本調査の結果を指しており、前回の記述のものは平成29年度に実施した「つくば市障がい者のスポーツ活動に関する調査」の調査結果を用いています。

1 属性

問1 あなたの性別についてお答えください。 [SA]

回答者の男女比は、男性が約6割、女性が約4割

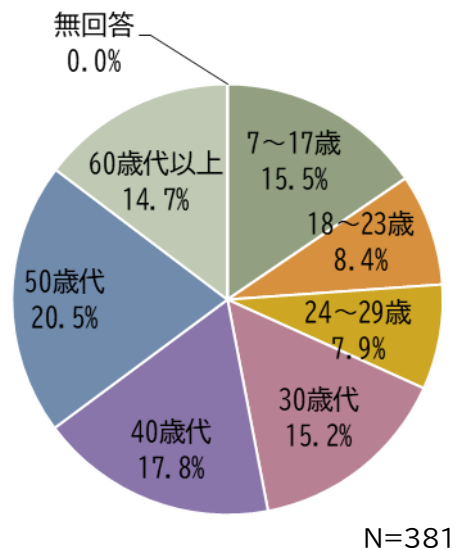
- ・回答者の性別は、「男性」が58.8%、「女性」が40.4%、「無回答・答えたくない」が1.0%の順となっています。
- ・回答者の男女比は、男性の方が多くなっています。



問2 あなたの年齢についてお答えください [SA]

50歳代が最多で、29歳以下の割合は少ない

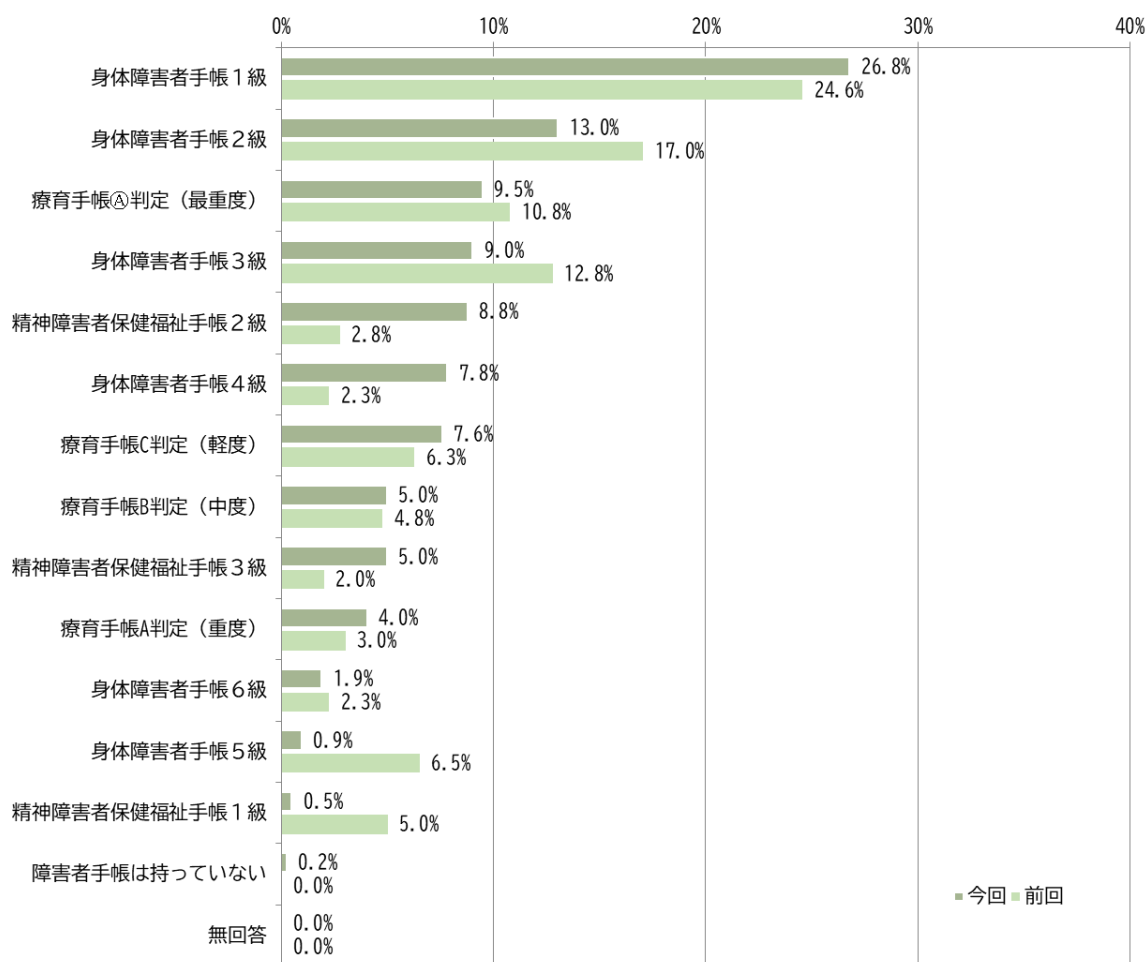
- ・回答者の年齢は、「50歳代」が20.5%で最も多く、次いで「40歳代」が17.8%、「7~17歳」が15.5%となっています。
- ・他の年齢層と比較すると、「18~23歳」、「24~29歳」の割合がそれぞれ1割未満と少なくなっています。



問3 あなたの障害等級などについてお答えください。 [MA]

「身体障害者手帳1級」が全体の3割弱を占め、前回に比べ若干増加

- ・回答者の障害等級は、「身体障害者手帳1級」が26.8%で最も多く、次いで「身体障害者手帳2級」が13.0%、「療育手帳A判定（最重度）」が9.5%となっています。
- ・前回と比較すると、ポイントが増加したのは、「身体障害者手帳1級」、「精神障害者保健福祉手帳2級」、「身体障害者手帳4級」、「療育手帳C判定（軽度）」、「療育手帳B判定（中度）」、「精神障害者保健福祉手帳3級」、「療育手帳A判定（重度）」などとなっています。



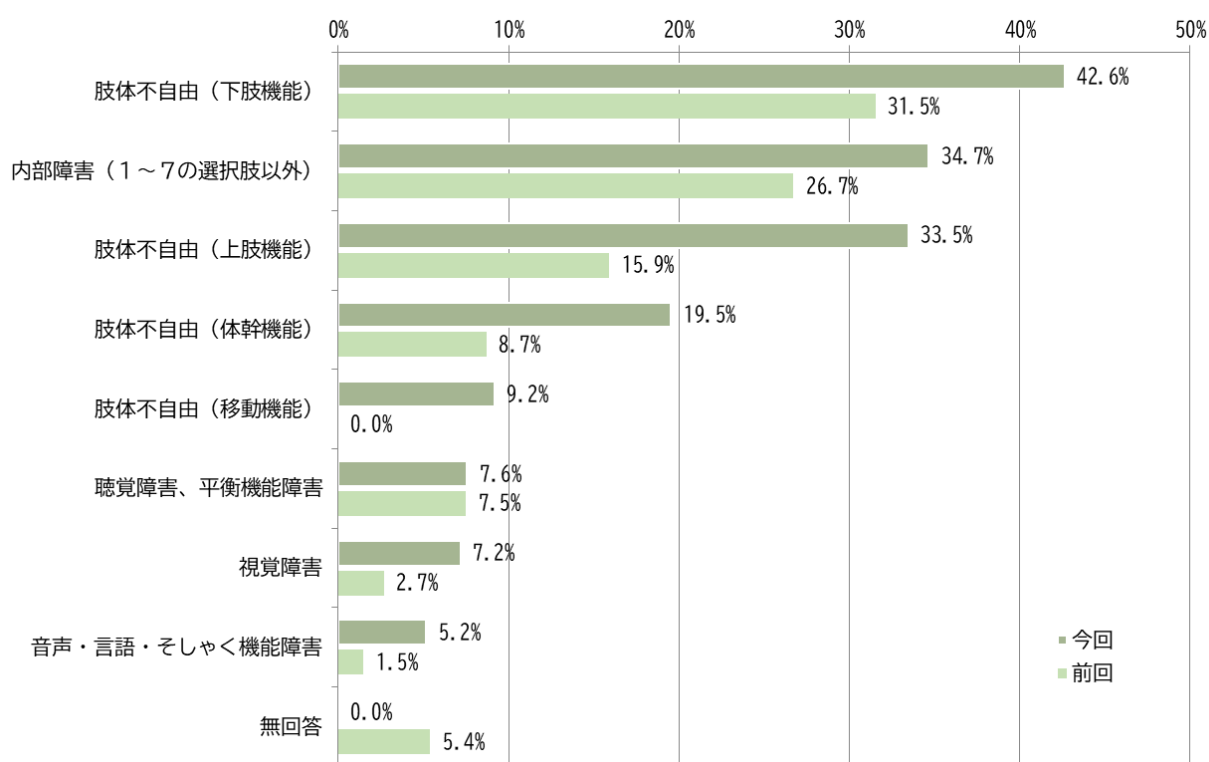
N=381(今回)

N=361(前回)

問4 問3で1～6と回答した方（身体障害者手帳をお持ちの方）におたずねします。
 該当する障害をお答えください。 [MA]

前回と同様に、肢体不自由(下肢機能)が最も多いが、
 前回に比べ、肢体不自由(上肢機能)などの回答が倍増

- ・回答者の該当する障害は、「肢体不自由（下肢機能）」が42.6%で最も多く、次いで「内部障害（1～7の選択肢以外）」が34.7%、「肢体不自由（上肢機能）」が33.5%となっています。
- ・前回と比較すると、「肢体不自由（上肢機能）」、「肢体不自由（体幹機能）」、「肢体不自由（移動機能）」が倍増以上しているほか、「肢体不自由（下肢機能）」や「内部障害（1～7の選択肢以外）」も増加しています。



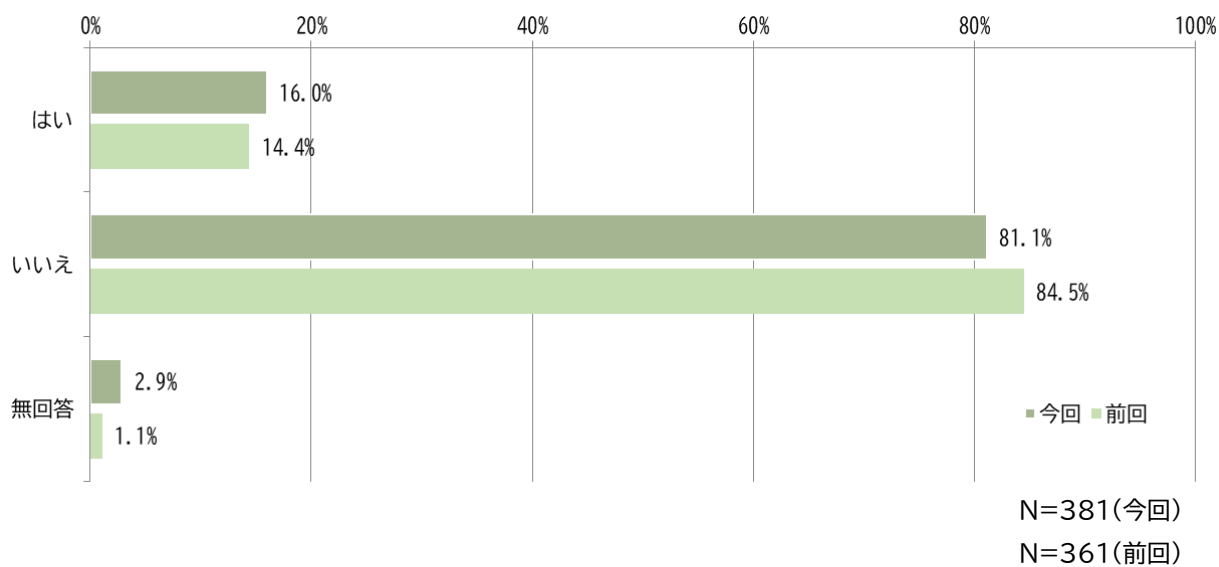
N=251(今回)

N=280(前回)

問5 あなたは日常生活で車いすを必要としていますか。(〇は1つ) [SA]

回答者の車いす利用割合は微増

- ・ 日常生活で車いすを必要とする回答者は、全体の16.0%となっています。
- ・ 前回と比較すると、必要とする割合が若干増加しています。



2 つくば市のスポーツ環境について

問6 あなたは、市内でスポーツを「する」環境が充実していると思いますか。(〇は1つ) [SA]

わからないが最多

全体的には不満傾向で、特に精神障害者福祉手帳保持者の不満傾向が高い

成人スポーツ活動調査と比較すると、不満傾向が高い

【全体】

- ・市内でスポーツを「する」環境の充実度については、「わからない」が38.6%で最も多く、次いで「普通」が25.5%、「不満である」が12.3%となっています。

【身体障害者手帳保持者】

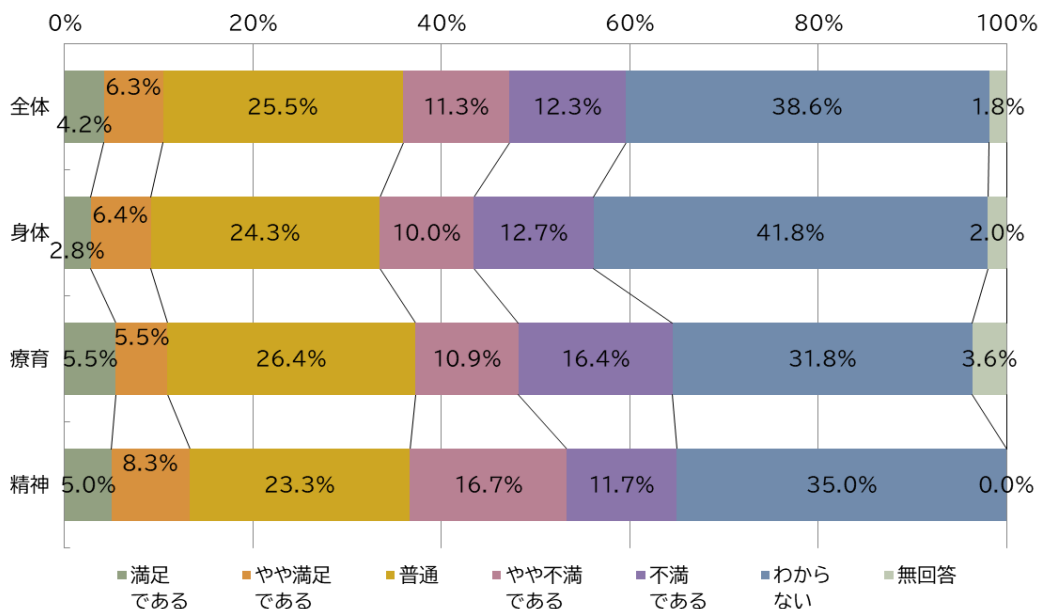
- ・全体と同様に「わからない」が41.8%で最も多く、次いで「普通」が24.3%、「不満である」が12.7%となっています。

【療育手帳保持者】

- ・全体と同様に「わからない」が31.8%で最も多く、次いで「普通」が26.4%、「不満である」が16.4%となっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・「わからない」が35.0%で最も多く、次いで「普通」が23.3%、「やや不満である」が16.7%となっています。



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問7 あなたは、市内の「障害者スポーツ」に関する環境が充実していると思いますか。(〇は1つ) [SA]

わからないが最多で、全体的には不満傾向

療育手帳保持者の不満傾向が高い

【全体】

・市内の「障害者スポーツ」に関する環境の充実度については、「わからない」が56.7%で最も多く、次いで「不満である」が15.0%、「やや不満である」と「普通」が10.8%となっています。

【身体障害者手帳保持者】

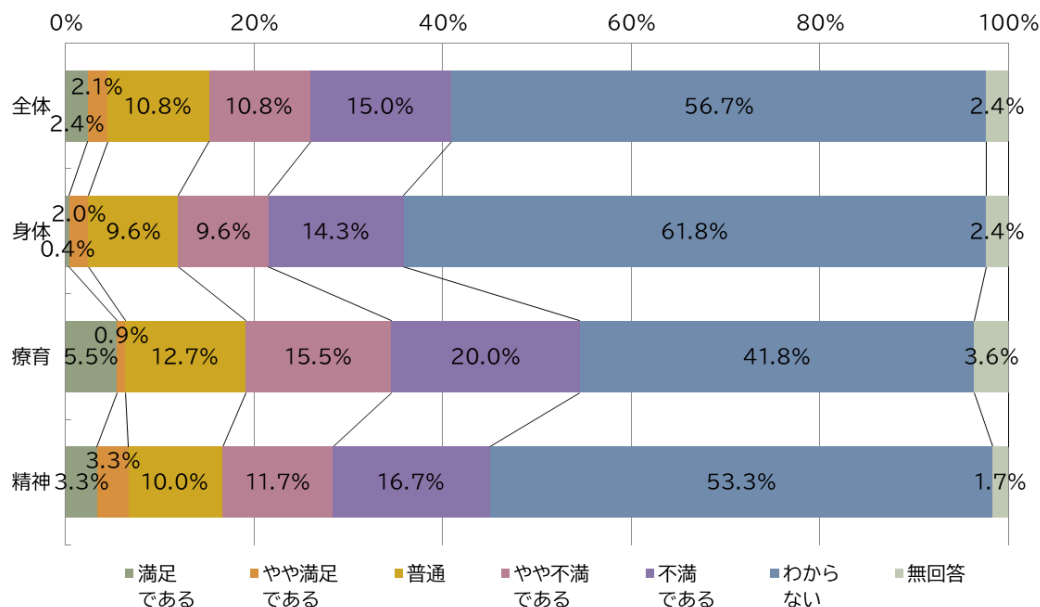
・全体と同様に「わからない」が61.8%で最も多く、次いで「不満である」が14.3%、「やや不満である」と「普通」が9.6%となっています。

【療育手帳保持者】

・全体と同様に「わからない」が41.8%で最も多く、次いで「不満である」が20.0%、「やや不満である」が15.5%となっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

・全体と同様に「わからない」が53.3%で最も多く、次いで「不満である」が16.7%、「やや不満である」が11.7%となっています。



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問8 あなたは普段、市内のスポーツに関する情報をどこから入手していますか。 [MA]

広報つくばや新聞・タウン誌等紙媒体からの入手が多いものの、積極的に入手していない、入手できていない割合も多い

療育手帳保持者は、学校からの配布物や知人・友人等から情報を入手しており、他の手帳保持者に比べ入手できていない割合は比較的少ない

精神障害者保健福祉手帳保持者は、他の手帳保持者に比べ入手できていない割合が多い

成人スポーツ活動調査結果とほぼ同様の傾向

【全体】

- ・市内のスポーツに関する情報の入手経路については、「広報つくば」が42.0%で最も多く、次いで「積極的に入手していない」が30.2%、「入手できていない」が16.0%、「家族・知人・友人から」が13.6%、「新聞・タウン誌」が12.3%となっています。
- ・比較的紙媒体での情報入手が多くなっている一方、入手していない、できていない割合が高くなっています。
- ・その他の記述として、「TV（ケーブルテレビACCS）」、「ラジオ」、「ポストに投函されたチラシ」、「口コミ」などがあります。

【身体障害者手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「積極的に入手していない」、「新聞・タウン誌」の割合が若干多くなっています。

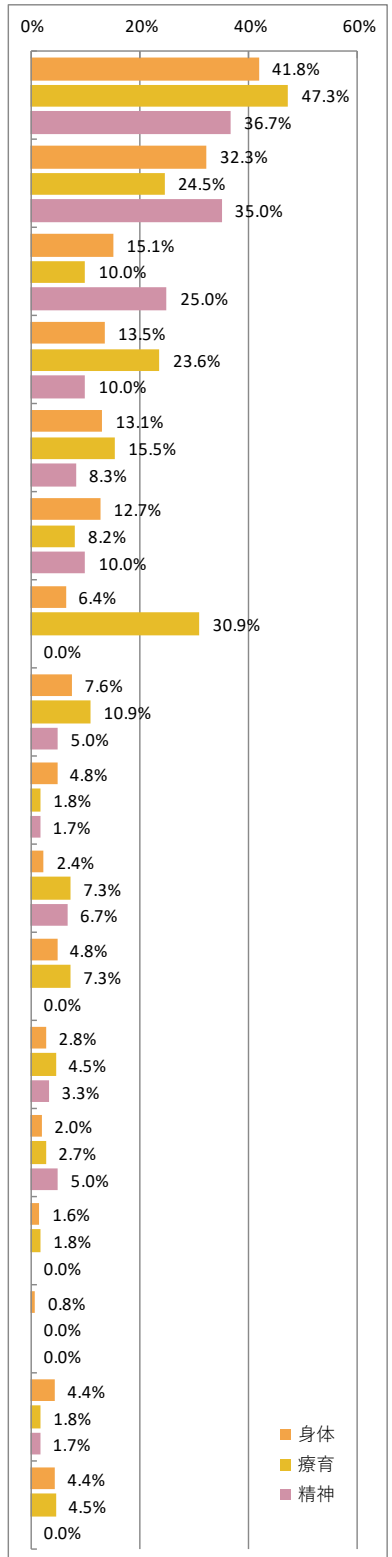
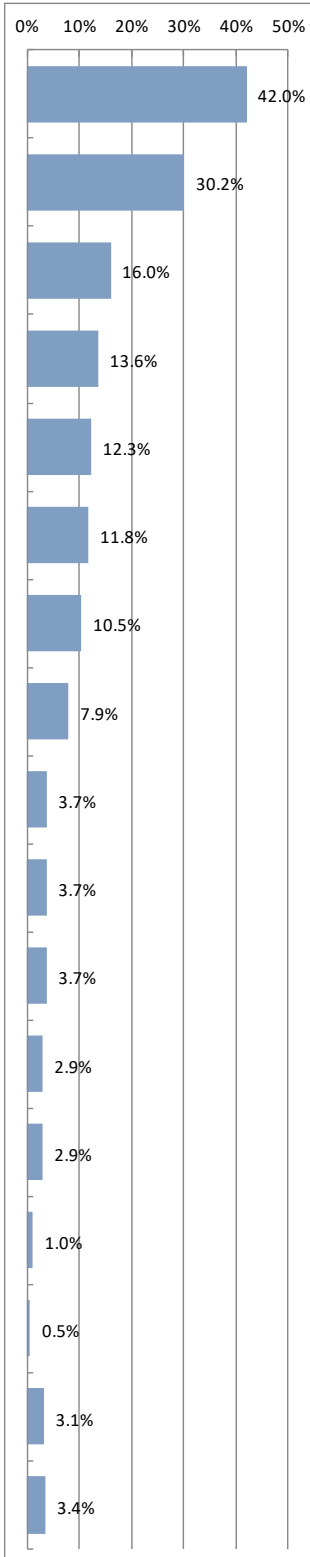
【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「広報つくば」、「家族・知人・友人から」、「学校からの配布物」などの割合が多くなっているのが特徴的です。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「積極的に入手していない」、「入手できていない」の割合が多くなっています。

		票数	全体
2	広報つくば	160	42.0%
15	積極的に入手していない	115	30.2%
14	入手できていない	61	16.0%
5	家族・知人・友人から	52	13.6%
4	新聞・タウン誌	47	12.3%
1	市のホームページ	45	11.8%
11	学校からの配布物	40	10.5%
9	自治会の回覧や掲示	30	7.9%
7	施設のホームページ	14	3.7%
8	施設掲示のポスター・チラシ	14	3.7%
10	障害者団体の会合や機関誌	14	3.7%
3	市公式SNS*	11	2.9%
12	市公式以外のSNS	11	2.9%
6	ボランティア・ヘルパーから	4	1.0%
13	行政の窓口	2	0.5%
16	その他	12	3.1%
	無回答	13	3.4%
	合計	645	169%



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問9 この1年間で、市の公共スポーツ施設を利用したことはありますか。 [SA]

利用したことがあるとの回答は16.0%と2割に満たない

療育手帳保持者は、他の手帳保持者に比べ利用したことがある割合が多い

【全体】

・この1年間で公共スポーツ施設を「利用したことがある」が16.0%、「利用したことがない」が81.6%となっています。

【身体障害者手帳保持者】

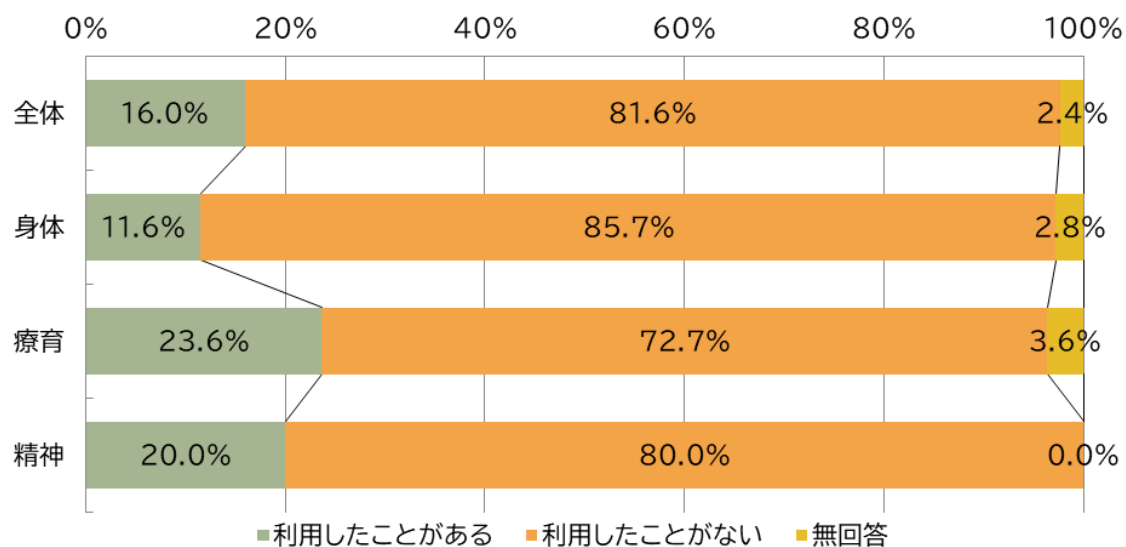
・全体と比較すると、「利用したことがある」割合が少なくなっています。

【療育手帳保持者】

・全体と比較すると、「利用したことがある」の割合が多くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

・全体と比較すると、「利用したことがある」の割合が多くなっています。



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問10 今後、市の公共スポーツ施設に期待することはありますか。 [MA:3 つまで]

施設利用の情報提供のほか、施設の設備やアクセス、利用時間帯の拡大など
利用利便性向上に期待

【全体】

- ・市の公共スポーツ施設に期待することについては、「施設利用案内など広報の充実」が28.6%で最も多く、次いで「健康・運動相談事業の実施・充実」が24.7%、「公共交通機関によるアクセスの向上」が20.7%となっています。
- ・その他の記述として、「公園の散歩コースが楽しくなるようにチェックポイントを作ってほしい」、「車椅子利用者がスムーズに利用できるプール」、「車椅子利用者向けにエレベーターを設置してほしい」、「大規模な総合施設を増やして欲しい」、「駐車場の拡大」、「障害者対象のスポーツクラスや体験会」、「利用費用を安くしてほしい」、「筑波交流センターのトイレや階段に手摺を設置する」などがあります。

【身体障害者手帳保持者】

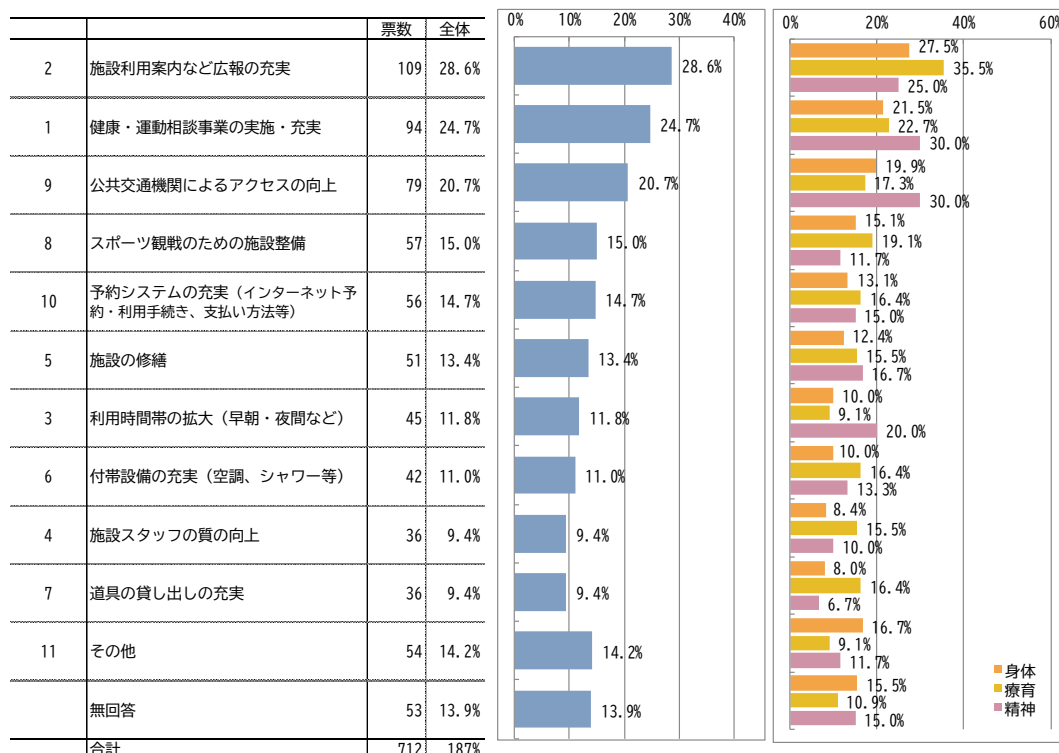
- ・全体と比較すると「その他」の割合が多く、上述のとおり具体的な要望を持っていることが伺えます。

【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「施設利用など広報の充実」、「スポーツ観戦のための施設整備」、「付帯設備の充実」などの割合が多くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「健康・運動相談事業の実施・充実」、「公共交通機関によるアクセスの向上」、「利用時間帯の拡大」などの割合が多くなっています。



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

3 「する」スポーツについて

問11 あなたが、この1年間に実施したスポーツがあれば、選択肢から番号を選んでご記入ください。（学校の体育の授業として実施したものや、職業として実施したものは除きます。）また、新たにやってみたいスポーツがあれば番号を選んでご記入ください。（それぞれいくつでも） [MA]

①1年間に実施したスポーツ

「ジョギング・散歩」、「軽い運動」、「筋トレ」の順に多く、
上位は成人スポーツ活動調査とほぼ同じ傾向

精神障害者保健福祉手帳保持者は、他の手帳保持者に比べスポーツの実施率が高い

全体ではスポーツをしていない回答者も約35%存在

【全体】

- ・この1年間に実施したスポーツについては、「ジョギング・ウォーキング・散歩（散策・ペットの散歩等含む）」が41.5%で最も多く、次いで「軽い運動（ラジオ体操・階段昇降・ストレッチ等含む）」が26.2%、「筋トレ」が13.6%となっています。その一方で「特にない・していない」が34.8%となっています。
- ・その他の記述として、「乗馬」、「ラジオ体操」、「ダンス」「みんなでDO！スポーツ」などがあります。

【身体障害者手帳保持者】

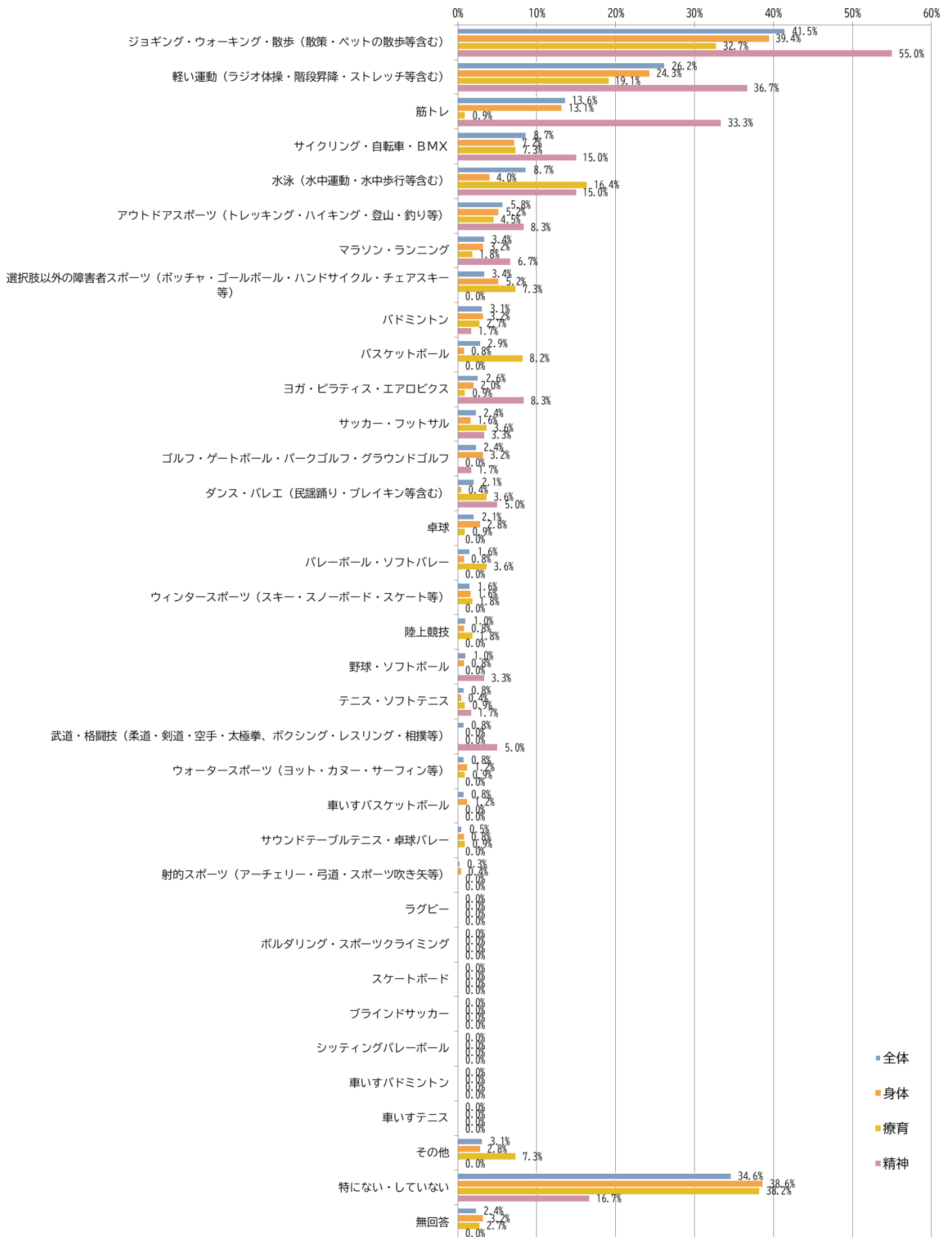
- ・全体と比較すると、若干低い割合ですが、おおむね全体と同様の傾向です。

【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「水泳」、ボッチャ等「選択肢以外の障害者スポーツ」が、他の手帳保持者より高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「ウォーキング・散歩」、「軽い運動」、「筋トレ」など全体でも上位のスポーツが、他の手帳保持者と比べ、突出して高くなっています。



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

②新たにやってみたいスポーツ

「水泳(水中運動・水中歩行等含む)」、「ヨガ・ピラティス・エアロビクス」、
「射的スポーツ(アーチェリー・弓道・スポーツ吹き矢等)」が上位

成人のスポーツ活動調査結果と比べると「射的スポーツ」、「水泳」が人気

【全体】

- ・新たにやってみたいスポーツについては、「水泳(水中運動・水中歩行等含む)」が12.6%で最も多く、次いで「ヨガ・ピラティス・エアロビクス」が9.2%、「射的スポーツ(アーチェリー・弓道・スポーツ吹き矢等)」が6.8%となっています。
- ・その他の記述として、「パワーリフティング」、「カーリング」、「トライアスロン」、「フィットネス」「フライングディスク」、「シンクロスイミング」、「フロアバレーボール」、「バイクでのツーリング」、「eスポーツ」などがあります。

【身体障害者手帳保持者】

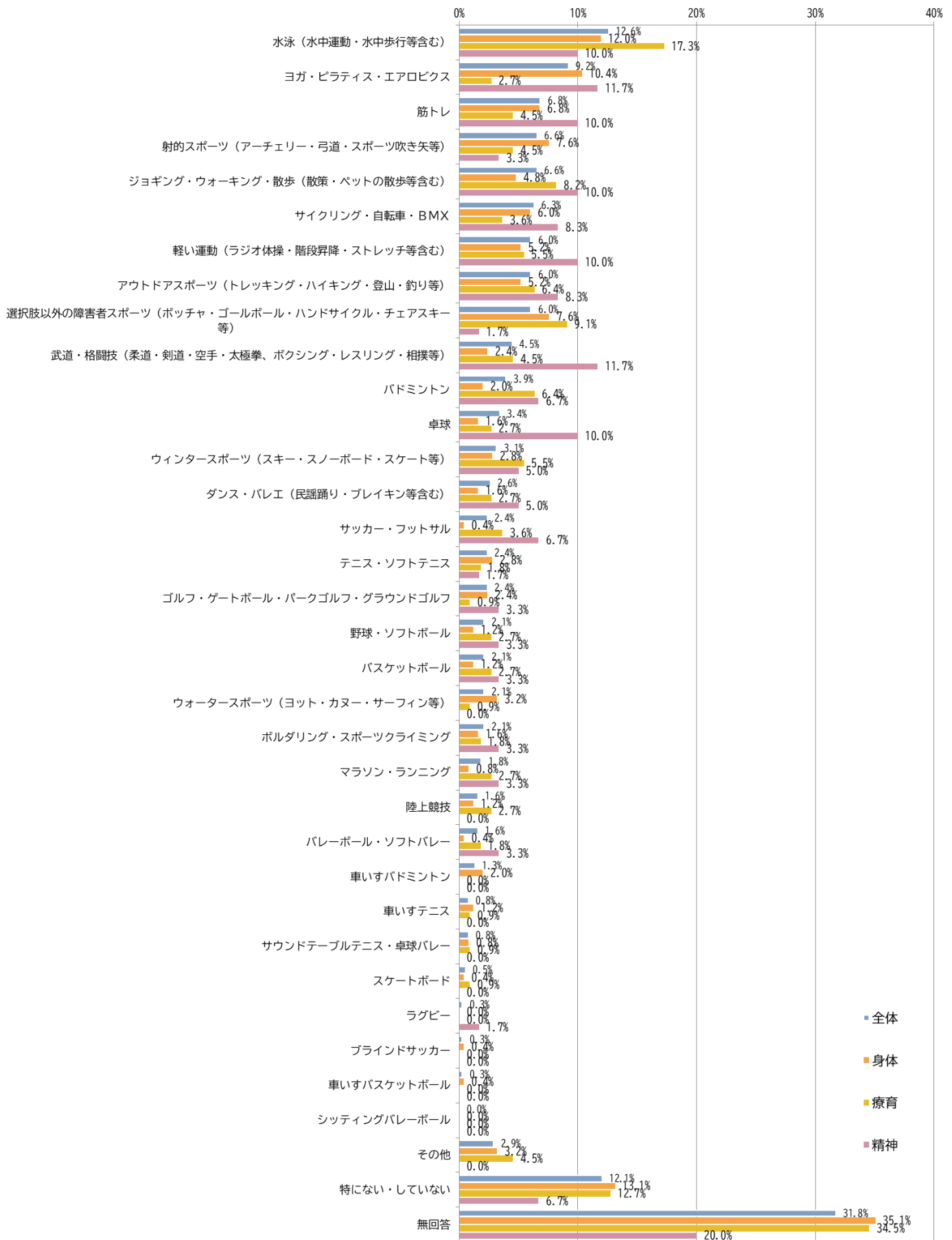
- ・全体と比較すると、上位では「ヨガ・ピラティス・エアロビクス」、「射的スポーツ」、ボッチャ等「選択肢以外の障害者スポーツ」などの割合が高くなっています。

【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、上位では「水泳」、「ジョギング・ウォーキング・散歩」、ボッチャ等「選択肢以外の障害者スポーツ」などの割合が高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「ヨガ・ピラティス・エアロビクス」、「筋トレ」、「ジョギング・ウォーキング・散歩」、「サイクリング・自転車・BMX」などの割合かなり大きくなっているのが特徴的です。



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

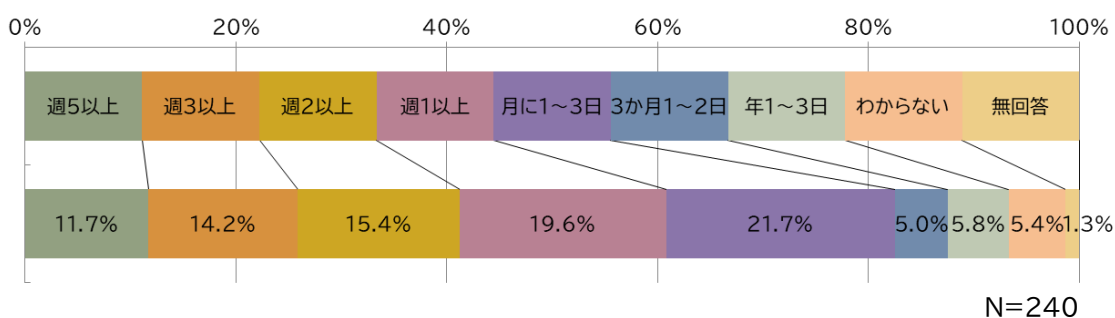
問12 問11の①で「1～33」に回答した方（スポーツを実施した方）におたずねします。

この1年間にスポーツをどの位の頻度で行っていますか。 [SA]

全体的にスポーツの実施頻度は低くなく、特に精神障害者手帳保持者では、頻度が高い傾向

【全体】

- ・「月に1～3日」が21.7%で最も多く、次いで「週に1日以上」が19.6%、「週に2日以上」が15.4%となっています。
- ・週に1日～5日以上実施している割合は60.9%で、成人のスポーツ活動調査結果（約65%）と比べ大差ありません。



【身体障害者手帳保持者】

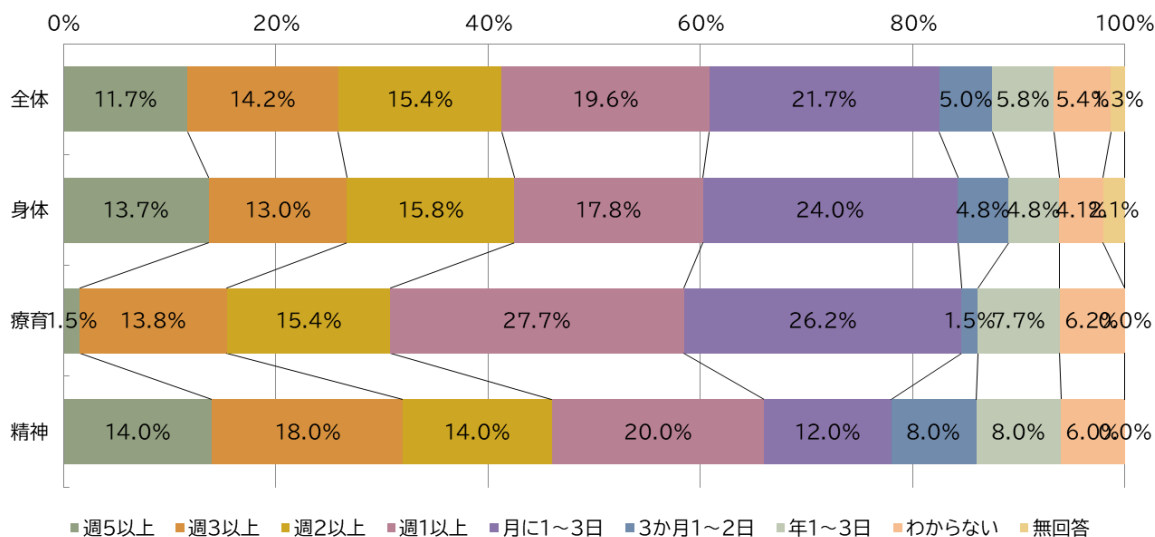
- ・全体と比較すると、「週に5日以上」が若干高くなっています。

【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「週に2日以上」の割合が低い傾向にあり、他の手帳保持者に比べスポーツの頻度が少なくなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「週に5日以上」の割合も最も多く、週に1日～3日以上を加えても手帳保持者の中で最も高い割合となっています。



N=240(全体)

N=146(身体障害者手帳保持者) N=65(療育手帳保持者) N=50(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問13 問11の①で「1～33」に回答した方（スポーツを実施した方）におたずねします。

この1年間に、スポーツをどこで実施しましたか。【MA】

「自宅」、「公園」、「道路」の順に高く、上位は成人スポーツ活動調査と同じ傾向

療育手帳保持者では「自宅」、「道路」は低く、「公園」や「公共のスポーツ施設」が高い

【全体】

- ・この1年間でスポーツを実施した場所については、「自宅」が50.4%で最も多く、次いで「公園」が32.5%、「道路」が30.0%となっています。
- ・その他の記述として、「ショッピングモール」、「ホテル」、「農作業地」などがあります。

【身体障害者手帳保持者】

- ・全体とほぼ同様の傾向で、若干「自宅」が高くなっています。

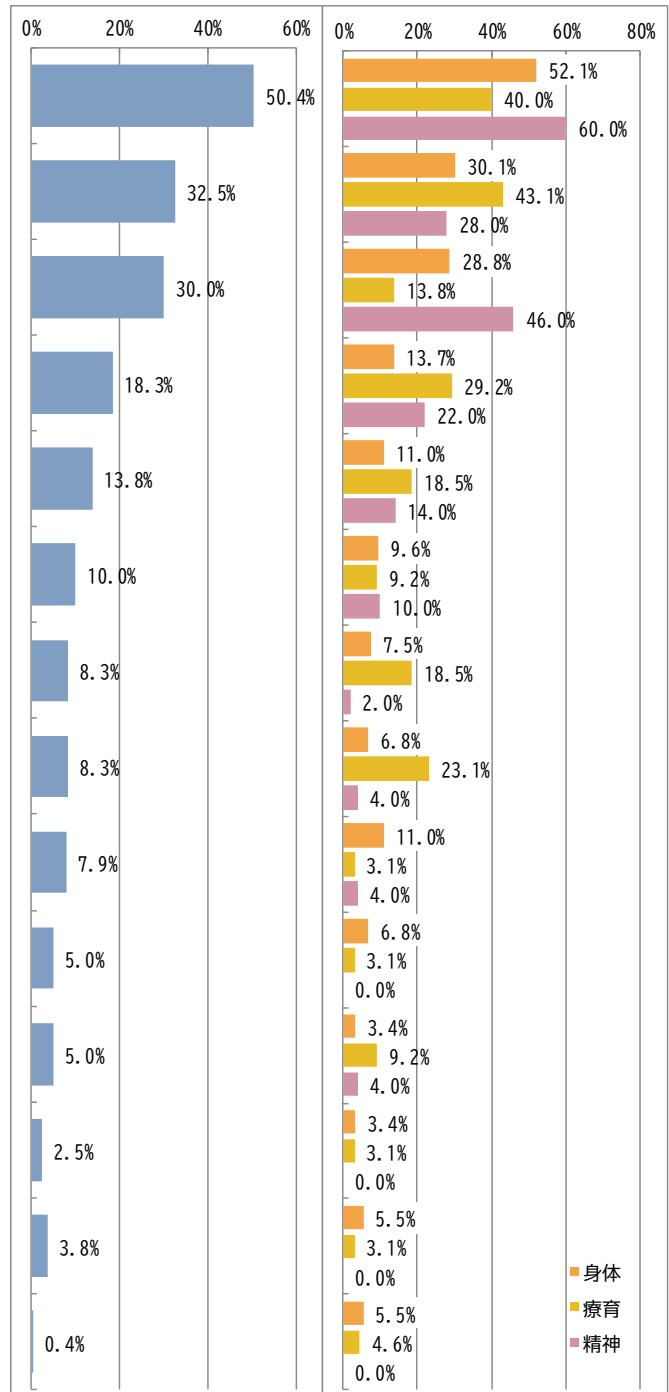
【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「公園」や「公共のスポーツ施設」、「福祉施設」などが高く、全体では上位にあった「自宅」、「道路」などが低くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「自宅」、「道路」、「公共のスポーツ施設」が高くなっています。

		票数	割合
1	自宅	121	50.4%
4	公園	78	32.5%
5	道路	72	30.0%
6	公共のスポーツ施設	44	18.3%
12	山や河川、湖などの自然環境	33	13.8%
7	民間のスポーツ施設	24	10.0%
8	小・中・高の体育施設	20	8.3%
10	福祉施設	20	8.3%
11	医療機関	19	7.9%
2	勤務地	12	5.0%
3	交流センター（公民館）	12	5.0%
9	大学のスポーツ施設	6	2.5%
13	その他	9	3.8%
	無回答	1	0.4%
	合計	471	196%



N=240(全体)

N=146(身体障害者手帳保持者) N=65(療育手帳保持者) N=50(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問14 問11の①で「1～33」に回答した方（スポーツを実施した方）におたずねします。この1年間にスポーツを実施したのはどのような理由からですか。 [MA]

「健康のため」、「楽しみ・気晴らしのため」、「体力増進・維持のため」の順に多く、
成人スポーツ活動調査と同じ傾向

療育手帳保持者では「家族のふれあいとして」が他の手帳保持者に比べ高い

【全体】

- ・この1年間スポーツを実施した理由については、「健康のため」が60.4%で最も多く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が55.4%、「体力増進・維持のため」が52.5%となっています。
- ・その他の記述として、「重症化予防」、「ペットのため」、「自立支援として」、「農地・山林の管理のため」、「学校行事」などがあります。
- ・手帳保持者別にみると、身体障害者手帳保持者は「健康のため」、療育手帳所持者は「楽しみ、気晴らしとして」、精神障害者保健福祉手帳保持者は「運動不足を感じるから」、「肥満解消、ダイエットのため」が特に多くなっています。

【身体障害者手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「筋力増進・維持のため」、「リハビリのため」などが高くなっています。

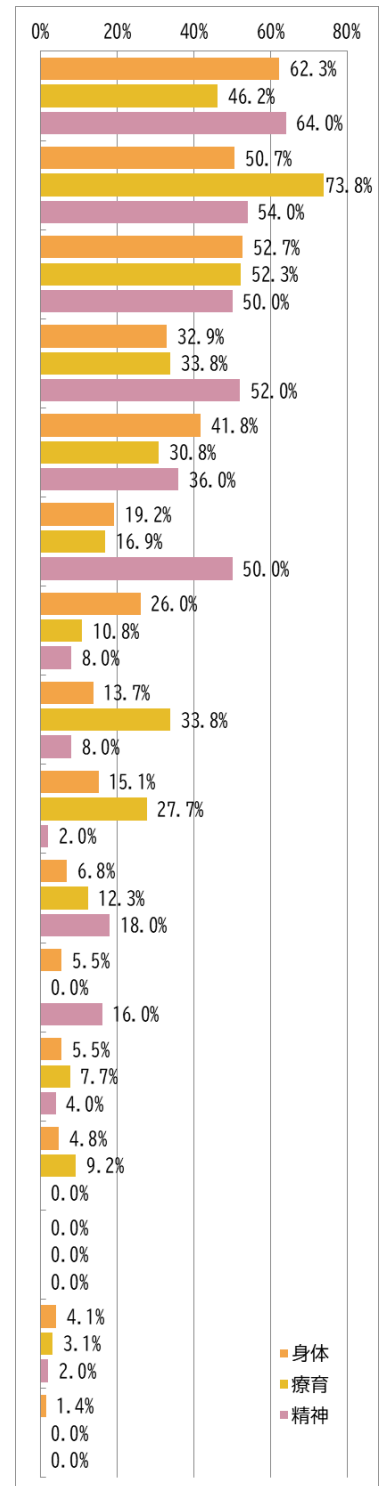
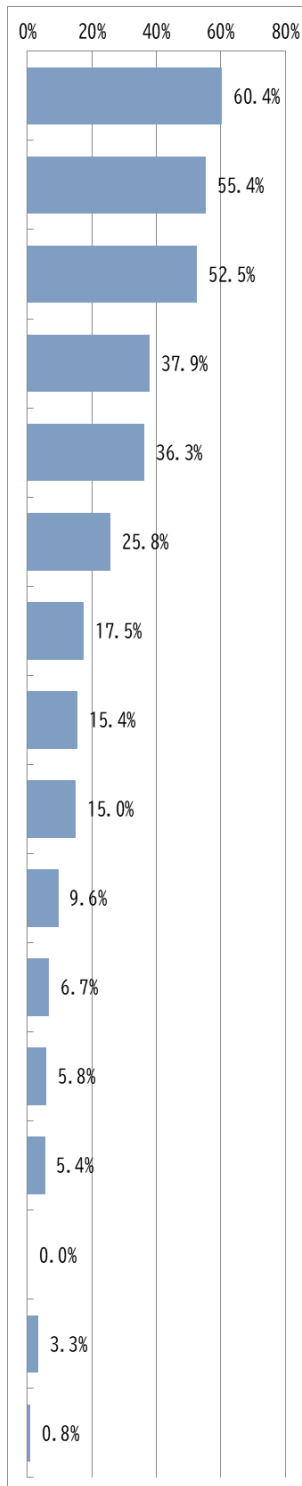
【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「楽しみ・気晴らしとして」、「友人・仲間との交流として」などが高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「健康のため」、「楽しみ・気晴らしとして」、「家族のふれあいとして」などが高くなっています。

		票数	割合
1	健康のため	145	60.4%
4	楽しみ、気晴らしとして	133	55.4%
2	体力増進・維持のため	126	52.5%
5	運動不足を感じるから	91	37.9%
3	筋力増進・維持のため	87	36.3%
12	肥満解消、ダイエットのため	62	25.8%
13	リハビリのため	42	17.5%
9	家族のふれあいとして	37	15.4%
10	友人・仲間との交流として	36	15.0%
6	精神の修養や訓練のため	23	9.6%
11	美容のため	16	6.7%
7	自己の記録や能力を向上させるため	14	5.8%
8	試合や大会へ参加するため	13	5.4%
14	わからない	0	0.0%
15	その他	8	3.3%
	無回答	2	0.8%
	合計	835	348%



N=240(全体)

N=146(身体障害者手帳保持者) N=65(療育手帳保持者) N=50(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問15 問11の①で「34 特にない・していない」に回答した方（スポーツしていない方）におたずねします。この1年にスポーツをしなかったのはどのような理由からですか。 [MA]

身体上の理由からスポーツをしない(できない)方が最も多い

仕事や家事が忙しいという理由は、成人スポーツ活動調査結果と同じく高い

特に理由がない、場所がない、仲間がない理由からスポーツをしない人も

【全体】

- ・この1年にスポーツをしなかった理由については、「身体上の問題から」が40.9%で最も多く、次いで「仕事や家事が忙しいから」が18.2%、「身近にできる場所・施設がないから」、「スポーツに興味がないから」が14.4%となっています。
- ・その他の記述として、「移動手段がない」「コロナ過で教室の活動回数が減少した」「障害者への偏見や拒否をされるから」「学校の授業で行った」「障害者用のプールがない」などがあります。

【身体障害者手帳保持者】

- ・全体と比較すると、おおむね同様の傾向となっていますが、「身体上の都合から」が他の手帳保持者より高くなっているのが特徴的です。

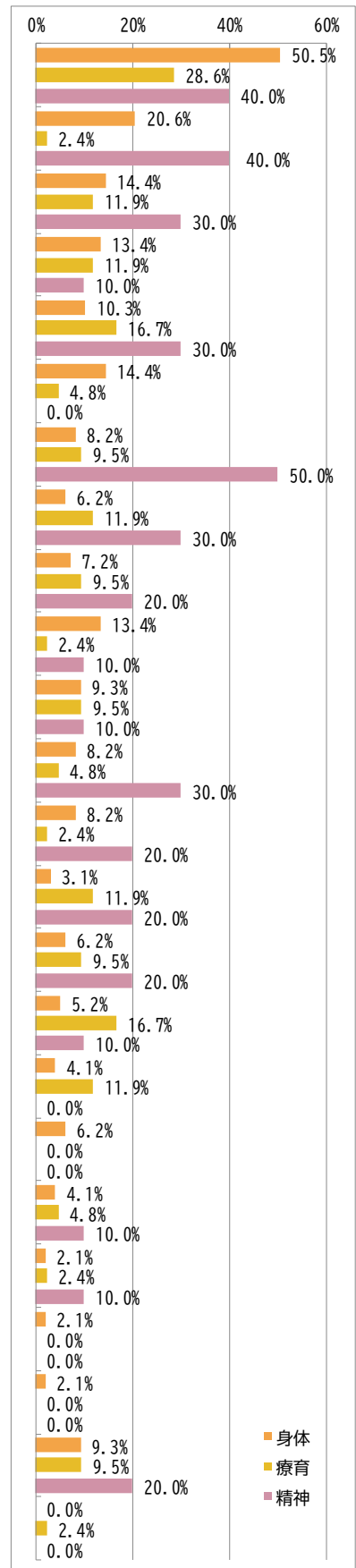
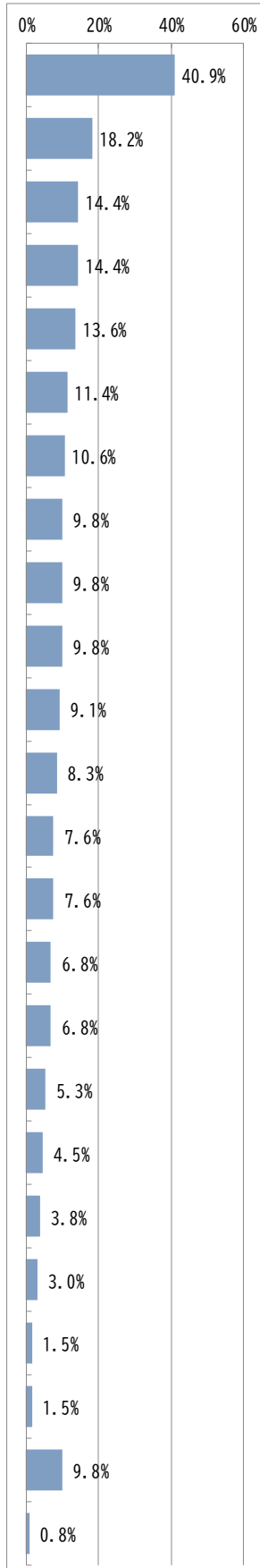
【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「仕事や家事が忙しいから」が低く、「家族の負担が大きいから」、「介助者がいないから」、「人の目が気になるから」などが高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「仕事や家事が忙しいから」が高く、他の手帳保持者に比べ、「仲間がないから」が最も高くなっています。

		票数	割合
3	身体上の問題から	54	40.9%
1	仕事や家事が忙しいから	24	18.2%
6	身近にできる場所・施設がないから	19	14.4%
16	スポーツに興味がないから	19	14.4%
22	特に理由はない	18	13.6%
18	生活や仕事で体を動かしているから	15	11.4%
8	仲間がないから	14	10.6%
10	お金に余裕がないから	13	9.8%
15	スポーツが苦手だから	13	9.8%
19	障害を負った後、実施機会がなかったから	13	9.8%
21	新型コロナウイルス感染症対策によるスポーツの必要性に対する意識の変化から	12	9.1%
14	スポーツに関する相談場所がないから	11	8.3%
4	医者にとめられているから	10	7.6%
13	人の目が気になるから	10	7.6%
9	指導者がいないから	9	6.8%
12	家族の負担が大きいから	9	6.8%
11	介助者がいないから	7	5.3%
5	年をとったから	6	4.5%
7	施設に使用上の制限があるから	5	3.8%
17	スポーツ以上にやりたいことがあるから	4	3.0%
2	子供に手がかかるから	2	1.5%
20	障害を負った後、実施機会はあったが、あまり楽しくなかったから	2	1.5%
23	その他	13	9.8%
	無回答	1	0.8%
	合計	303	230%



N=132(全体)

N=97(身体障害者手帳保持者) N=42(療育手帳保持者) N=10(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問 16 すべての方におたずねします。新型コロナウイルス感染症等の影響により、スポーツ環境に変化を感じましたか。【MA】

自身のスポーツの自粛、イベント等の中止、施設の休館など多様な影響

療育手帳所持者は新型コロナウイルス感染症の影響を特に感じている

【全体】

- ・「特に変化は感じられない」が約4割、「その他」、「無回答」が約1割となっていることから、その他の選択肢を選んだ約5割の回答者は、何らかの影響があったと感じていると言えます。
- ・その具体的な選択肢をみると、「緊急事態宣言等により行動を自粛していたため、自らスポーツの実施を控えていた」、「スポーツイベントや教室などが中止・休止になった」が16.3%、次いで「利用施設の休館等により活動が自粛された」が15.0%となっています。
- ・その他の記述として、「外出の機会が減った」、「感染予防を考えると障害者が施設に行きたくても行き辛い」、「マスクが出来ない子供が公園等で嫌味や注意をされることがあり、外出を控えるようになった」などがあります。

【身体障害者手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「特に変化は感じられない」が高くなっています。

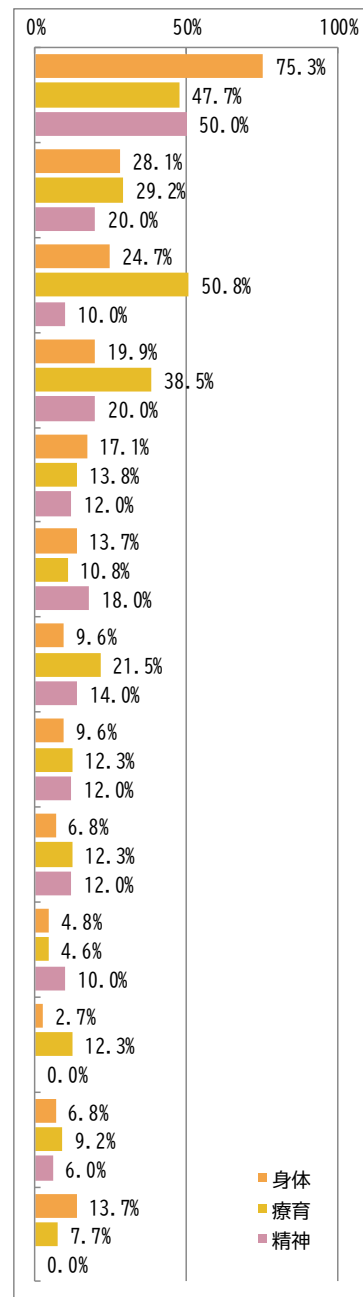
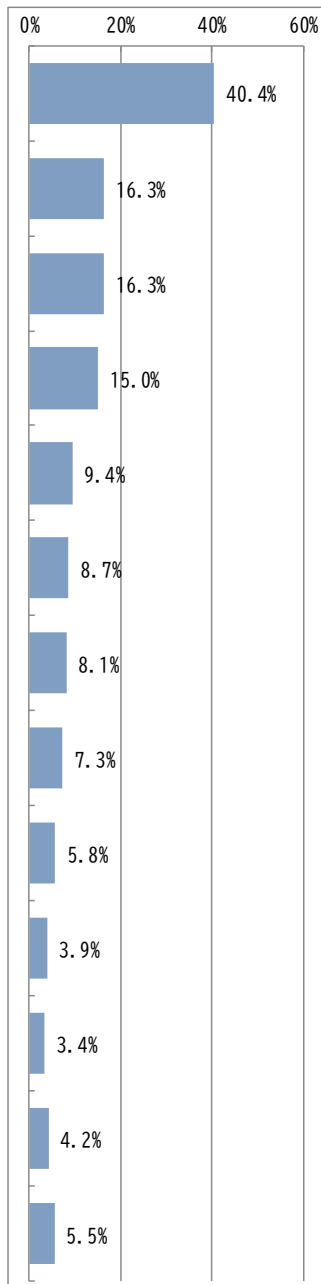
【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「スポーツイベントや教室などが中止・休止になった」、「利用施設の休館等により活動が自粛された」割合が特に高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「自宅や職場でのスポーツが多くなった」、「スポーツを意識的に行うようになった」が高くなっています。

		票数	割合
11	特に変化は感じられない	154	40.4%
10	緊急事態宣言等により行動を自粛していたため、自らスポーツの実施を控えていた	62	16.3%
7	スポーツイベントや教室などが中止・休止になった	62	16.3%
8	利用施設の休館等により活動が自粛された	57	15.0%
3	オンラインを利用する機会が多くなった	36	9.4%
2	自宅や職場でのスポーツが多くなった	33	8.7%
1	屋外でのスポーツが多くなった	31	8.1%
5	実施していたスポーツを止めてしまった	28	7.3%
4	複数人よりも単独でのスポーツの機会が多くなった	22	5.8%
6	スポーツを意識的に行うようになった	15	3.9%
9	クラブ活動や部活動が休止したため、実施出来なかった	13	3.4%
12	その他	16	4.2%
	無回答	21	5.5%
	合計	550	144%



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

問 17 あなたがスポーツをする際に、障壁（問題）となっていることはありますか。 [MA]

新型コロナウイルス感染症は、スポーツをする際には大きな不安要素

情報や仲間の少なさ、施設の利用しにくさが障壁に

【全体】

- ・スポーツをする際に障壁（問題）となっていることについては、「新型コロナウイルス感染症が不安」が 21.3%で最も多く、次いで「どこでスポーツ等を行えるか情報がない」が 18.6%、「どんなスポーツ等を行えるか情報がない」が 17.3%となっています。
- ・その他の記述として、「専用の車椅子を購入する為に障害者スポーツ補助金があれば、パラスポーツが更に発展する」「コミュニケーションに不安がある」「駐車場が狭い」「インターネットで施設の予約が取れない」「ジェンダーフリーの施設がない」「(家族が休日に仕事で) スポーツイベントに参加できない」「団体スポーツをしたいが仲間がいない」「スポーツが出来る状態の体ではない」などがあります。
- ・前回と比較すると、「どこでスポーツ等を行えるか情報がない」、「どんなスポーツ等を行えるか情報がない」、「仲間がいない」、「施設が使いにくい」などが大きく増加しています。

【身体障害者手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「介助者がいない」、「障害に適したスポーツ等がない」などが高くなっています。

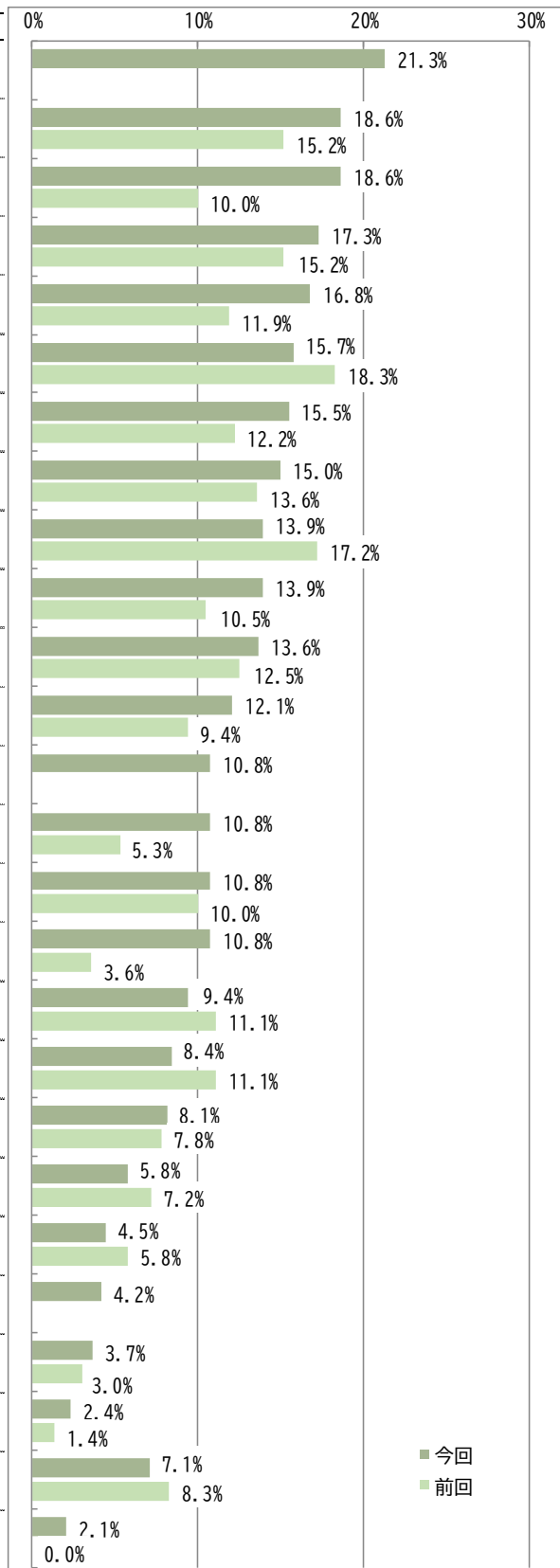
【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「家族の負担が大きい」、「どこでスポーツ等が行えるか情報がない」などが高くなっており、特に前者は他の手帳保持者に比べても高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「仲間がいない」、「金銭的な余裕がない」、「交通手段や移動手段がない」、「新型コロナウイルス感染症が不安」などが高くなっています。

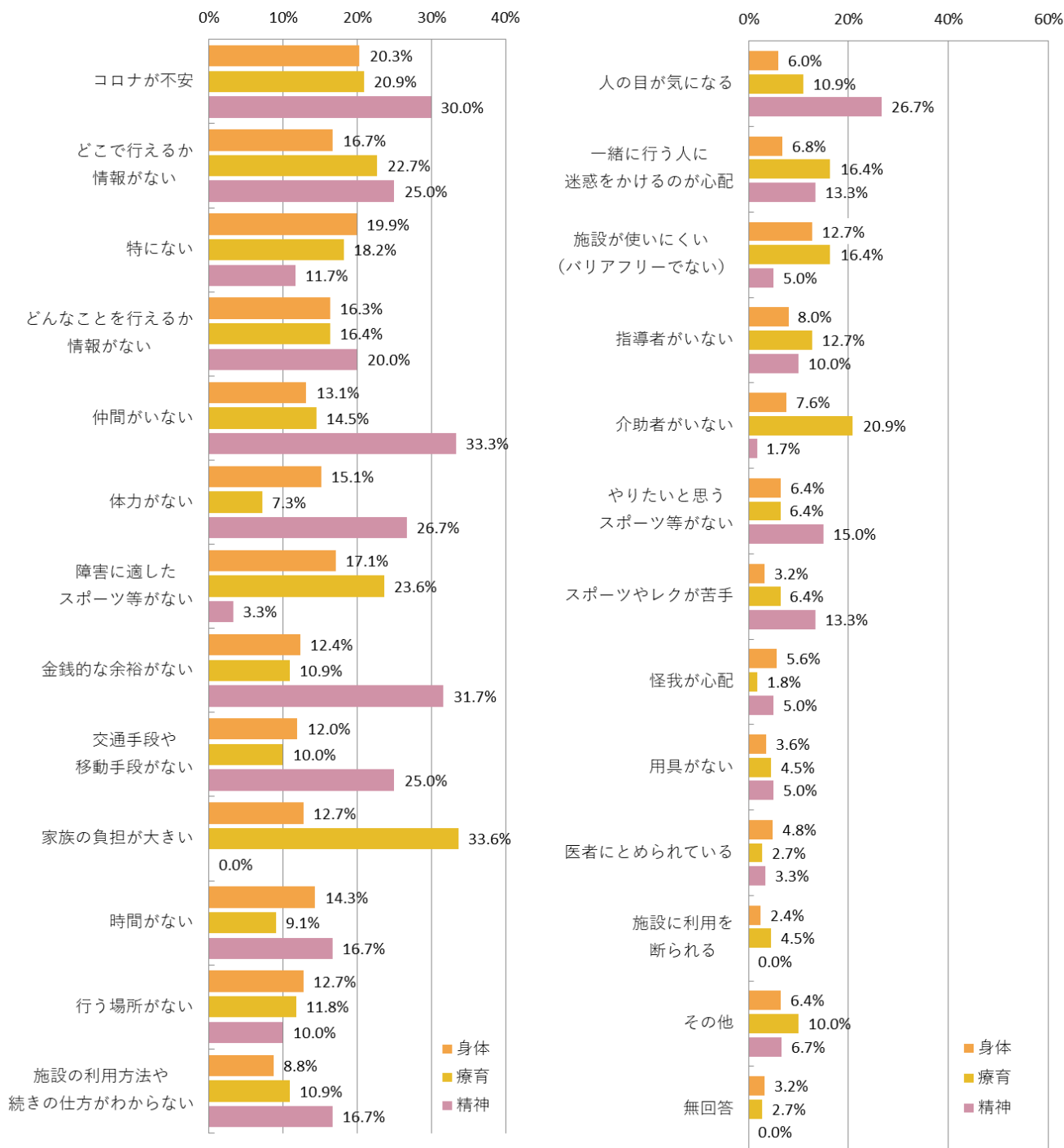
		票数	今回	前回
23	新型コロナウイルス感染症が不安	81	21.3%	-
5	どこでスポーツ等を行えるか情報が無い	71	18.6%	15.2%
24	特にない	71	18.6%	10.0%
6	どんなスポーツ等を行えるか情報が無い	66	17.3%	15.2%
10	仲間がいない	64	16.8%	11.9%
14	体力がない	60	15.7%	18.3%
17	障害に適したスポーツ等がない	59	15.5%	12.2%
12	金銭的な余裕がない	57	15.0%	13.6%
1	交通手段や移動手段がない	53	13.9%	17.2%
11	家族の負担が大きい	53	13.9%	10.5%
13	時間がない	52	13.6%	12.5%
2	スポーツ等を行う場所がない	46	12.1%	9.4%
7	施設の利用方法や手続きの仕方がわからない	41	10.8%	-
20	人の目が気になる	41	10.8%	5.3%
21	一緒に行く人に迷惑をかけるのが心配	41	10.8%	10.0%
3	施設が使いにくい(バリアフリーでない)	41	10.8%	3.6%
8	指導者がいない	36	9.4%	11.1%
9	介助者がいない	32	8.4%	11.1%
18	やりたいと思うスポーツ等がない	31	8.1%	7.8%
19	スポーツやレクリエーションが苦手	22	5.8%	7.2%
16	スポーツ等を行うことで怪我が心配	17	4.5%	5.8%
22	スポーツ等を行うための用具がない	16	4.2%	-
15	医者にとめられている	14	3.7%	3.0%
4	施設に利用を断られる	9	2.4%	1.4%
25	その他	27	7.1%	8.3%
	無回答	8	2.1%	0.0%
	合計	1109	291%	221%



N=381(今回)

N=361(前回)

前回値不明「-」



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

4 「みる」・「ささえる」スポーツについて

問18 あなたは、この1年間に、スポーツの試合を観戦・応援したり、スポーツに関わるボランティア活動を行ったりしたことがありますか。 [MA]

TVやインターネットでの観戦が多い

スポーツに関わるボランティア活動を行ったという回答は少ない

【全体】

- ・「みる」機会としては、「試合をTVやインターネットなどでみた」が44.6%で最も多く、「試合を直接みにいった」の10.0%の4倍以上の割合を示しています。
- ・「ささえる」機会としては、「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が35.4%と全体の中で2番目に多い割合を示しており、また、「スポーツに関わるボランティア活動を行った」は0.8%と少なくなっています。

【身体障害者手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「試合をTVやインターネットなどでみた」が高くなっています。

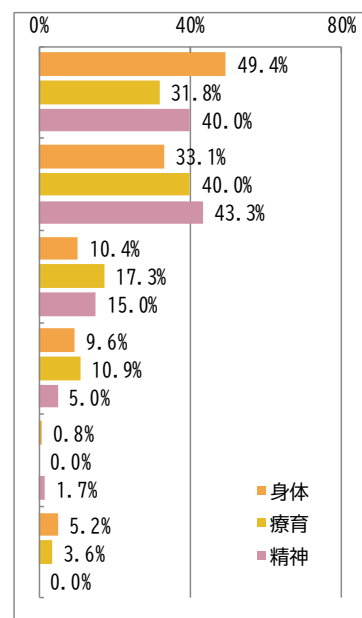
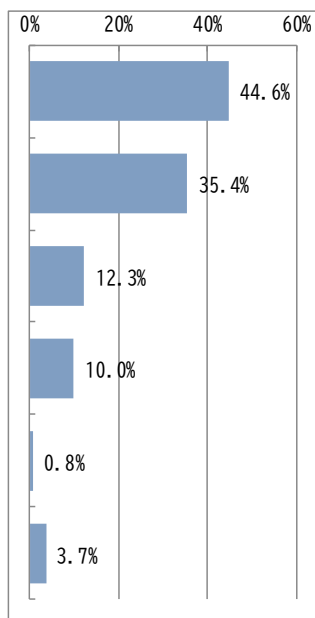
【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が高くなっています。

		票数	割合
2	試合をTVやインターネットなどでみた	170	44.6%
4	観戦・応援もボランティア活動もしていない	135	35.4%
5	わからない	47	12.3%
1	試合を直接みにいった	38	10.0%
3	スポーツに関わるボランティア活動を行った	3	0.8%
	無回答	14	3.7%
	合計	407	107%



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

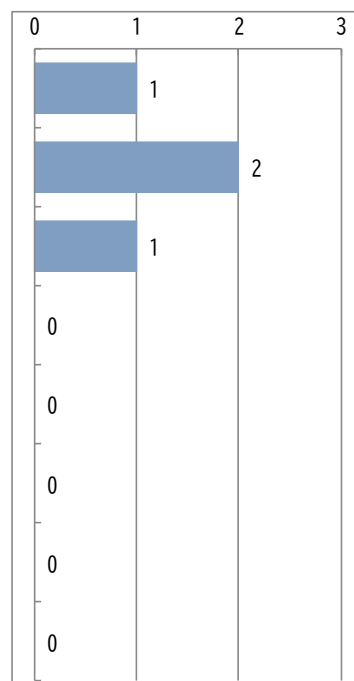
問19 問18で3と回答した方（ボランティア活動を行った方）におたずねします。スポーツに関わるボランティア活動として、具体的にどのようなことを行いましたか。 [MA]

大会・イベントの運営の手伝い、スポーツ審判、スポーツ団体等の補助を実施

【全体】

- ・具体的なボランティア活動の内容については、「スポーツの審判」「大会・イベントの運営や手伝い」「自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動（活動場所の予約や手配、指導・審判補助、役員や会計係、web サイト・チラシ作成など）」が行われています。

		票数	割合
2	スポーツの審判	1	33.3%
5	大会・イベントの運営や手伝い	2	66.7%
6	自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動*	1	33.3%
1	スポーツの指導	0	0.0%
3	スポーツクラブ・団体の運営や手伝い	0	0.0%
4	スポーツ施設の管理の手伝い	0	0.0%
7	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	4	133%



※サンプル数が少ない為実数表示

N=3

問 20 今後、市内で観戦・応援してみたいものはありますか。 [MA]

特にないが最も多い
観戦・応援してみたいものは、有名選手やプロチームが出場する試合

【全体】

- ・「特にない」が 44.1%と最も高くなっている中、「有名選手やプロチームが出場する試合」が 33.6%、次いで「家族や友人が出場する試合」が 19.7%となっています。
- ・その他の記述として、「地元の人参加、活躍するスポーツなら何でも」、「車椅子スポーツ（ソフトボールなど）」、「ラグビー」、「武道全般」、「野球観戦」などがあります。

【身体障害者手帳保持者】

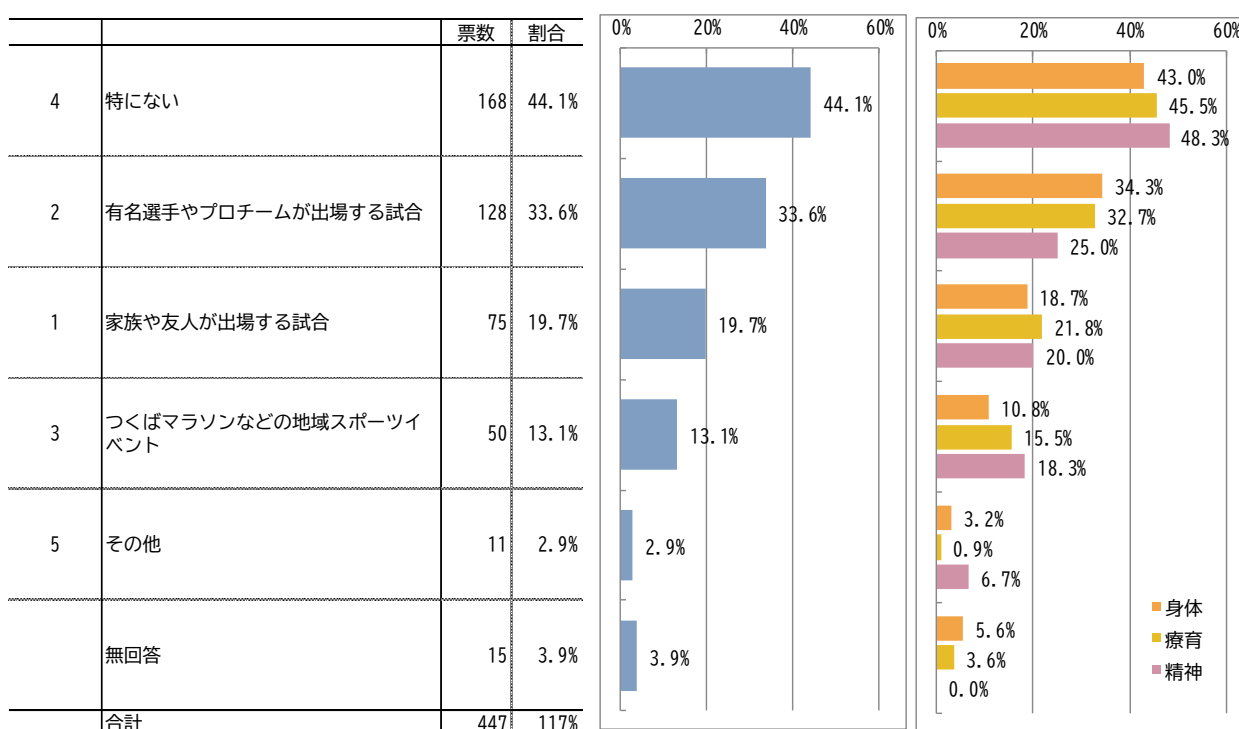
- ・全体と比較すると、「有名選手やプロチームが出場する試合」が若干高くなっています。

【療育手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「家族や友人が出場する試合」が若干高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳保持者】

- ・全体と比較すると、「つくばマラソンなどの地域スポーツイベント」が若干高くなっています。



N=381(全体)

N=251(身体障害者手帳保持者) N=110(療育手帳保持者) N=60(精神障害者保健福祉手帳保持者)

※複数手帳を保持する回答者は重複してカウントしています

5 自由意見

最後に、つくば市のスポーツ振興の取組や、スポーツ行政サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。[FA]

■意見抜粋

障害者がスポーツをする機会をつくってほしい

身体の負担にならないようスポーツ・運動の相談・指導を望む

施設のバリアフリー化等使いやすいスポーツ施設を

運動が困難なので、観戦を楽しみたい

■意見整理

スポーツ教室・イベント			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	7～17歳	療育手帳A判定(重度)	・中学生以上の知的障害児が継続して参加可能な体操やサッカーのスポーツ教室。
男性	7～17歳	療育手帳B判定(中度)	・障害児向けの教室の充実。知的障害児向けの個人競技のスポーツ教室で、毎週通える教室。健全児と一緒にの教室は、精神的に苦しいため本人も親も長く続かない。
男性	7～17歳	身体障害者手帳1級	・スポーツ関連の習い事をさせたいが、安心して任せられる教室等を知らない。
男性	7～17歳	身体障害者手帳2級	・小学生以下で障害スポーツが出来る環境。
男性	7～17歳	療育手帳C手帳(軽度)	・障害がある人同士のスポーツ交流会等の計画。あるとしても人数制限で参加が出来ない。
男性	7～17歳	療育手帳C手帳(軽度)	・交流が苦手な発達障害児向けのスポーツ教室の普及。
男性	7～17歳	療育手帳C手帳(軽度)	・障害児向けは充実しているの、大人向けのスポーツ教室や場所の充実。
男性	7～17歳	療育手帳B判定(中度)	・知的障害児向けのスポーツイベント。周りの目を気にせずに気軽に参加出来る場。
女性	7～17歳	身体障害者手帳2級	・本人はリハビリや学習を優先しがちだが、保護者としてはスポーツ体験をさせたい。障がい者参加可能なスポーツイベントに参加したい。
女性	7～17歳	身体障害者手帳1級 療育手帳A判定(最重度)	・一緒に部活をする友人がいない。家族の負担や介助者が不慣れな問題もあって環境が不十分。もっと企画してほしい。
男性	18～23歳	療育手帳C手帳(軽度)	・市民も市外の人でも自由に参加できるスポーツイベントの充実。
男性	18～23歳	療育手帳A判定(重度)	・運動会のような屋外スポーツイベントの再開。
男性	24～29歳	療育手帳A判定(重度)	・運動はさせたいが介助や送迎のサービスがなく、仲間がいない。親抜きで参加出来る場所を探している。
男性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳3級	・少し打ち解けた頃に仕事の話など社会復帰ありきの姿勢で対応される教室やイベントは参加を遠慮します。1日を快適に過ごせる体力が欲しいという思いもあり、ネット環境が整っている身なので、そうしたことがなければオンライン教室でも歓迎します。
女性	40歳代	身体障害者手帳1級	・健常者が障害者スポーツを体験する会よりも障害者のスポーツ体験の機会の充実が先。車椅子バスケは指導者もなしになんとなくプレイすることは無理。
女性	60歳代	身体障害者手帳1級	・心臓の病で手術を受け障害者手帳1級となり、運動には臆病になっている。長生きするためにも適度な運動は大切だと理解しても中々行動に移せていない。私などにもできる運動や健康アドバイスをしていただける機会があると有難い。
男性	7～17歳	療育手帳C手帳(軽度)	・障害への偏見がないスポーツ少年団の充実。
女性	50歳代	身体障害者手帳4級	・屋外運動は難しいです。オンラインツールが充実している現代はオンラインのスポーツ講座(ヨガ、ピラティスなど)だと密にならずに大人数が一度に受けられて合っている。紙媒体は情報が一部の人にしか伝わらないので、SNSで積極的に発信。
みんなでDO! スポーツ			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	24～29歳	療育手帳B判定(中度)	・みんなでDo!スポーツが月2回の開催になれば嬉しい。(親の要望)
交流			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	60歳代	身体障害者手帳4級	・障害者になる前はロードレースや筑波サーキットでの耐久レース、箱根ヒルクライム、エンディークロなど数々の自転車のレースに参戦経験がある。今は障害をもつチャリダーの仲間がほしいのが一番の願い。

施設や設備			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	40歳代	身体障害者手帳4級	・市内の休日の体育館のインターネット予約が中々取れない。
男性	7～17歳	療育手帳A判定(重度)	・十分な検討を重ね、無駄な施設は作らない。
女性	7～17歳	療育手帳A判定(重度)	・障害者スポーツに限定せず、健康維持のために体を動かせることを目的としてほしい。
			・知的障害者は年齢を重ねてもルールがあるスポーツより遊具を好むので、受け皿になる施設が欲しい。
男性	30歳代	身体障害者手帳1級 療育手帳(A)判定(最重度)	・全盲、重度知的障害、肢体不自由の人にスポーツは難しい。しかし、コロナ前の週一のリハビリやリカンベントのような器具での運動は楽しかったらしく、器具の貸出や重度の障害者でも利用可能なスポーツセンターが欲しい。駐車場からスムーズに入れることも重要。
男性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・みどりの、つくば研究学園、谷田部などで低価格なジムがほしい。
男性	40歳代	身体障害者手帳1級	・障害者スポーツセンターの建設。
女性	40歳代	身体障害者手帳2級 精神障害者保健福祉手帳3級	・重度の障害者でも利用可能な施設のバリアフリー化や障害者の移動手段の充実。体験機会の充実や、自主リハ用具の補助。HALなどの団体への金銭的支援。
女性	40歳代	身体障害者手帳3級	・片麻痺の障害者が半身で可能なスポーツや運動が出来る施設があれば。
女性	40歳代	身体障害者手帳2級	・目、耳、肢体、色々な障害がある人も利用しやすい体育館が欲しい。
女性	50歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・バリアフリーの充実。交流センターは近いので使用したいがどこも古くて使いにくい。
女性	50歳代	身体障害者手帳3級	・つくばウェルネスパークを2回利用したが、遠すぎて定期的には通えないので牛久市を利用している。南部、茨崎、谷田部地区に同等の施設を希望。
女性	50歳代	身体障害者手帳1級	・交通アクセスと設備面が充実した施設を作ってほしい。
男性	60歳代	身体障害者手帳2級	・障害者(視覚障害)向けの移動手段や利用施設が充実していない。市内の公園に行くにも家族等に時間を割いてもらう必要がある。
男性	50歳代	身体障害者手帳1級	・歩道や自転車専用レーンを整備して自転車での移動を安全に行なえるような道路行政を連携してほしい。車や自転車運転のマナー向上。
			・道路の改修。うつ病改善のためにランニングを3年前から始めたが、栗原郵便局から桜橋側道橋までの歩道で雑草のせいでコンクリートがガタガタで、走行中に捻挫した。
男性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳3級	・通勤も自転車通勤で健康を維持したいが、学園東大通りの柴崎からつくば駅までの道が舗装状態が非常に悪い。自転車かごに入れたお弁当がグチャグチャになるくらい酷いので、特に横断歩道の段差の問題を検討してほしい。
女性	30歳代	身体障害者手帳2級	・毎日散歩を毎日している。田んぼや畑のある所をなるべく守ってほしい。自然の中で散歩できることが私にとって最大のスポーツ。
女性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・歩道は広く整備されており散歩やウォーキングはしやすいが、横断歩道を渡る際に車がスピードを出して曲がってくる事が多々あるので怖い。
女性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・積極的に散歩に取り組みたいが、横断歩道や街灯が少ない。改善を求めたい。
無回答	30歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・ジェンダーフリーのトイレやシャワー(更衣室)。
男性	7～17歳	身体障害者手帳1級 療育手帳(A)判定(最重度)	・駐車場の拡張。
男性	18～23歳	療育手帳(A)判定(最重度)	・障害の特性上、周囲に迷惑をかけてしまう。周囲に急がされる事なくスポーツを継続的に行える場所があれば。
男性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・パターゴルフ、卓球、バドミントンができる場所がほしい。
女性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳3級	・障害者は割引ではなく無料で利用可能にする。
女性	30歳代	身体障害者手帳4級	・ストマーの交換ができる個室がほしい。
			・子供を1時間でも預かってもらえる場所がほしい。
女性	30歳代	身体障害者手帳3級	・洞峰公園や赤塚公園のランニングコースの長さの表示が消えているので明確に整備。
			・更衣室やロッカーやシャワー室が手軽に利用できる施設があると良い。
男性	40歳代	身体障害者手帳3級	・バスケができる場所が欲しい。スポーツ観戦できるところが欲しい。
男性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・科学万博記念公園の駐車場拡充。土日は特に路上駐車が通行の妨げになっており、止められる台数が少ない。
卓球バレー			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	24～29歳	療育手帳B判定(中度)	・以前体験した時に楽しかったので卓球バレーに興味がある。つくば市にもできるグループがありますか。
車椅子バスケットボール			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	24～29歳	身体障害者手帳2級	・つくばSTRIXという車椅子バスケのチームが結成され、2022年10月末に安中カップという群馬県の大会に出場しました。今後もつくば市のパラスポーツを盛り上げていきたい。

プール			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	7～17歳	療育手帳C手帳(軽度)	・洞峰公園のプールはやたらと注意をしてくる年配者がいるため利用し辛い。管理者側の対応の強化をしてほしい。障害に理解がない人との関わり方や教育が必要。
男性	7～17歳	療育手帳B判定(中度)	・プールの更衣室等を多目的に対応させてほしい。 ・知的障害者向けのスポーツイベントや場所の充実。
女性	7～17歳	療育手帳A判定(最重度)	・施設職員の対応が悪い。使用上制限があるのは仕方ないが、丁寧な対応をして貰いたい。 ・障害児や障害者が周囲の目を気にせずプールで泳げる時間帯や施設。
ポッチャ			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
女性	7～17歳	療育手帳C手帳(軽度)	・ポッチャをやりたい。
女性	18～23歳	療育手帳A判定(重度)	・コロナが落ち着いたら、ポッチャ等の参加をしてみたい。
eスポーツ			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	18～23歳	身体障害者手帳1級 療育手帳A判定(最重度)	・筋電スイッチによるeスポーツにトライしようと思っている。
男性	30歳代	身体障害者手帳2級 療育手帳C手帳(軽度)	・eスポーツをしてみたい。
相談窓口			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
女性	30歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・スポーツでありがちなのが指導者や仲間からの様々なハラスメント。障害者にも相談窓口のようなものがあるといいなと思いました。
観戦			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
女性	40歳代	身体障害者手帳1級	・難病を伴う身体障害なのでスポーツの出来る状態ではなく、リハビリをかねて歩行器で室内移動するのが精一杯です。スポーツは好きなのでテレビ等で観戦するのが楽しみ。
男性	50歳代	身体障害者手帳1級	・豪華でなくていいので公式戦が可能で観戦できる施設が欲しい。
男性	50歳代	身体障害者手帳1級	・心臓が悪いので運動ができない。観戦や応援は可能なため、市内でスポーツの大会やイベントがあると嬉しい。
広報			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	30歳代	身体障害者手帳3級	・障害者スポーツの情報がもっと手に入れたいと思います。
女性	30歳代	身体障害者手帳4級	・広報つくばで積極的な情報発信。SNSや個別のチラシでは詐欺や宗教と見分けがつかず捨ててしまう。
男性	40歳代	身体障害者手帳1級	・障害者スポーツの活動のお知らせ、写真などを送ってもらいたい。
女性	40歳代	身体障害者手帳3級	・休日にイベント、教室(体験)、障害者も対象可能な教室やサークルの情報が欲しい。小さい子を預けられるか親子で参加できるといい。
男性	50歳代	身体障害者手帳1級	・障害者スポーツのチーム情報や活動情報などを定期的に発信してほしい。 ・車椅子バドミントンを市内で行っている所があれば見たい。
男性	50歳代	身体障害者手帳2級	・聴覚障がいでも参加出来るイベントのお知らせなど情報が入って来ない。新聞も取っていない家庭もあることを知ってほしい。
女性	50歳代	身体障害者手帳4級	・屋外運動は難しいです。オンラインツールが充実している現代はオンラインのスポーツ講座(ヨガ、ピラティスなど)だと密にならずに大人数が一度に受けられて合っている。紙媒体は情報が一部のみにしか伝わらないので、SNSで積極的に発信。
女性	50歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・HPやSNSの広報だけでなく、市から観戦チケットを頂ける機会があればいい。
女性	50歳代	身体障害者手帳4級	・積極的な情報発信。
女性	50歳代	身体障害者手帳1級	・仕事もスポーツも案内があれば興味が出るけど、自分で探すことはない。
男性	60歳代	身体障害者手帳1級	・ペースメーカーを装着している。運動の制限はあまりないので活動は可能。サッカーやフットサルの審判の資格や、教員として保健体育科の免許を所持しているので、市のスポーツフェスティバル等協力できることがあれば参加したい。ただ、どのようにしたら手伝えるか情報がない状況。

その他			
性別	年齢	所持手帳	ご意見
男性	18～23歳	身体障害者手帳1級	・障害者スポーツには多くの支援が必要なので、行動する前に諦める事もあった。関心を持ってもらっていると分かり、誰もがやりたいスポーツをできる未来が想像できて嬉しかった。
女性	24～29歳	療育手帳B判定(中度)	・スポーツは苦手なので特になし。
男性	30歳代	療育手帳C手帳(軽度)	・市の障害者スポーツ振興による取組みは積極的に行うほうがよい。
男性	40歳代	身体障害者手帳5級	・障害者の方々からすると「できないこと」に目が向いているかもしれないですが、自分は「できること」を少し見つけたいと最近は思っています。
男性	40歳代	身体障害者手帳2級	散歩する。
男性	40歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・障害者と自分で感じない生き方をしているので毎日苦労していません。
男性	40歳代	身体障害者手帳4級	・本アンケートは障害者スポーツ振興を市が積極的に進めることを意識したアンケートのように思えません。
男性	40歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・スポーツとよばれる「表」の運動だけが全てではない。裏のスポーツのことも少しでいいので考えてほしい。
女性	40歳代	精神障害者保健福祉手帳2級	・過去20年間で2021年が最もサッカー試合中の突然死が多い。今は運動しない方がいい。ワクチンは不要。
男性	50歳代	身体障害者手帳1級	・開発途上の街でもあるので、今のうちに計画的な投資を。
男性	50歳代	身体障害者手帳4級	・取組み内容が不明。
女性	50歳代	身体障害者手帳1級	・体のメンテナンスで手一杯のため、スポーツまでに気が回りません。
女性	50歳代	身体障害者手帳2級	・若い人達に頑張ってもらいたい。
男性	60歳代	身体障害者手帳4級	・スポーツとは勝つか負けるか。所詮金儲けの為の道具にすぎない。
男性	60歳代	身体障害者手帳1級	・市職員の対応が悪い。嫌々対応している気持ちが伝わってくる。

小・中・高校生のスポーツ活動調査

[令和4年度 つくば市スポーツ活動調査報告書]

はじめに	1
1 属性	2
2 つくば市のスポーツ環境について	5
3 「する」スポーツについて	6
4 「みる」「ささえる」スポーツについて	15
5 障害者スポーツ(パラスポーツ)について	16
6 公共のスポーツ施設について	19
7 自由意見	20

令和5年3月

はじめに

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度から令和15年度までを計画期間とする「第2次つくば市スポーツ推進計画」を策定するにあたり、市民の運動・スポーツ活動の実態やスポーツ振興に関するご意見・意向などを把握し、計画の策定や施策の推進に役立てることを目的に実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査対象者：市内公立学校の小学5年生、中学2年生、高校2年生の3,875人
- (2) 調査期間：令和4年11月（配布・回収）
- (3) 配布・回収方法：Webによる配布・回収

3. 配布・回収状況

回収数			配布数	回収率
郵送	Web	合計		
—	2,294	2,294	3,875	59.2%

4. 調査の分析にあたっての注意事項

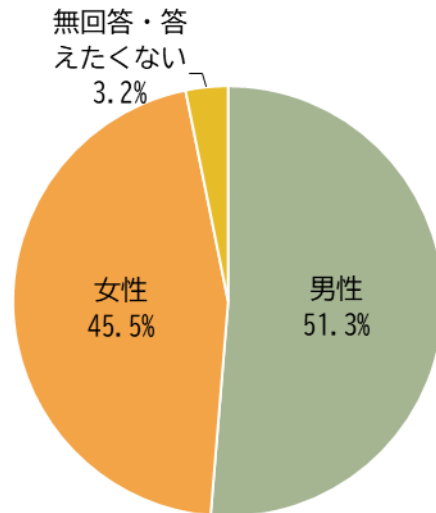
- ・集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっています。したがって、シングル・アンサー〈SA〉（1つの選択肢のみを回答する設問）の合計は、100.0%とまらない場合があります。
- ・回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、マルチ・アンサー〈MA〉（複数の選択肢を回答する設問）の各選択肢の割合を合計した場合、100.0%を超えた数値となります。
- ・グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・本文グラフ及び表では「無回答」を含んで集計しています。
- ・回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- ・有効回答者数は各設問に（N=●●）で表してあります。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票はカウントしていません。
- ・表中の今回と記載のあるものは本調査の結果を指しており、前回の記述のものは平成29年度に実施した「つくば市子どものスポーツ活動に関する調査」の調査結果を用いています。また、前回値は各学年・性別の平均値を表しています。

1 属性

問1 あなたの性別についてお答えください。 [SA]

男性が女性を若干上回る

- ・回答者の性別は、「男性」が51.3%、「女性」が45.5%、「無回答・答えたくない」が3.2%の順となっています。
- ・回答者の男女比は、男性が女性より若干多くなっています。

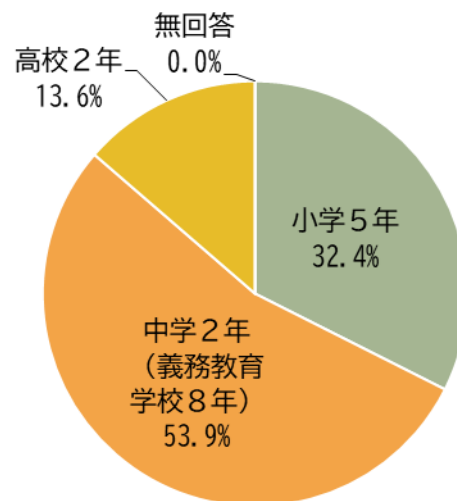


N=2,294

問2 あなたの学年・学校名についてお答えください (○は1つ) [SA]

中学2年(義務教育学校8年)が半数以上を占める

- ・回答者の学年は、「中学2年(義務教育学校8年)」が54.0%、「小学5年」が32.4%、「高校2年」が13.7%となっています。

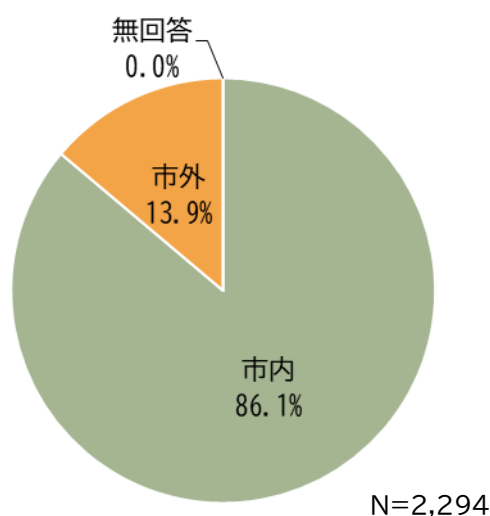


N=2,294

問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ) [SA]

市内が8割以上

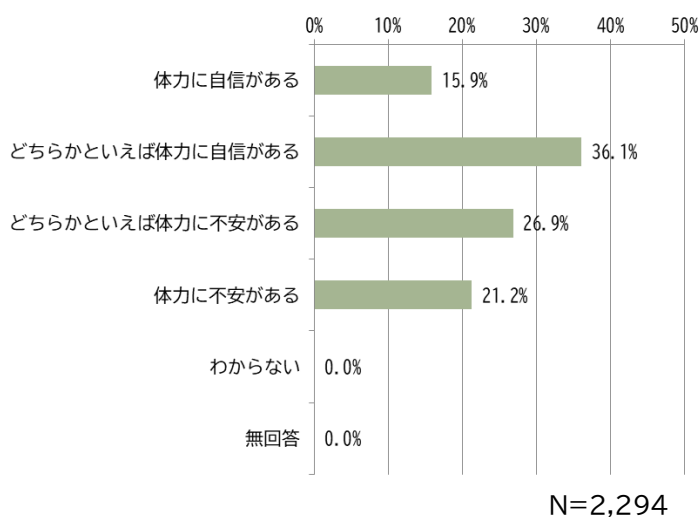
- ・回答者の居住地区は、「市内」が86.1%、「市外」が13.9%となっています。



問4 あなたはご自身の体力についてどのように感じていますか。(〇は1つ) [SA]

自信の有無は半々程度

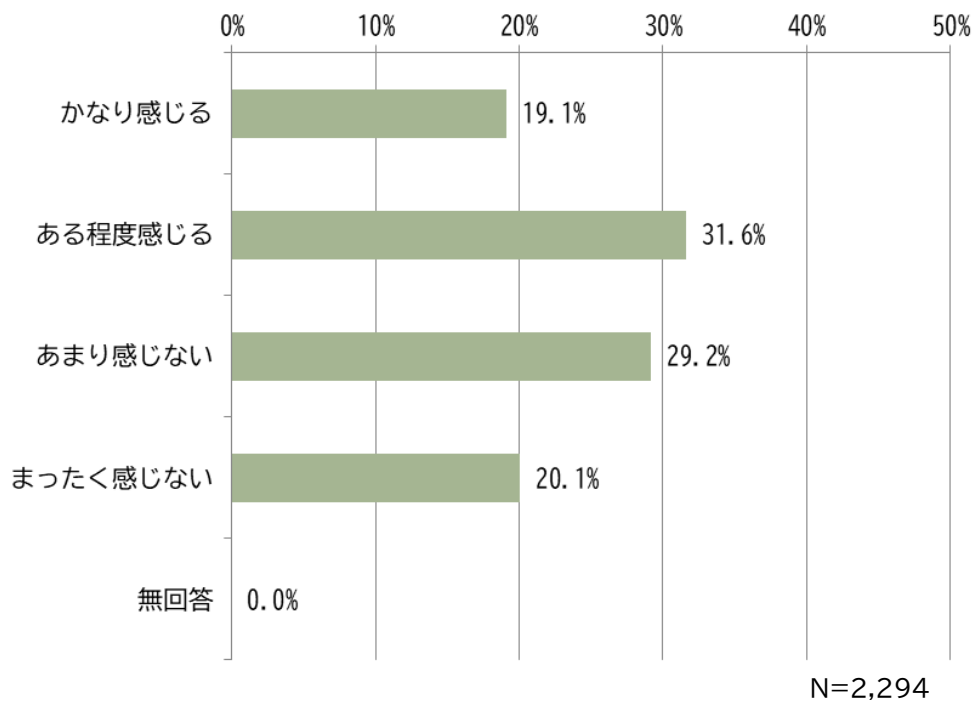
- ・自身の体力についてどのように感じているかについては、「どちらかといえば体力に自信がある」が36.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば体力に不安がある」が26.9%、「体力に不安がある」が21.2%となっています。
- ・自信がある回答者は（自信がある、どちらかといえば自信がある含む）は51.9%、不安がある回答者は（不安がある、どちらかといえば不安がある含む）48.1%と約半々となっています。



問5 あなたは運動不足だと思いますか。(〇(まる)は1つ) [SA]

運動不足と感じると、そうでないは約半々

- ・自身が運動不足だと感じているかについては、「ある程度感じる」が31.6%で最も多く、次いで「あまり感じない」が29.2%、「まったく感じない」が20.1%となっています。
- ・運動不足を感じる回答者は(かなり感じる、ある程度感じるを含む)は50.8%、感じない回答者は(まったく感じない、あまり感じない)は49.2%と約半々となっています。



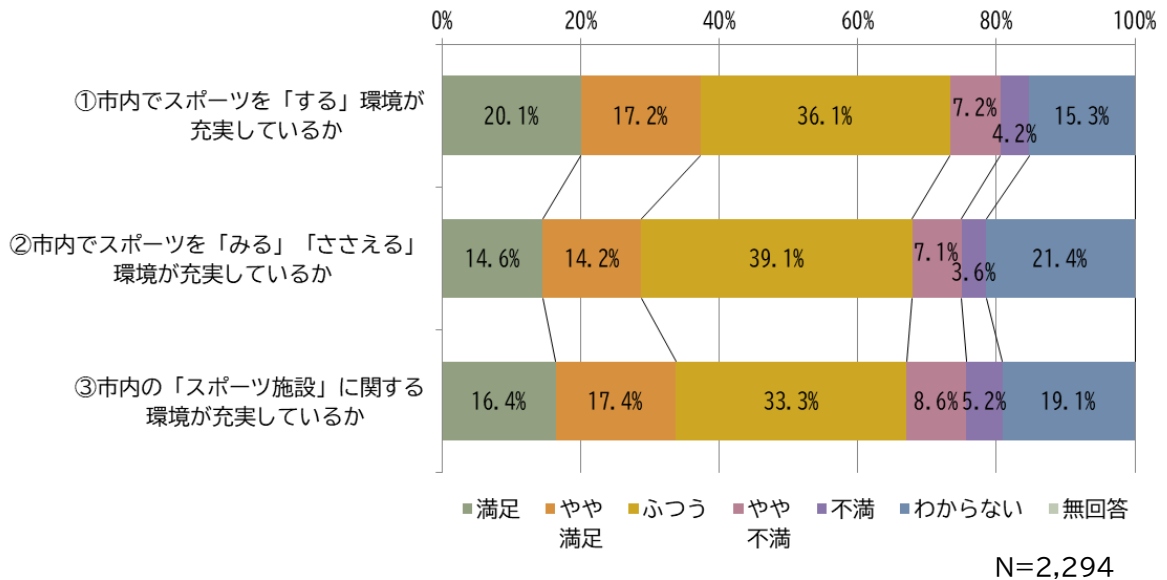
2 つくば市のスポーツ環境について

問6 スポーツ環境等について、普段あなたが感じているお考えをおたずねします。

(①～③それぞれ〇は1つ) [SA]

いずれの環境も不満より満足のほうが上回る傾向

- ・市内でスポーツを「する」環境の充実度については、満足度(「満足(20.1%)」と「やや満足(17.2%)」の合計)が37.3%、不満足度(「不満(4.2%)」と「やや不満(7.2%)」の合計)が11.4%となっており、満足傾向が上回っています。
- ・市内でスポーツを「みる」「ささえる」環境については、同様に満足度(28.8%)が不満足度(10.7%)を上回っています。
- ・市内の「スポーツ施設」に関する環境については、同様に満足度(33.8%)が不満足度(13.8%)を上回っています。

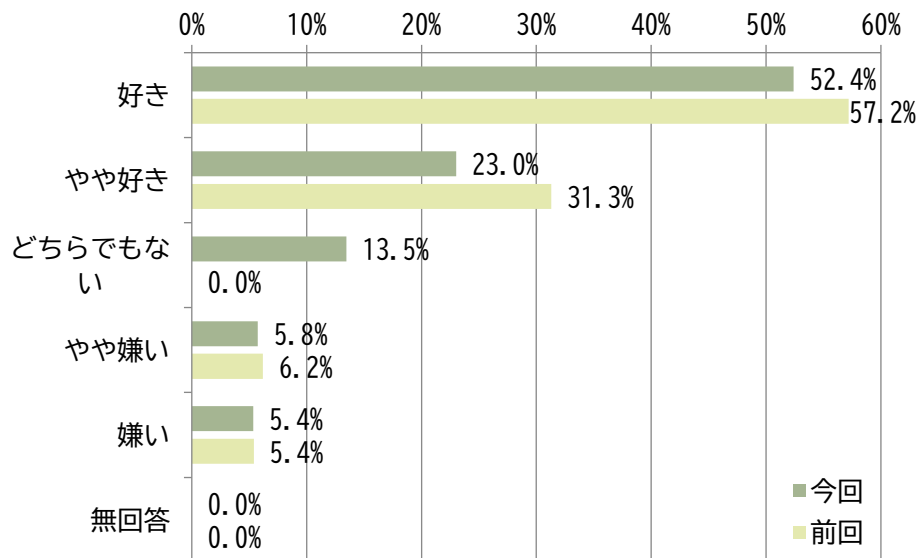


3 「する」スポーツについて

問7 あなたはスポーツをすることが好きですか。(〇は1つ) [SA]

前回より割合が若干減少するものの、好きな傾向が約8割を占める

- ・スポーツをすることが好きかについては、「好き」が52.4%で最も多く、次いで「やや好き」が23.0%、「どちらでもない」が13.5%となっています。
- ・好きな傾向(好き、やや好き含む)は75.4%、嫌いな傾向(嫌い、やや嫌い含む)は11.1%と、好きな傾向が約8割近くを占めています。
- ・前回と比較して、「やや嫌い」「嫌い」の割合は概ね同様の傾向となっていますが、「どちらでもない」選択肢が追加されたことにより「好き」や「やや好き」と回答した割合が減少の傾向にあります。



N=2,294(今回)

N=900(前回)

問8 問7で「4 やや嫌い」「5 嫌い」と回答した方におたずねします。

嫌いな理由はなぜですか。理由についてご記入ください。 [FA]

運動・スポーツが嫌い(苦手)、面倒くさい・疲れるが多数

- ・全体としては「運動・スポーツが嫌い(苦手)だから」が最も多く、次いで「面倒くさい・疲れるから」が多くなっています。
- ・その他「他に趣味ややりたいことがあるから」や、「身体に障害があるから、ケガがこわいから」、「仲間がいないから」なども少数ですがいます。
- ・高校2年生では、「塾や勉強に忙しくて時間がないから」が上位に入ってきています。

※フリーアンサーのため、学年(性別)ごとに整理しています。

その他(性別不詳)は対象数が少ない為、学年に分けず、整理しています。

	小学5年男	今回(%)		小学5年女	今回(%)
1位	面倒くさい・疲れるから	50.0%	1位	面倒くさい・疲れるから	49.0%
2位	運動・スポーツが嫌い(苦手)だから	36.4%	2位	運動・スポーツが嫌い(苦手)だから	43.1%
3位	他に趣味ややりたいことがあるから	4.5%	3位	他に趣味ややりたいことがあるから	3.9%
3位	仲間がいないから	4.5%	3位	体に障害があるから、ケガがこわいから	3.9%
	特に理由はない	0.4%		特に理由はない	0.0%
	その他	0.8%		その他	4.5%
	無回答	0.0%		無回答	0.0%

	中学2年男	今回(%)		中学2年女	今回(%)
1位	運動・スポーツが嫌い(苦手)だから	45.9%	1位	運動・スポーツが嫌い(苦手)だから	60.2%
2位	面倒くさい・疲れるから	37.8%	2位	面倒くさい・疲れるから	34.4%
3位	他に趣味ややりたいことがあるから	8.1%	3位	体に障害があるから、ケガがこわいから	3.2%
4位	身体に障害があるから、ケガがこわいから	2.7%	4位	他に趣味ややりたいことがあるから	2.2%
4位	指導者に不満があるから	2.7%			
	特に理由はない	0.0%		特に理由はない	2.7%
	その他	0.0%		その他	0.0%
	無回答	0.0%		無回答	0.0%

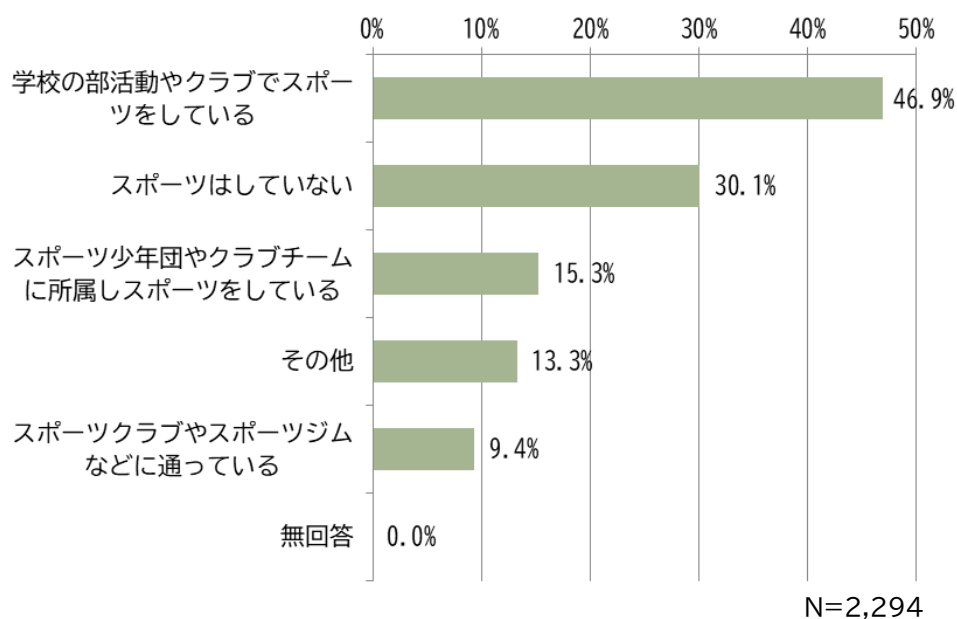
	高校2年男	今回(%)		高校2年女	今回(%)
1位	面倒くさい・疲れるから	62.5%	1位	面倒くさい・疲れるから	50.0%
2位	仲間がいないから	12.5%	2位	運動・スポーツが嫌い(苦手)だから	40.9%
3位	運動・スポーツが嫌い(苦手)だから	6.3%	3位	仲間がいないから	9.1%
3位	塾や勉強が忙しくて時間がないから	6.3%			
3位	身体に障害があるから、ケガがこわいから	6.3%			
	特に理由はない	0.0%		特に理由はない	0.0%
	その他	6.3%		その他	0.0%
	無回答	0.0%		無回答	0.0%

	無回答(答えたくない)	今回(%)
1位	運動・スポーツが嫌い(苦手)だから	71.4%
2位	面倒くさい・疲れるから	14.3%
2位	他に趣味ややりたいことがあるから	14.3%
	特に理由はない	0.0%
	その他	0.0%
	無回答	0.0%

問9 あなたは今、学校の体育の時間以外でスポーツをしていますか。(〇はいくつでも) [MA]

体育の授業以外では、学校の部活動やクラブなどで多くの回答者がスポーツを実施

- ・学校の体育の時間以外のスポーツについては、「学校の部活動やクラブでスポーツをしている」が46.9%で最も多く、次いで「スポーツはしていない」が30.1%、「スポーツ少年団やクラブチームに所属しスポーツをしている」が15.3%となっています。
- ・その他としては、「習い事やクラブに通っている」の記述が多く、次いで「自主的・趣味でスポーツをしている」、「自宅でスポーツをしている」などの記述となっています。



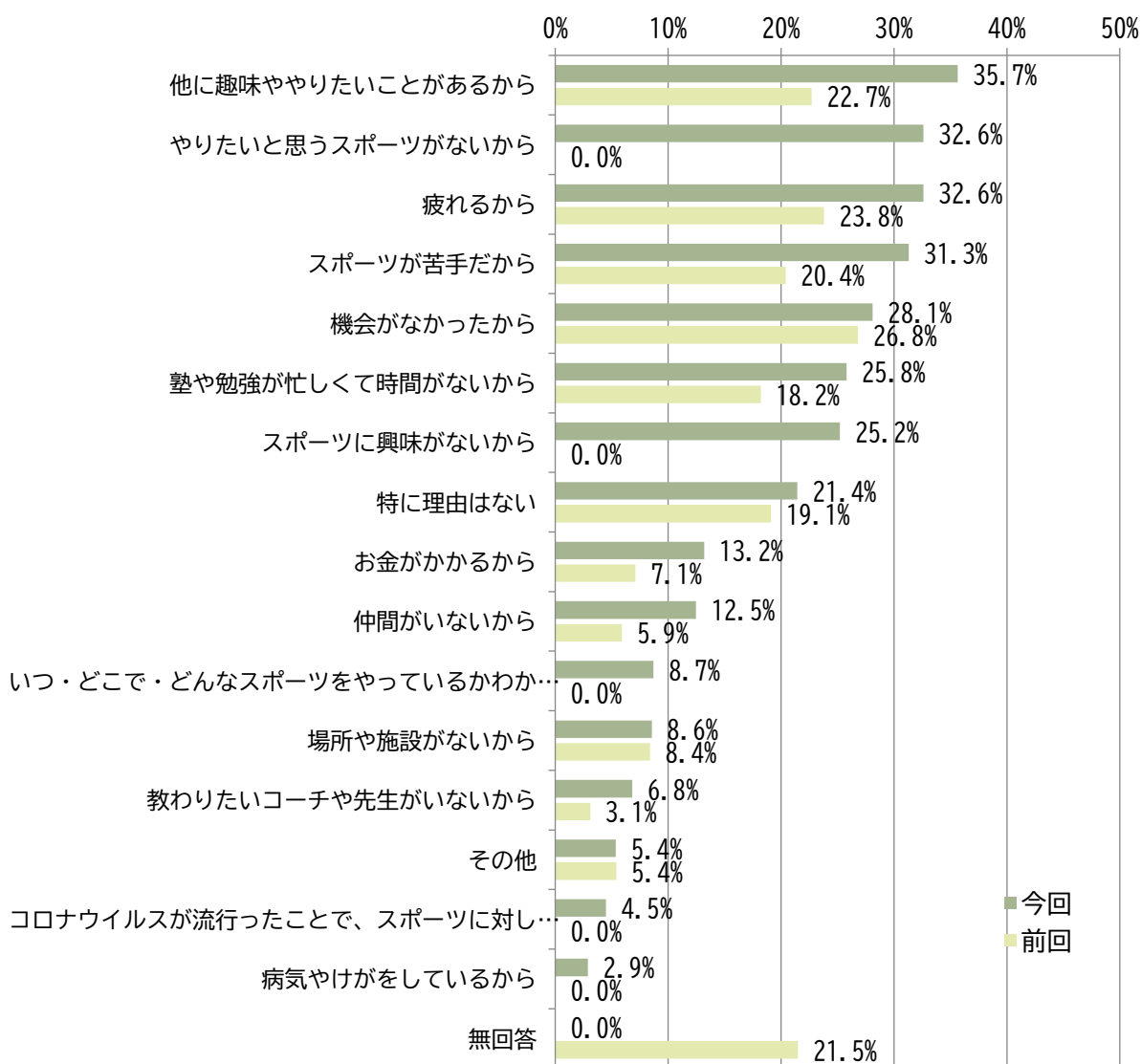
問10 問9で5を選んだ方（スポーツをしていない方）におたずねします。

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。（〇はいくつでも） [MA]

スポーツをしない理由は、他にやりたいことがあるためが多、
やりたいと思うスポーツがないこともスポーツをやらない大きな理由

機会が無い、特に理由はないも多い傾向

- ・スポーツをしない理由については、「他に趣味ややりたいことがあるから」が35.7%で最も多く、次いで「やりたいと思うスポーツがないから」「疲れるから」が32.6%、「スポーツが苦手だから」が31.3%となっています。
- ・「機会がなかったから」が28.1%、「特に理由はない」が21.4%となっています。
- ・その他の意見としては「やりたいが、別の理由により制限があるため」といった記述が多く、次いで「様々な理由により忙しい」「人目が気になる」といった記述が多くなっています。
- ・前回と比較できる選択肢の中では、「他に趣味ややりたいことがあるから」「スポーツが苦手だから」などが大きく増加しています。



N=690(今回)

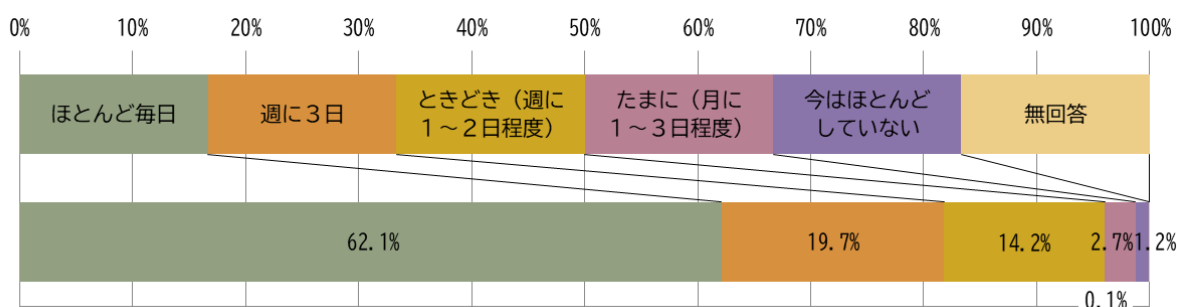
N=67(前回)

問11 問9で1～4を選んだ方（現在スポーツをしている方）におたずねします。

あなたはどれくらいスポーツをしていますか。（〇は1つ） [SA]

かなり高い頻度でスポーツを実施

- ・どれくらいスポーツをしているかについては、「ほとんど毎日」が62.1%で最も多く、次いで「週に3日」が19.7%、「ときどき（週に1～2日程度）」が14.2%となっています。
- ・これらを合わせると96.0%となっており、単純な比較はできませんが、成人、障害者と比べ、非常に高い実施頻度でスポーツを行っていることが分かります。



N=1,604

問12 問9で1～4を選んだ方（現在スポーツをしている方）におたずねします。

あなたが行っているスポーツは何ですか。（いくつでも） [FA]

男性ではサッカー・フットサル、女性ではダンス・バレエ・体操が多い傾向

小学生では水泳、中学生ではテニス・ソフトテニス、高校生ではバスケットボールが多い傾向

- ・男性では「サッカー・フットサル」、「野球・ソフトボール」が多い傾向で、女性では「ダンス・バレエ・体操」が多くなっています。
- ・小学生では「水泳」、中学生では「テニス・ソフトテニス」、高校生では「バスケットボール」などが上位に入っています。
- ・性別や学年により実施しているスポーツに違いが現れています。

※フリーアンサーのため、学年（性別）ごとに整理しています。

その他（性別不詳）は対象数が少ない為、学年に分けず、整理しています。

小学5年男		今回(%)	小学5年女		今回(%)
1位	サッカー・フットサル	22.0%	1位	ダンス・バレエ・体操	21.8%
2位	水泳	16.1%	2位	水泳	16.2%
3位	野球・ソフトボール	11.0%	3位	バドミントン	8.4%
4位	バスケットボール	8.6%	4位	テニス・ソフトテニス	7.2%
5位	武道・格闘技	6.4%	5位	バスケットボール	5.9%
6位	テニス・ソフトテニス	5.4%	5位	鬼ごっこ	5.9%
7位	その他	3.9%	7位	その他	4.4%
8位	ダンス・バレエ・体操	3.2%	8位	ジョギング・ウォーキング・散歩	4.0%
8位	ドッジボール	3.2%	9位	サッカー・フットサル	3.1%
10位	バドミントン	2.9%	9位	武道・格闘技	3.1%
	特に理由はない	1.0%		特に理由はない	2.2%
	その他	3.9%		その他	4.4%
	無回答	0.0%		無回答	0.0%

中学2年男		今回(%)	中学2年女		今回(%)
1位	サッカー・フットサル	14.2%	1位	テニス・ソフトテニス	21.0%
2位	バスケットボール	12.2%	2位	ダンス・バレエ・体操	12.7%
3位	テニス・ソフトテニス	11.0%	3位	バレーボール・ソフトバレー	9.8%
4位	野球・ソフトボール	9.5%	4位	バスケットボール	9.4%
5位	卓球	9.2%	5位	卓球	7.4%
6位	武道・格闘技	7.9%	6位	バドミントン	6.3%
7位	バレーボール・ソフトバレー	6.0%	7位	陸上競技	6.1%
8位	陸上競技	5.0%	8位	武道・格闘技	5.9%
8位	バドミントン	5.0%	9位	水泳	4.4%
10位	水泳	4.5%	10位	マラソン・ランニング	2.6%
	特に理由はない	0.6%		特に理由はない	0.4%
	その他	1.4%		その他	2.0%
	無回答	0.0%		無回答	0.0%

高校2年男		今回(%)	高校2年女		今回(%)
1位	野球・ソフトボール	20.3%	1位	バスケットボール	20.2%
2位	サッカー・フットサル	14.1%	2位	ダンス・バレエ・体操	12.1%
3位	バスケットボール	13.3%	3位	バドミントン	8.1%
4位	テニス・ソフトテニス	8.6%	4位	筋トレ	7.1%
5位	バレーボール・ソフトバレー	7.0%	4位	射的スポーツ	7.1%
6位	筋トレ	6.3%	6位	ジョギング・ウォーキング・散歩	5.1%
7位	陸上競技	5.5%	6位	軽い運動	5.1%
8位	マラソン・ランニング	3.9%	6位	バレーボール・ソフトバレー	5.1%
8位	サイクリング・自転車・BMX	3.9%	6位	キャッチボール・ハンドボール	5.1%
8位	ラグビー	3.9%	10位	サッカー・フットサル	4.0%
	特に理由はない	0.8%		特に理由はない	1.0%
	その他	2.3%		その他	4.0%
	無回答	0.0%		無回答	0.0%

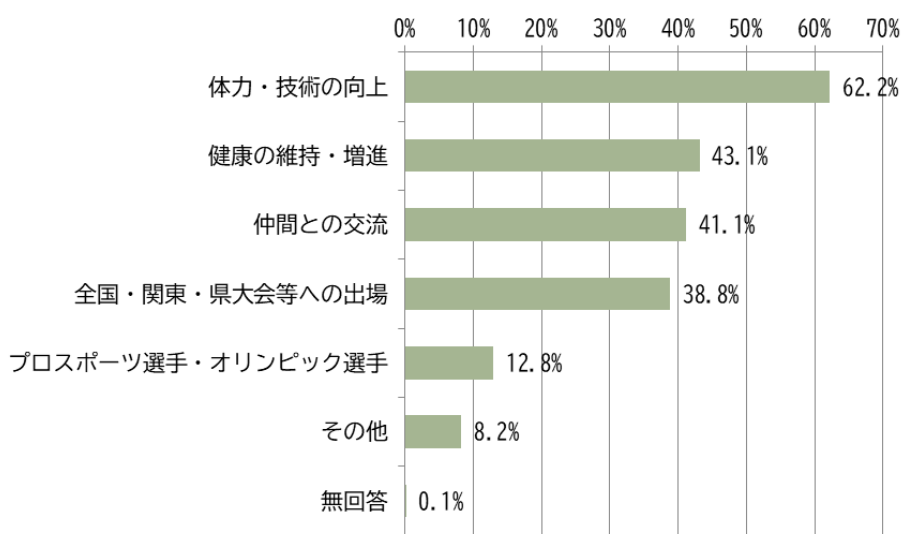
無回答（答えたくない）		今回(%)
1位	ダンス・バレエ・体操	11.5%
1位	サッカー・フットサル	11.5%
1位	テニス・ソフトテニス	11.5%
4位	武道・格闘技	8.2%
5位	ジョギング・ウォーキング・散歩	4.9%
5位	筋トレ	4.9%
5位	水泳	4.9%
5位	野球・ソフトボール	4.9%
5位	卓球	4.9%
5位	バレーボール・ソフトバレー	4.9%
5位	バスケットボール	4.9%
	特に理由はない	1.6%
	その他	3.3%
	無回答	0.0%

問13 問9で1～4を選んだ方（現在スポーツをしている方）におたずねします。

あなたがスポーツをする上での目標は何ですか。（〇はいくつでも） [MA]

体力・技術の向上が最多の中、プロスポーツ選手やオリンピック選手を目標とする回答者も

- ・スポーツをする上での目標については、「体力・技術の向上」が62.2%で最も多く、次いで「健康の維持・増進」が43.1%、「仲間との交流」が41.1%となっています。
- ・その他としては、「スポーツを楽しむ」の記述が最も多く、次いで「将来の夢のため」、「試合や大会のため」などの記述が多くなっています。また、「特にない」も多くなっています。



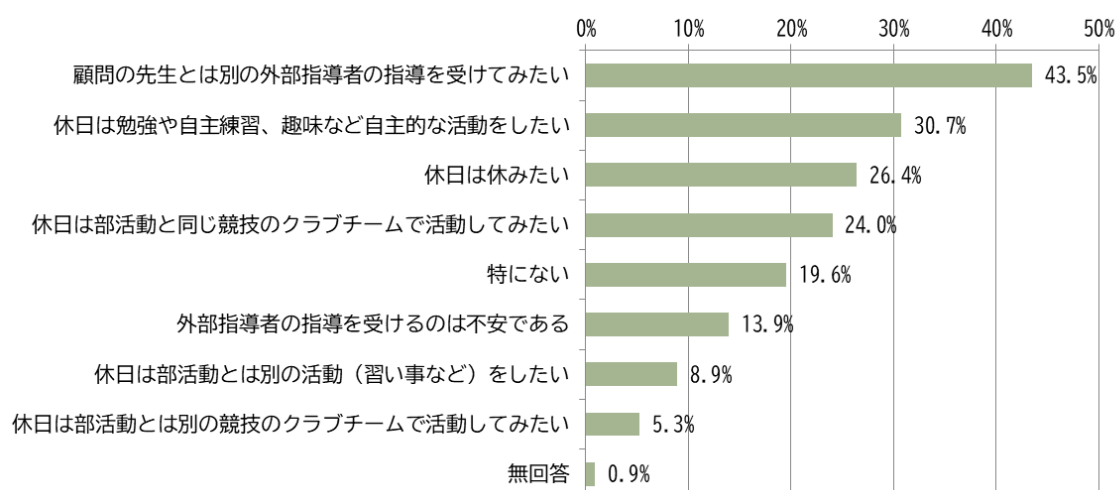
N=1,604

問14 問9で1「学校の部活動でスポーツをしている」を選んだ中学生におたずねします。

あなたは、学校部活動の地域移行の取組について、どう思いますか。（〇はいくつでも） [MA]

外部指導者の指導を受けてみたいが多いが、不安を感じる子供も約14%存在

- ・学校部活動の地域移行の取組についてどう思うかは、「顧問の先生とは別の外部指導者の指導を受けてみたい」が43.5%で最も多く、次いで「休日は勉強や自主練習、趣味など自主的な活動をしたい」が30.7%、「休日は休みたい」が26.4%となっています。

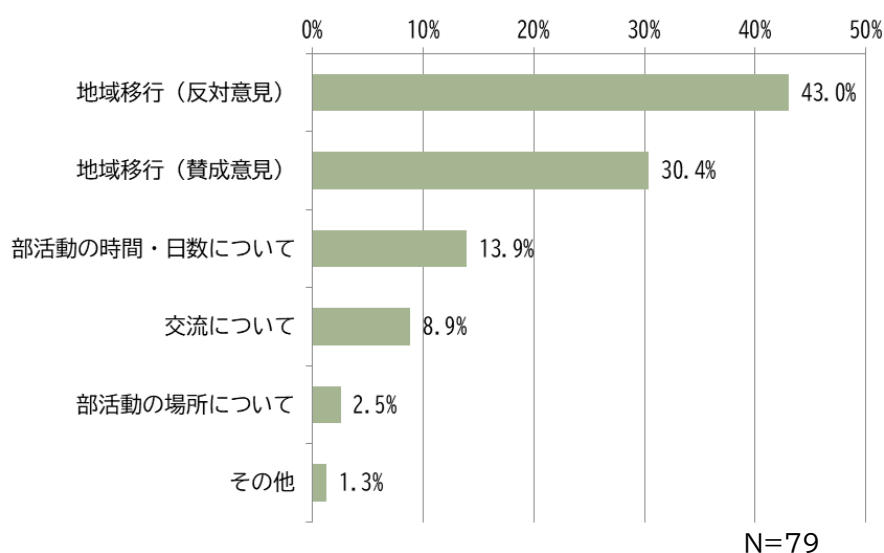


N=761

問 15 学校部活動の地域移行の取組について、思うことがあれば自由にご記入ください。 [FA]

否定的な意見が4割弱、肯定的な意見が約3割

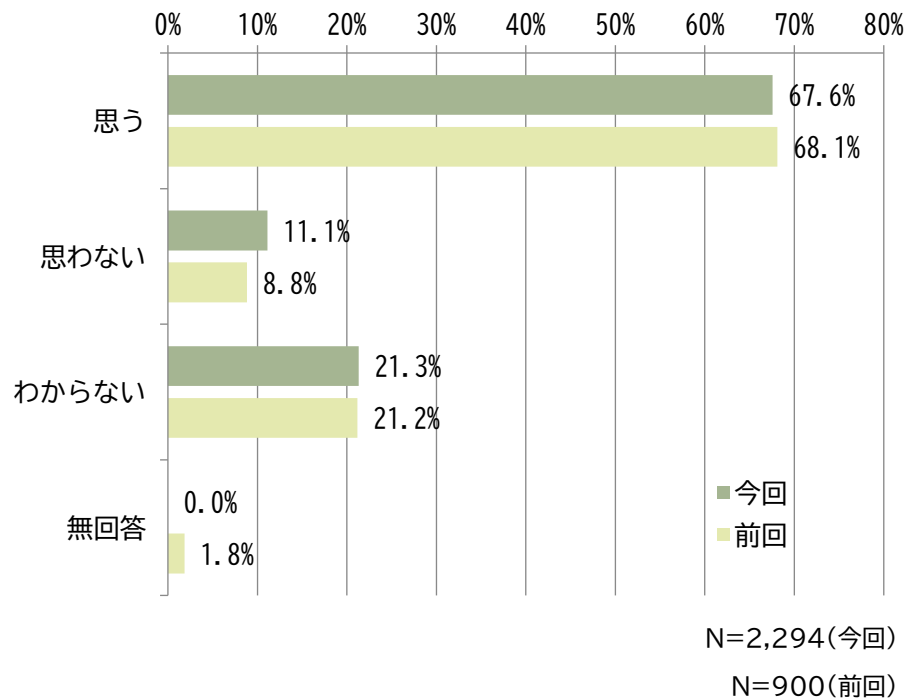
- ・学校部活動の地域移行の取組については、取組に否定的な意見が 34 件と最も多く、次いで肯定的な意見は 24 件となっています。その他、他の学校との交流や部活動の時間、場所についての意見などが多くみられます。
- ・具体的な意見として、賛成意見では「一つのチーム・団体において、複数の指導者がいたほうが多くの視点から教えてもらえるのでいいと思う。」や「学校の教師が顧問だと、その競技を行っていない教師もいるのでしっかりとした指導者に教えてもらいたい。」などが、一方反対意見としては、「顧問の先生に指導していただくほうが信頼もあるので身につくと思う。」や「今まで学校単位で、顧問と生徒で作りに上げてきた絆的なものを大切にしたい。」などが挙げられています。



問16 すべての方におたずねします。小学生の方は中学校に進んだら、中学・高校生の方は卒業後も、授業以外で自主的にスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。（○は1つ）[SA]

今後も自主的にスポーツを行いたいのが圧倒的に多い

- ・授業以外でも自主的にスポーツをする時間を持ちたいと思うかについては、「思う」が67.6%で最も多く、次いで「わからない」が21.3%、「思わない」が11.1%となっています。
- ・前回との比較では、全体的に同様の傾向で割合でも大きな変化は見られません。



4 「みる」・「ささえる」スポーツについて

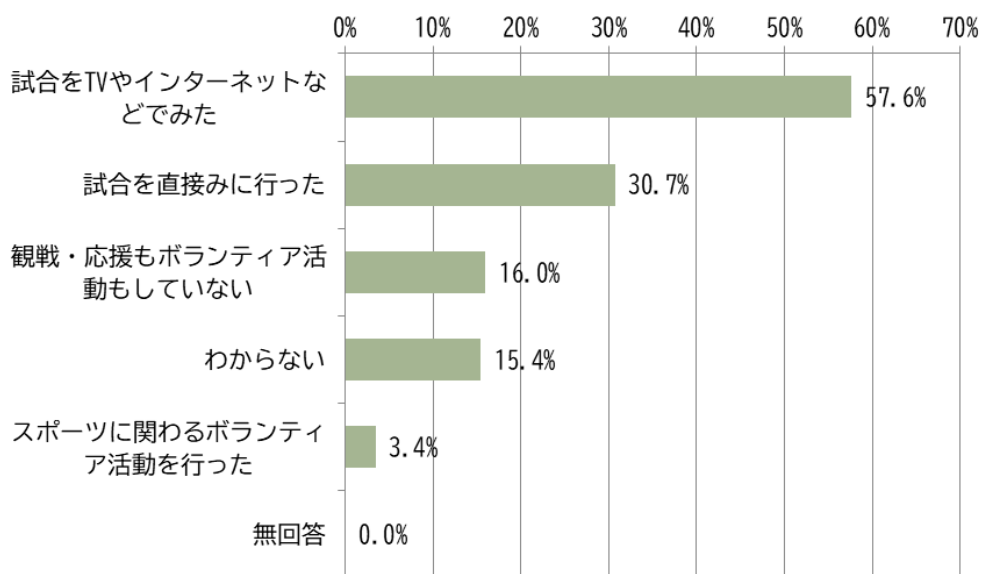
問17 あなたは、この1年間に、スポーツの試合を観戦・応援したり、スポーツに関わるボランティア活動を行ったりしたことがありますか。(〇はいくつでも) [MA]

TVやインターネットでの観戦や、直接試合観戦に行った回答者も多い

- ・「みる」機会としては、「試合をTVやインターネットなどでみた」が57.6%と全体で最も多くなっています。
- ・「試合を直接みに行った」は30.7%となっており、成人(17.7%)や障害者(10.0%)に比べ多くなっています。競技大会や仲間、友人が出場する試合を直接観戦したケースが多いものと推察されます。

成人、障害者よりは多い割合だが、スポーツに関わるボランティア活動をした回答者は少ない

- ・「ささえる」機会としては、「観戦・応援もボランティア活動もしていない」が16.0%となっており、成人(30.0%)、障害者(35.4%)の半分程度となっています。
- ・「スポーツに関わるボランティア活動を行った」は3.4%と少なくなっており、この傾向は成人、障害者の結果と同様です。



N=2,294

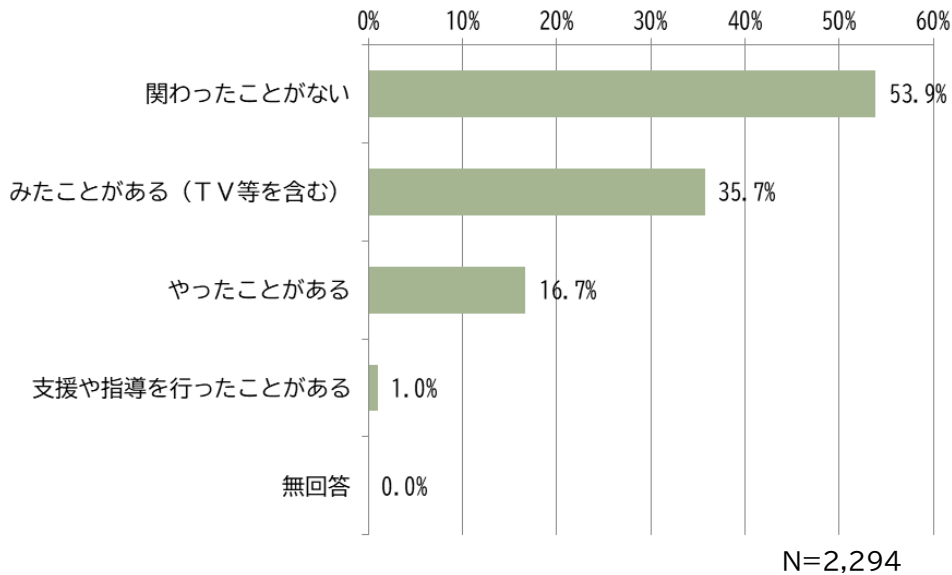
5 障害者スポーツ(パラスポーツ)について

問18 あなたは、これまでに障害者スポーツ（車いすバドミントン、ボッチャ等の障害者スポーツ）に関わったことがありますか。 [MA]

また、関わったことがある場合、それぞれ関わった種目を選択肢①～⑧から選び（）内にご記入ください。 [MA]

成人よりパラスポーツへの関心が高い

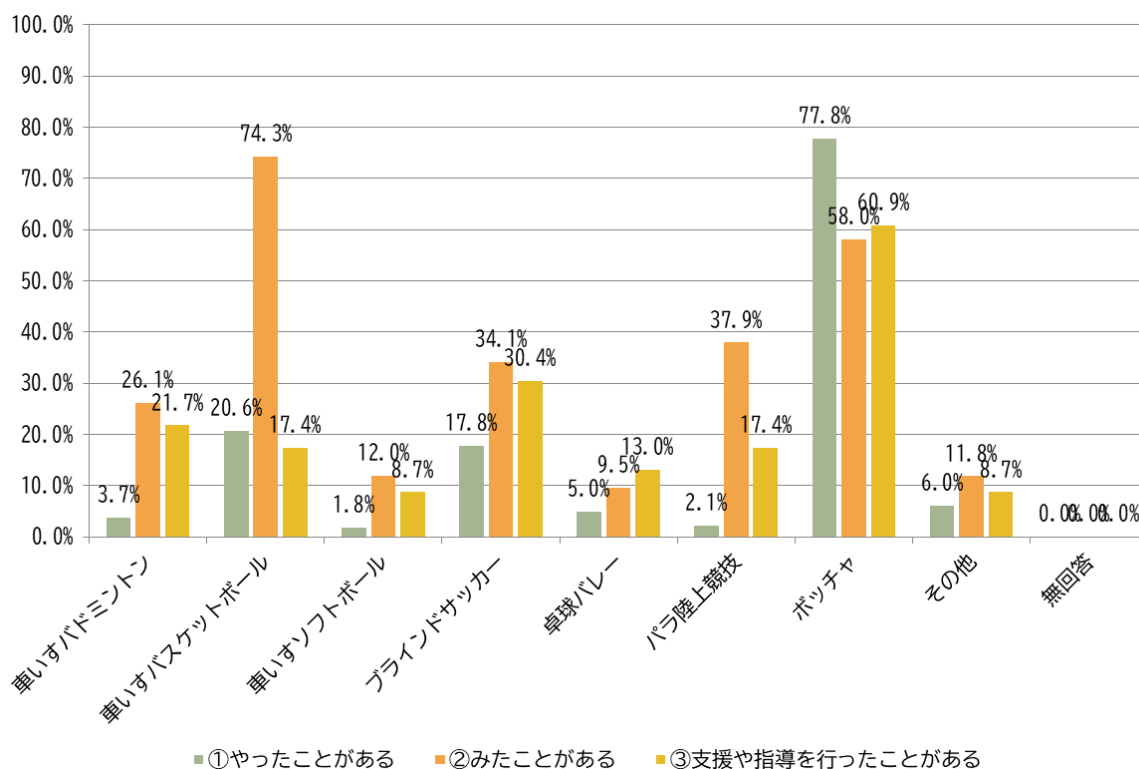
- ・障害者スポーツに関わったことがあるかについては、「関わったことがない」が53.9%で最も多く、次いで「みたことがある（TV等を含む）」が35.7%、「やったことがある」が16.6%となっています。
- ・成人スポーツ活動調査結果（問23）と比べると、「みたことがある」と「やったことがある」が成人ではそれぞれ18.5%、3.7%であるのに対し、小・中・高校生では35.7%、16.7%とどちらも大きく上回っており、回答者のパラスポーツに対する関心が高いことが伺えます。



①やったことのあるパラスポーツ／②みたことがあるパラスポーツ／③支援や指導を行ったことがあるパラスポーツ

ボッチャは、やったことも、みたことも比較的多く、成人ではやったことがなかった「車いすバドミントン」や「車いすソフトボール」の体験もある

- ・①やったことのあるパラスポーツは、「ボッチャ」が77.8%と最も多く、次いで「車いすバスケットボール」が20.6%、「ブラインドサッカー」が17.8%となっています。
- ・その他として「車いすテニス」「ゴールボール」「シッティングバレーボール」「車いすラグビー」「アンプティーサッカー」「ハンドアーチェリー」などが挙げられています。
- ・②みたことがあるパラスポーツは、「車いすバスケットボール」が74.3%と最も多く、次いで「ボッチャ」が58.0%、「パラ陸上競技」が37.9%となっています。その他として「車いすテニス」「ゴールボール」「水泳」「車いすラグビー」「パラトライアスロン」「フライングディスク」「デフサッカー」「カヌー」などが挙げられています。
- ・③支援や指導を行ったことがあるパラスポーツは、「ボッチャ」が60.9%と最も多く、次いで「ブラインドサッカー」が30.4%、「車いすバドミントン」が21.7%となっています。その他として「車いすテニス」が挙げられています。
- ・①～③の有効回答者数が違うため正確な比較はできませんが、①～③いずれも一定の割合を得たのは、「ボッチャ」、「車いすバスケットボール」、「ブラインドサッカー」です。
- ・成人ではやったことがなかった「車いすバドミントン」や「車いすソフトボール」も、子供達では一定数存在しています。

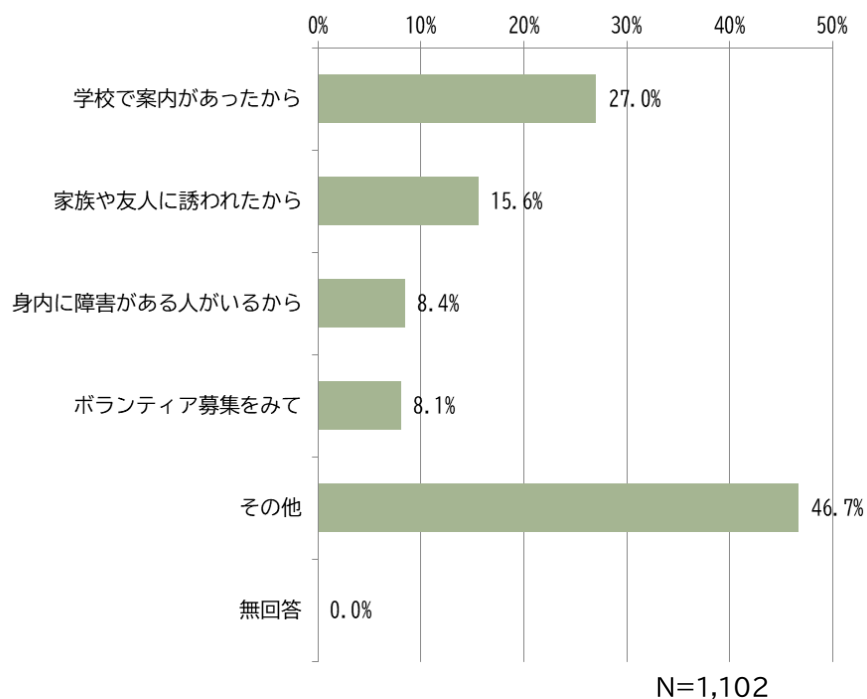


N=①383, ②820, ③23

問19 問18で1～3に回答した方（関わりがある方）におたずねします。どのようなきっかけで、やってみたり、支援などを行いましたか。（〇はいくつでも） [MA]

パラスポーツとの関わりは、多様なきっかけで

- ・パラスポーツに関わったきっかけについては、「学校で案内があったから」が27.0%で最も多く、次いで「家族や友人に誘われたから」が15.6%、「身内に障害がある人がいるから」が8.4%となっています。
- ・成人スポーツ行動調査結果（問24）とほぼ同様の傾向を示していますが、「ボランティア募集をみて」が全体では8.1%と下位となっているものの、成人アンケートの1.5%よりは高い値となっており、小・中・高校生の方が積極的に関わったことが見て取れます。
- ・その他としては、「テレビでみて」「動画サイトやSNSでみて」、「市のフェスティバルや体験会で」、「商業施設での体験会・イベントで」、「学校の授業で」、「学校ボランティアで」、「親の付き添いや親に誘われて（親の仕事）」、「ボーイスカウト、習い事などで」、「障害者の競技に興味を持っている、気持ちを知りたかった」、「ポスターなどをみて」などが挙げられています。

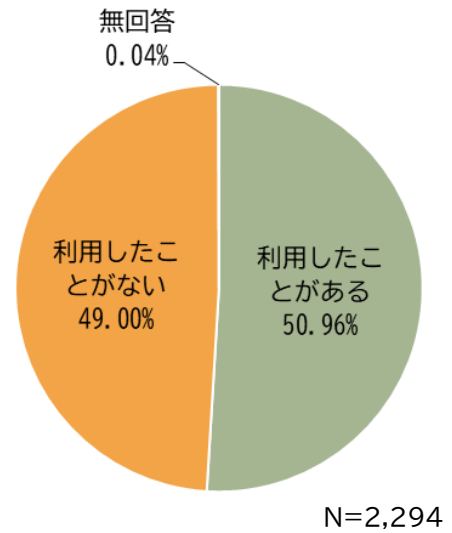


6 公共のスポーツ施設について

問 20 この1年間で、市の公共スポーツ施設を利用したことはありますか。 [SA]

利用の有無はおおむね半々。成人に比べよく利用

- ・この1年間で公共スポーツ施設を利用した回答者は、全体の約51.0%となっており、「利用したことがない」とおおむね半々の割合となっています。
- ・成人スポーツ活動調査結果（問25）と比較すると、「利用したことがある」が成人で約21%だったのに対し、小・中・高校生は倍以上の割合があり、よく利用している様子が伺えます。



7 自由意見

最後に、つくば市のスポーツ振興の取組や、スポーツ行政サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。[FA]

競技場、練習場などスポーツ施設の整備

公共のスポーツ施設使用料金の無料化・低料金化、適正な維持管理

授業や教室、体験などを通じ、様々なスポーツに触れてみたい

洞峰公園		
性別	年齢	ご意見
女子	小学5年	・洞峰公園のジョギング・ウォーキング整備。
女子	小学5年	・洞峰公園は運動する人に向いている。なのでキャンプ場が建設されると利用者はいやだ と思う。洞峰公園をよくするためにキャンプ場は不要。
女子	中学2年	・これからも洞峰公園で安全に自主トレが続けられるといい。
男子	中学2年	・頑張ってください。洞峰公園の誘致は反対。
男子	中学2年	・つくば市洞峰公園温水プールのロッカーの無償化
無回答	中学2年	・洞峰公園はアスレチックよりも体育館を拡張してほしい。
笠松運動公園		
性別	年齢	ご意見
男子	中学2年	・笠松運動公園のテニスコートが劣化しているので改修。コート数を増やす。
桜総合体育館		
性別	年齢	ご意見
女子	中学2年	・桜総合体育館までの道の整備をして、自転車でも安全に通えるようにしてほしい。
大清水公園		
性別	年齢	ご意見
女子	中学2年	・大清水公園にバスケットゴールを取り付けてほしい。
予約システム		
性別	年齢	ご意見
女子	中学2年	・体育館の予約が出来ない。スポーツをしたいのに予約が取れずに諦めてる人がいる現状 を変えてほしい。
男子	小学5年	・体育館・テニスコート・サッカーグラウンドの競争率が高い。需要があるので、早朝や前日 から並ばなくても予約できる様に施設を増やしてほしい。
男子	中学2年	・体育館の予約が取りにくい、練習があまりできない。夏は窓が空いていないので熱 中症になる可能性がある。 ・無料で使える公園にバスケットゴールを設置。
男子	高校2年	・予約の仕方が難しい。
男子	高校2年	・体育館は複数あるが借りれないことが多い、工夫を。

体育館		
性別	年齢	ご意見
女子	小学5年	・学校の体育館を使えるようにしてほしい。
女子	小学5年	・熱中症対策のために体育館にエアコン設備が欲しい。
女子	中学2年	・市内に体育館がもっと欲しい。
女子	中学2年	・天井の高い体育館が欲しい。
女子	中学2年	・たまに体育館閉鎖をする。
男子	中学2年	・体育館を増やしてほしい。
男子	中学2年	・人口に見合った施設を設置してほしい。体育館を増やす。
男子	中学2年	・体育館が少ない。
男子	中学2年	・バレーコートが設置された体育館がほしい。
授業		
性別	年齢	ご意見
男子	中学2年	・学校の授業で気軽に障害者スポーツを体験してみたい。
女子	小学5年	・体育の授業でスポーツ鬼ごっこを学びたい。
女子	中学2年	・スケートリンクなど、色々なスポーツ施設が欲しい。授業でも色々な種目を学びたい。
部活動・地域移行		
性別	年齢	ご意見
女子	中学2年	・地域移行よりも部活動の方が見知った人が多いから、自分らしさを出せる。
女子	中学2年	・部活動の時間を減らさないでほしい。平日は毎日部活動をしたい。
女子	中学2年	・部活動の顧問の先生はどうあるべきか、つくば市で統一してほしい。
女子	中学2年	・学校では学べないスポーツがあった時や部活動で馴染めなかった時に、スポーツを出来る他の活動の場がほしい。
女子	中学2年	・土日はオフが欲しい。
女子	中学2年	・休日の部活をなくす。
男子	中学2年	・部活動の活動時間を週6で18時まで延ばしてほしい。コーチが欲しい。
男子	中学2年	・部活動の時間延長。
男子	中学2年	・部活時間を延長。放課後は、部活が無い日にも学校のテニスコートを使用したい。
男子	中学2年	・部活をさせてほしい。
男子	中学2年	・部活動の時間を延長。
男子	高校2年	・部活動でマスク着用をしたくない。酸欠になり頭がクラクラする。肌が弱いため荒れる。
女子	中学2年	・外部コーチをいれる。
スポーツイベント		
性別	年齢	ご意見
女子	小学5年	・市役所で小学校向けのスポーツをイベントの開催。
女子	小学5年	・つくば市でバレーボールの試合の開催。
女子	小学5年	・これからもパラスポーツやウォークラリーのイベントを開催してほしい。
男子	小学5年	・つくば市の大会を作る。
男子	小学5年	・コロナ過でもスポーツイベントの実施。
男子	中学2年	・スポーツ系イベントがもう少しほしい。

陸上競技場

性別	年齢	ご意見	
男子	中学2年	・部活で使える陸上競技場の建設。	
女子	小学5年	・陸上競技場を作って欲しい。	
女子	中学2年	・公式の記録会や大会開催が可能な規模の陸上競技場が欲しい。 ・タータン製グラウンドで練習できる環境が周辺に全くなく、困っている。練習環境の充実。	
女子	高校2年	・つくば市内に陸上競技場を建ててほしい。	
男子	中学2年	・陸上のお店や競技場。	
男子	中学2年	・陸上競技場の設営。	
男子	中学2年	・陸上競技場を増やす。一般人も無償でサッカーゴールを利用したい。	
男子	中学2年	・大きい競技場が欲しい。	
男子	高校2年	・タータンが欲しい。	
男子	高校2年	・陸上競技場を作っていただきたい。	
男子	小学5年	・運動競技場がほしい。	

スポーツ教室

性別	年齢	ご意見	
女子	小学5年	・同じジャンル(テニスとバドミントンとか)のスポーツクラブが交流して学習し合える機会。	
女子	小学5年	・周辺に大きなダンス教室が欲しい。	
女子	中学2年	・市内にバドミントンやソフトボールのクラブが欲しい。	
女子	小学5年	・あまりメジャーではないスポーツの体験教室や習い事が出来る施設がほしい。	
女子	小学5年	・色々な競技が出来る単発～数回の体験教室を行ってほしい。	

スポーツ施設

性別	年齢	ご意見	
男子	小学5年	・二の宮周辺に小学生でも気軽に入れる場所が欲しい！	
女子	小学5年	・市内で習えるスポーツの種類が増えてほしい。今は市外でスポーツを学んでいる。	
女子	中学2年	・スケートリンクなど、色々なスポーツ施設が欲しい。授業でも色々な種目を学びたい。	(再掲)
男子	中学2年	・中学校の解放。	
女子	小学5年	・スポーツが出来る場所がほしい。	
女子	小学5年	・スポーツ施設が少ない。	
女子	小学5年	・リップスティックやスケートボードなどの練習が出来る施設があると安心して練習できる。	
女子	小学5年	・もう少し住宅の近くにスポーツ施設や運動のできる土地をつくってほしい。気軽にスポーツができるようになるといい。	
女子	小学5年	・子どもだけの利用が可能な無料のスポーツ施設(体育館)。	
女子	中学2年	・特に不満はないが、施設が古い場合はリニューアル等を行ってほしい。	
女子	中学2年	・17時以降も施設の開放をしてほしい。	
女子	中学2年	・スポーツ施設を充実させてほしい。	
女子	中学2年	・施設の混雑具合が分かるといい。市民プールで泳ぐスペースがないことがある。	
女子	中学2年	・トイレの清掃。	
女子	中学2年	・運動できる施設。	
女子	高校2年	・トイレを清潔に維持してほしい。	

女子	高校2年	・研究学園にある広い土地に体を動かせるテーマパークを作る。	
女子	高校2年	・施設整備に力を入れたり、施設がもう少し増えてほしい。	
男子	小学5年	・施設の料金を安くしてほしい。	
男子	小学5年	・施設が足りない。使いたくても予約が一杯なので、大きな施設よりも身近に使える施設を充実してほしい。	
男子	小学5年	・利用者に金銭的負担がかからない楽しいスポーツ施設がほしい。	
男子	小学5年	・郊外にもスポーツ施設を作してほしい。	
男子	中学2年	・スポーツが出来るところがほしい。	
男子	中学2年	・スポーツ施設がほしいボロいので整備してほしい。	
男子	中学2年	・学生もいるのでスポーツ公共施設の利用料金を減らしてほしい。	
男子	中学2年	・無料で使用できるスポーツ施設があるとありがたい。	
男子	中学2年	・スポーツ施設の予約を簡略化してほしい。	
男子	中学2年	・施設がボロい。	
男子	中学2年	・もっとスポーツ施設を増やす。	
男子	中学2年	・スポーツパークのように運動もできて収益にも繋がる施設があっても面白い。	
男子	中学2年	・スポーツに必要な用具がなくても気軽に利用できるスポーツ施設があれば、学生が友達と行くことも増える。	
男子	中学2年	・中学生でも利用可能なジム。ある場合は該当ジムや運動施設をまとめたマップ等の広報。	
男子	中学2年	・もう少しスポーツができる施設を増やす。	
男子	中学2年	・もう少し公園や公共スポーツ施設を作してほしい。	
男子	高校2年	・利用にお金がかかるのが嫌。	
男子	高校2年	・公園によってはスケートボード、野球、ボールといった禁止事項が多いため、思ったようにスポーツをすることができない。気軽に使える各スポーツの屋外コートを設置してほしい。	
男子	高校2年	・施設は大変充実している。大変満足している。	
無回答	小学5年	・利用料金の無料化。	
無回答	中学2年	・多様なスポーツの施設があるといい。	
男子	中学2年	・現状は少し使い辛いので駅周辺に施設を作り、みんなが簡単に行けるといい。	
男子	高校2年	・ラウンドワンのようなスポーツをしやすい環境があると良い。	
スポーツ環境			
性別	年齢	ご意見	
男子	中学2年	・学校別の設備の格差をなくす。	
男子	小学5年	・もうすこし落ち葉やごみなどを清掃してほしい。	
男子	小学5年	・ジェットコースターがある公園があれば、自分から進んで公園に遊びに行く。	
男子	小学5年	・公園に鉄棒の設置。運動競技場がほしい。	(再掲)
男子	中学2年	・体育以外にスポーツをする時間が欲しい。	
男子	中学2年	・公園を増やしてほしい。	
男子	中学2年	・もっと環境を整えてほしい。	
無回答	中学2年	・設備の充実。	
無回答	高校2年	・公園でボール禁止の所がいくつもあり、なかなか遊べる所がない。公園でも使えるようにネットなどを取り付けて欲しい。	
女子	小学5年	・安全にスポーツが出来る環境にしてほしい。1年生が4人がかりでサッカーゴールを運んでいた。	

マラソン		
性別	年齢	ご意見
女子	小学5年	・運動が好きなのでマラソンなど気軽に運動できる取り組みを続けてほしい。
男子	小学5年	・マラソンだけでなく、色々な大会を定期的開催。
男子	小学5年	・マラソンなど広範囲のスポーツは車の安全を補助してほしい。
女子	中学2年	・つくば健康マラソンに参加したい。
サッカー		
性別	年齢	ご意見
男子	中学2年	・新品のサッカーコート。
男子	小学5年	・新しいサッカー施設がほしい。
男子	中学2年	・サッカー場を増やし、地域の人が運動する機会を増やしてほしい。
男子	中学2年	・サッカーグラウンドが少ないので人工芝のグラウンドを増やしてほしい。 ・運動公園がほしい。運動できる場所が遠い。
男子	中学2年	・市のサッカー場の清掃を行う。
男子	中学2年	・サッカーゴールが設置してあっても使える広々とした環境が近くにほしい。
男子	高校2年	・借りることができるサッカーグラウンドを増やす。
男子	小学5年	・サッカー。
男子	中学2年	・バスケットコートとサッカーコートが少なく、クラブに所属しないと自由な練習ができないことが不便。
テニス		
性別	年齢	ご意見
女子	小学5年	・テニスを習える所がもっとほしい。
女子	中学2年	・学校のテニスコートの設備向上。ボールやネットなどの必要最低限な環境整備(ボールが足りない、ネットがビリビリ)
女子	中学2年	・テニスコートを増やしてほしい。
女子	中学2年	・テニスコートを増やす。テニスコートの整備。
女子	中学2年	・飛び込みができるプールやテニスコートを増やしてほしい。
女子	中学2年	・テニスコートをもっと平らにしてほしい。
女子	中学2年	・テニスコートの数が少なくて埋まっていることが多々ある。色々な人に指導してもらえる教室があると楽しめると思う。
女子	中学2年	・誰でも気軽に利用できるテニスコートがほしい。
女子	中学2年	・テニスコートのひび割れが目についたので、整備してほしい。
女子	中学2年	・中学生がテニスコートを利用しやすいシステム化。
男子	小学5年	・テニスコートが充実している。
男子	中学2年	・テニスコートの面数を増やす。
男子	中学2年	・中学生のテニスコート料金を安くしてほしい。自主練習をしたくてもし辛い。
男子	中学2年	・テニスコートの照明代を安くしてほしい。
男子	中学2年	・テニスコートを現地で途中から予約したときは時間によって料金は決めてほしい。(注前に予約していた場合は別)
男子	中学2年	・テニスコート代とテニスコートの照明代を安くしてほしい。
プール		
性別	年齢	ご意見
女子	中学2年	・守谷市を参考にして、プールのロッカーの無料化をしてほしい。
男子	中学2年	・プール施設のロッカー代を無料化。
女子	中学2年	・飛び込みができるプールやテニスコートを増やしてほしい。

(再掲)

バスケットボール			
性別	年齢	ご意見	
女子	中学2年	・バスケットコートを作ってほしい。	
女子	中学2年	・バスケットボールのコートやゴールを増やしてほしい。	
女子	中学2年	・つくば市内にバスケットゴールを増やしてほしい。(谷田部東中、二の宮、上原近辺)	
女子	高校2年	・バスケットコートを設置したらスポーツに触れやすくなる。	
男子	小学5年	・屋外バスケットコートを増やしてほしい。	
男子	中学2年	・体育館やバスケットのストリートコートを作って欲しい。	
男子	中学2年	・バスケットコートを作ってほしい。	
男子	中学2年	・つくば駅付近にバスケットボールゴールがある場所がほとんどないので並木ショッピングセンターの方までわざわざ行く必要がある。バスケットゴールをよりたくさんの方に設置してほしい。	
男子	中学2年	・公園にバスケットボールのリングを増やしてほしい。	
男子	中学2年	・競技の特性上、バスケットゴールがないとシューティングの練習ができません。もっと多くの公園に、ネットなしでも構わないのでバスケットゴールの設置を願いたい。	
男子	中学2年	・バスケットゴールが少ない。	
男子	中学2年	・バスケットコートとサッカーコートが少なく、クラブに所属しないと自由な練習ができないことが不便。	(再掲)
男子	中学2年	・バスケットコートを作ってほしい(複数)	
男子	中学2年	・バスケットゴールの設置数を増やしてほしい。	
男子	中学2年	・バスケットコートをもっと増設。	
無回答	中学2年	・バスケットコートを身近に作ってほしい。	
男子	中学2年	・無料で使える公園にバスケットゴールを設置。	
DCAA (洞峰地区文化スポーツ推進協会)			
性別	年齢	ご意見	
男子	中学2年	・DCAAは素晴らしい。	
広報			
性別	年齢	ご意見	
男子	中学2年	・スポーツする環境の周知を強化してほしい。分かりやすく検索ができるサイトがあると便利。	
無回答	中学2年	・何をしているか、どこが利用可能か情報をもっと主張してほしい。	
男子	中学2年	・あまりスポーツの取り組みを知らない。広報をしたらいい。	
男子	中学2年	・中学生でも利用可能なジム。ある場合は該当ジムや運動施設をまとめたマップ等の広報。	(再掲)
サイクリング			
性別	年齢	ご意見	
男子	中学2年	・長距離のサイクリングコースを作って欲しい。横断歩道と歩道間をなだらかにしてほしい。	
男子	中学2年	・弱虫ペダルとコラボをして自転車が走りやすい街を作って欲しい。	

その他スポーツ

性別	年齢	ご意見
男子	中学2年	・アームレスリング
女子	高校2年	・弓道場が欲しい。
女子	小学5年	・競技場やランニング出来る場所がほしい。
女子	小学5年	・剣道の試合にでたい
女子	中学2年	・学生でも通えるくらい料金が安いスケート場がほしい。運動したい。
男子	中学2年	・スケボーと野球などの球技が無料でできる場所が切実にほしい。
男子	高校2年	・ダーツプレイヤーとして活動している。未成年がもっとダーツができる環境を作ってほしい。
男子	中学2年	・卓球ができる場所が少ない。
男子	中学2年	・卓球の台をもう少し増やしてほしい。
女子	中学2年	・卓球場を増やしてほしい。
男子	高校2年	・学校にスポーツ種目がバドミントンしかない。
男子	小学5年	・バレーボールができる場所がほしい。
女子	小学5年	・大きな(高い)ボルダリング場が欲しい。
男子	中学2年	・野球ができる広場を公園の一部に作ってほしい。ほとんどの公園は野球をしていると注意されてしまうので、野球は少年団やクラブに参加しないとできない。人が散歩する場所から離れた場所に、野球など人に危険が及ぶと分類されてしまうスポーツができる場所を提供してほしい。
男子	中学2年	・ラグビー場がほしい。

その他

性別	年齢	ご意見
女子	小学5年	・たくさんあったほうがいい。
男子	中学2年	・少し汚い。
男子	小学5年	・ボーイスカウト。
男子	小学5年	・各小学校でスポーツ少年団の活動を支援するべき。
女子	小学5年	・コロナ対策をもう少し厳しくしてほしい。
女子	小学5年	・見たことないからわからない。
女子	中学2年	・もっとしてほしい。
女子	高校2年	・今のところ無い。
男子	小学5年	・とても良い。
男子	中学2年	・すごく良い。
男子	中学2年	・つくば市に住んでないからなにも分からないし、なにも意見はありません。
男子	中学2年	・特に見たり聞いたりしてないのでなんもない。
男子	中学2年	・海外資本を受け入れられては？
男子	中学2年	・いいと思う。
無回答	小学5年	・もうちょっとつくば市全体の運動力を上げたい。理由は、茨城県でつくば市は運動能力が低い市だから。
無回答	中学2年	・このようなアンケートなどは今後一切やらなくていいと思う。
無回答	中学2年	・わかりません。お好きにどうぞ。

つくば市の状況

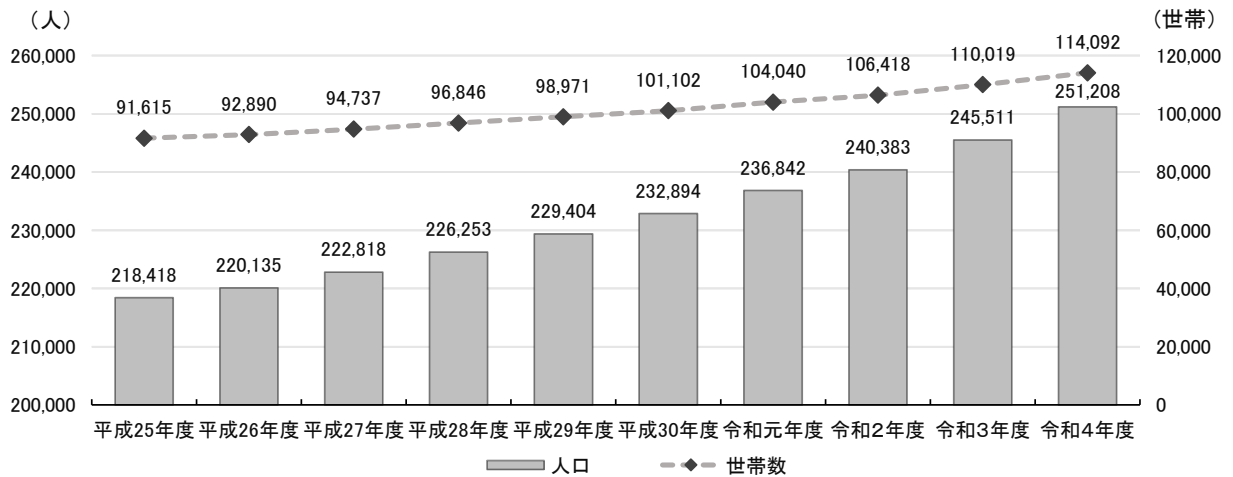
現況グラフ図

(1) つくば市の現況

■人口と世帯数の推移

本市の人口と世帯数は年々増加しており、令和4年度には人口が251,208人、世帯数が114,092世帯となっています。毎年10年間で人口は32,790人、世帯数は22,477世帯の増加となっています。

■人口と世帯数の推移

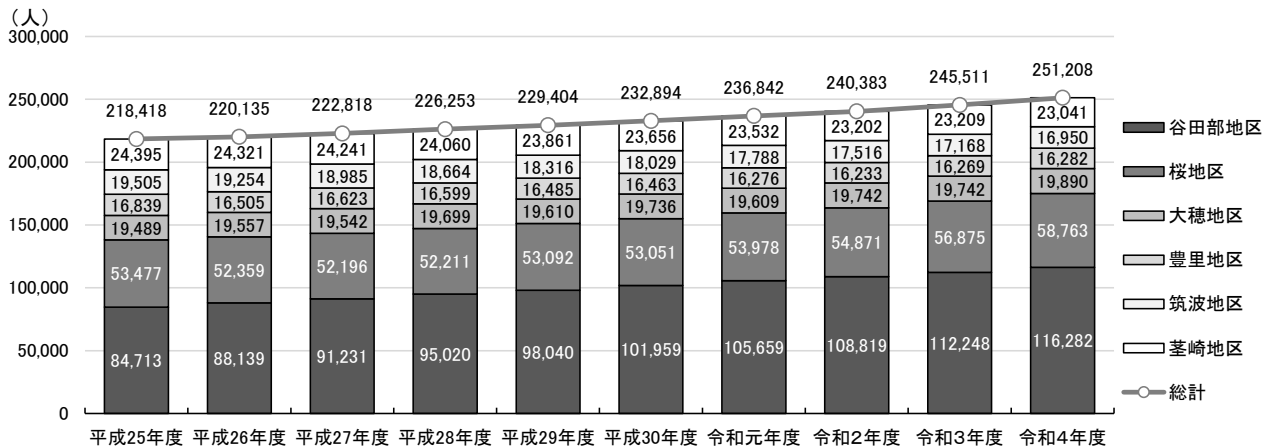


出所：住民基本台帳（各年10月1日）

■行政区別人口の推移

行政区別人口の推移をみると、つくばエクスプレス（以下TX）沿線開発地区の大多数を含む谷田部地区や、研究学園地区（つくば駅周辺の中心市街地）やTX沿線開発地区を含む桜地区は年々人口増となっている一方で、豊里地区、筑波地区、荃崎地区は10年前と比べて減少傾向で推移しています。また、大穂地区は増減を繰り返していますが、やや増加傾向で推移しているのが特徴です。人口増加地区と減少地区の二極化が進んでいます。

■行政区別人口推移

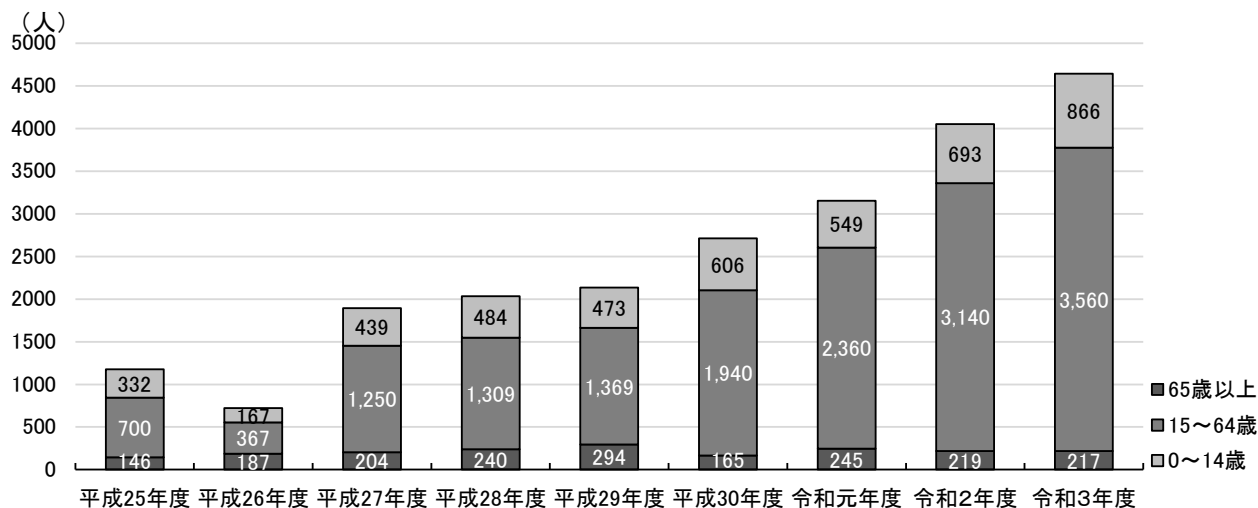


出所：住民基本台帳（各年10月1日）

■年齢階級別人口移動の状況

本市の転入超過は年々増加傾向にあり、特に生産年齢人口（15～64歳）が多くを占めています。さらに、年少人口も概ね増加傾向で推移しています。大学進学による学生の転入や、ファミリー層などが多く転入していることが推察されます。

■年齢階級別の人口移動状況（転入超過）

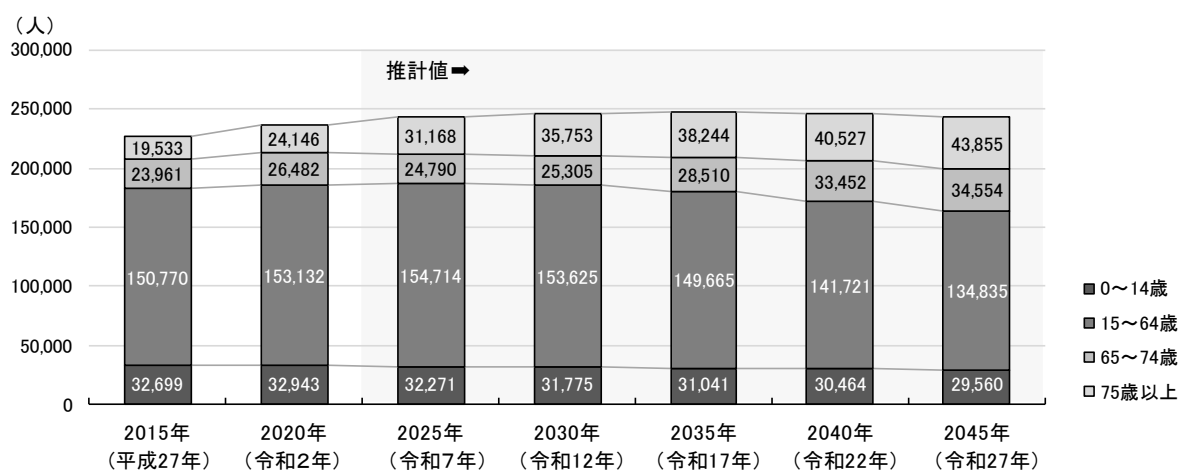


出所：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

■年齢別人口の現状と将来推計

年齢別人口について、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）それぞれが現状（令和2年まで）は増加傾向にありますが、将来推計値をみると、2025年（令和7年）から年少人口が減少、2030年（令和12年）から生産年齢人口が減少に転じ、あわせて老年人口が大きく増加する予想となっています。

■人口と世帯数の推移



出所：つくば市未来構想（令和2年4月）

(2) 子どものスポーツ活動

■子どもの体力・運動能力について

小・中学生の体力テスト総合評価段階（A+B）の割合の推移をみると、小学生、中学生ともに令和3年度は総合評価A+Bの割合が低くなっています。また、各年度で県平均よりも低い傾向を示しています。特に中学生の割合が平成29年度と比べて10%以上低く、小学生も同様の傾向を示しています。年々減少傾向にあります。新型コロナウイルスの影響による運動不足等が予測されます。

■小・中学校の体力テスト総合評価段階（A+B）人数の割合

年度	区分	小学校5年生				
		A	B	計	実施人数	割合(%)
令和3年度	茨城県	4,727	5,987	10,714	23,452	45.7%
(2021年)	つくば市	394	527	921	2,390	38.5%
平成29年度	茨城県	7,209	7,302	14,511	25,076	57.9%
(2017年)	つくば市	445	639	1,084	2,258	48.0%
平成24年度	茨城県	3,662	4,263	7,925	13,490	58.7%
(2012年)	つくば市	1,943	3,612	5,555	12,746	43.6%
年度	区分	中学校2年生				
		A	B	計	実施人数	割合(%)
令和3年度	茨城県	5,655	6,270	11,925	22,386	53.3%
(2021年)	つくば市	374	510	884	1,981	44.6%
平成29年度	茨城県	7,629	7,507	15,136	23,879	63.4%
(2017年)	つくば市	490	559	1,049	1,842	56.9%
平成24年度	茨城県	5,323	3,856	9,179	12,347	74.3%
(2012年)	つくば市	1,154	1,488	2,642	5,225	50.6%

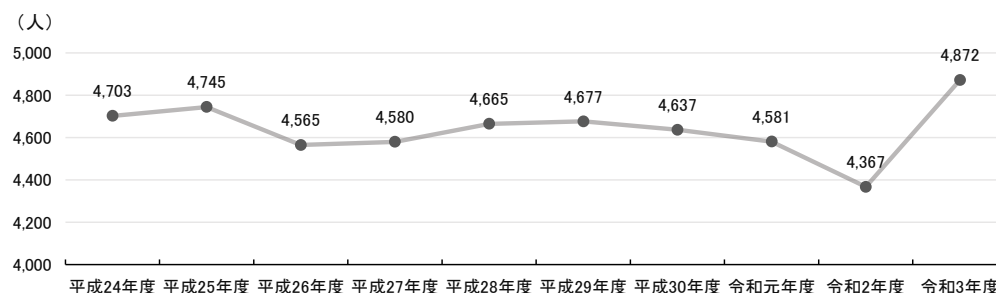
出所：健康教育課

■中学校運動部活動の状況

中学校運動部活動の部員の推移をみると、平成25年をピークに減少し、ほぼ横ばいで推移してきましたが、令和元年度～令和2年度にかけて大きく減少し、令和3年度から増加を示しています。新型コロナウイルス感染拡大による部活動中止や運動控えによる部員数が減少し、やや感染が落ち着いてきた令和3年度に再開、または新しく入部した生徒が多いことが予想されます。

また、本市ではテニス、バスケット、卓球の順で部員数が多くなっているのも特徴です。

■中学校運動部活動の部員数の推移



出所：学び推進課

■令和3年度 つくば市中学校 運動部員数（運動部別）

野球		バレー		バスケット		テニス		卓球		剣道		柔道	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
263	12	64	380	424	343	428	448	416	256	132	147	31	10
275		444		767		876		672		279		41	
陸上		サッカー		水泳		バドミントン		器械体操		新体操	ハンドボール	部員数	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	-	女	男	合計
277	221	498	21	79	54	96	157	5	18	6	41	45	4,872
498		519		133		253		23		6	86		4,872

出所：学び推進課

■学校部活動及び新たな地域クラブ活動

学校部活動については、少子化の加速や過度な練習、指導時間等が教員の負担に繋がっていることが全国的に課題となっている中、スポーツ庁で「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革（令和2年9月）」「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月）」、スポーツ庁・文化庁と連名で「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月）」がとりまとめられました。令和4年6月の提言では、令和5年度～令和7年度末までの3年間を改革集中期間とし、公立中学校等における運動部活動を対象に休日の部活動を学校教育から切り離し、地域のスポーツ活動へ移行するよう示していましたが、ガイドラインでは、持続可能な活動環境を整備する必要があるとし、学校部活動や新たな地域クラブ活動のあり方、地域移行に向けた環境整備、大会のあり方等を示しています。移行の時期については、提言を踏まえ3年間を改革期間とするものの地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すことと改められました。

つくば市では、平成30年から谷田部東中学校が平日の部活の一部について外部委託を行うなど、いくつかの学校で先行的に取組を始めています。また、令和4年11月からは公立中学校と義務教育学校※では部活動の時間を1日減らし、週4日となるなど、運動部活動の地域移行に向けての取組が進み始めています。今後は引き続き実態等の調査を進めながら、各学校に合わせ体制の検討・整備や指導者の育成に努め、休日部活動の完全な地域移行を進めます。

※地域移行が開始している学校は除く。

■地域移行のモデルタイプ

	タイプ	運営主体	特徴
1	総合型地域スポーツクラブ連携型	市民団体	<p>【事例】谷田部東中学校（H30～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動と総合型地域スポーツクラブの共存型 ・つくばユナイテッド SunGAI A 他団体と協働、指導者派遣 ・活動：週1回（種目により曜日は異なる） ・財源：受益者負担 ・運営主体 DCAA 洞峰地区文化スポーツ推進協会（事務局）つくばFC（総合型地域スポーツクラブ）
2	大学・民間企業連携型	大学・企業	<p>【事例】竹園東中学校（R4年度に実証開始）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社JTB（事務局）と筑波大学の連携型 ・筑波大学から指導者（部活動指導員）を派遣 ⇒大学では指導者研修を実施 ・移行準備期間は教員2名がシフト制で安全管理 ・活動：週1回土日（種目により曜日は異なる） ・財源：受益者負担
3	地域企業連携型	地域企業	<p>【事例】みどりの学園義務教育学校（R4年～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェーロススポーツクラブ（株式会社エンボス企画）が「みどりのSCC」で地域クラブ活動として実施 ・活動：週2回（毎週木曜、土日いずれか） ・財源：受益者負担
4	スポーツ少年団活用型	スポーツ少年団	<ul style="list-style-type: none"> ・全市型スポーツ団体構想 ・スポーツ少年団の体制を利用して部活動との連携を検討 ・現在調査・検討段階であり、準備ができてきている競技から中心に推進予定

出所：スポーツ振興課

■子どものスポーツ推進の取組

本市における子どものスポーツ推進の取組については、令和3年度の実績として小学生向けの「子どものスポーツ体験教室（低学年）」や「スプリント」などのスポーツ教室を開催しています。その他、いくつかのスポーツ教室においては中学生や高校生も対象として開催しています。

また、放課後の児童の安全な居場所づくりとして、放課後子供教室[※]や放課後児童クラブ[※]の場においても様々な遊びが行われています。本市では全市立小学校、義務教育学校と3か所の交流広場で放課後子供教室を実施しています。また放課後児童クラブについては、児童館や児童クラブ施設、小学校の余裕教室等を利用して実施しています。

例年、桜総合体育館において、児童館を利用する児童（2年生～4年生）を対象とした「つくば市立児童館交流ドッジボール大会」を開催していましたが、令和2年度、令和3年度においては新型コロナの影響を受け中止となっています。

さらに、体力テストの結果を受けて、各学校において毎年児童生徒の実態に合った「体力アップ推進プラン」を策定しており、体力向上のための取組を実施しています。

■スポーツ推進課が実施した子どもを対象としたスポーツ教室（令和3年度）

教室名	概要	対象	参加者数
スプリント （全3回 毎週土曜日）	開催日 11/13、11/20、11/2 筑波大学から講師を招き短距走の走り方や動きづくりを紹介。	市内在住・在学の小学生	39名 （延107名）
子どものスポーツ体験教室 （低学年） （全4回 毎週水曜）	開催日 11/24、12/1、12/8、12/15 複数のスポーツを体験する機会を設けて自分に合うスポーツを見つけて貰う。	市内在住・在学の小学校低学年	35名 （134名）

出所：スポーツ振興課

■放課後子供教室の実施回数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数	180	217	436	359	326

出所：こども育成課

■放課後児童クラブ「つくば市立児童館交流ドッジボール大会」参加者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者数	330	300	308	中止	中止

出所：こども育成課

※放課後子供教室…放課後に学校施設等を活用してすべての児童の安全・安心な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供するものです。

※放課後児童クラブ…放課後の保育に欠ける児童に対して、児童の健全な育成を図るために、児童館や児童クラブ専有室を利用して適切な遊び及び生活の場を提供するものです。

(3) 成人のスポーツ活動

■成人のスポーツ推進の取組

本市における成人のスポーツ推進の取組については、令和3年度の実績としてテニスやバドミントン、トレイルラン、ヨガや体幹トレーニングなどのスポーツ教室を開催しています。

また、健康増進を目的として、いきいきプラザにおいても中高年向けの年代に合わせた各種教室が開催されており、高齢者向けの「元気はつらつ教室」「いきいき運動教室」、40～64歳対象の楽しみながら運動習慣を身につける「アクティブ運動教室」などがあります。教室ではインストラクターによる運動指導の他、食生活のアドバイス・健康相談なども実施しています。さらに、団体向けの出前健康教室の一つとして「健康体操教室」を開催しています。

その他、地域交流センターなどでも、各地区でヨガやストレッチを始めとする講座が開催されており、令和3年度の実績としては9つの交流センターで15講座開講されています。

■スポーツ振興課が実施した成人を対象※としたスポーツ教室（令和3年度）

教室名	概要	対象	参加者数
ビギナーズテニス (全4回 毎週土曜)	開催日 5/26、5/29、6/5、6/12 初心者対象のテニス教室	市内在住・在学・ 在勤の高校生以上 のテニス初心者	39名 (延107名)
体幹ムーブメント (全6回 毎週土曜)	開催日 5/26、6/2、6/9、6/16、6/23、 6/30 姿勢改善・腰痛予防・筋力アップ・ 疲労軽減などを目的とした体のバラ ンスを整える体幹トレーニング	市内在住・在学・ 在勤の中学生以上	27名 (延116名)
トレイルラン (全4回 毎週日曜)	開催日 6/13、6/27、7/11、7/18 筑波山や宝篋山等のつくばの山々を 駆けるトレイルランニング	市内在住・在学・ 在勤の18歳以上 (高校生を除く) ※ランニング習慣 があり、平地で10 km以上止まらず走 れる方	30名 (延101名)
バドミントン (全4回 毎週水曜)	開催日 7/7、7/14、7/21、7/28 楽しく体を動かすバドミントン教室	市内在住・在学・ 在勤の中学生以上	28名 (延85名)
心と体やさしいヨガ (全4回 水曜日)	開催日 10/20、10/27、11/10、11/17 ストレスケアとして取り入れる初心 者向けの基本のハタヨガ教室	市内在住・在学・ 在勤の18歳以上 (高校生除く)	23名 (延75名)

出所：スポーツ振興課

※中学生以上、高校生以上参加可能な教室も含む。

■いきいきプラザ運動教室「アクティブ運動教室」の参加者推移

教室名	実施	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
アクティブ 運動教室 (40～64歳対象)	実施回数	※ 210	43	73	50	65
	延べ参加者数	※6,187	5,563	1,778	781	959
	参加者数	※ 205	180	65	37	36

出所：健康増進課

※平成29年までいきいき運動教室（40～74歳）として実施。

※平成30年度からいきいき運動教室（65～74歳）とアクティブ運動教室（40～64歳）に分かれたがH30実績は両方含む。

■出前教室「健康体操教室」の実施回数及び延べ参加者数

教室名	実施	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
健康体操教室※	実施回数	1, 532	586	405	247	260
	延べ参加者数	17, 419	6, 151	6, 576	1, 882	1, 813

出所：健康増進課

※令和元年度まで多世代交流出前教室（65 歳以上団体のみ）として実施。
令和 2 年から健康体操教室となり、対象制限なし。（未成年者のみ団体除く）

■地域交流センターでの運動・スポーツ関連講座開催状況（令和 3 年度）

	実施場所	講座名	対象	参加者数
1	大穂交流センター	リンパ&足ツボ健康法	成人一般	68
2		はじめよう 自力整体	成人一般	67
3	吉沼交流センター	女性のためのタイ式セルフヨガ	成人女性	73
4	豊里交流センター	太極拳を通して心身を美しく	成人一般	24
5		初めてのエクササイズ	成人女性	26
6		からだメンテナンスヨガ	成人一般	10
7	谷田部交流センター	マットピラティス	成人一般	37
8		ヨガ	成人一般	35
9	松代交流センター	関節の機能を改善する BC ピラティス	成人一般	47
10		ボディメンテナンス骨盤体操「Q-ren」	成人一般	45
11	二の宮交流センター	※シルバーリハビリ体操	65 歳以上	46
12	島名交流センター	女性のプチトラブル解消ヨガ	成人女性	37
13	竹園交流センター	痛みに悩まない身体を作る BC ヨガ	成人一般	71
14	桜交流センター	カラダ改善ストレッチ体操	成人一般	60
15		健康リフレッシュ 体操	成人一般	37
合計		15 講座	-	683

出所：文化芸術課
※高齢者向けの出前教室

(4) 高齢者のスポーツ活動

■高齢世代※のスポーツ実施状況について

その他、高齢者の健康の保持増進や地域間交流を深めることを目的として、茨城県健康福祉祭の一環である「いばらきねりんスポーツつくば市大会」が開催されています。

参加者は概ね60歳以上の方が対象で、実施種目として、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、パタンク、輪投げがあります。過去5年では令和元年度までは参加者が増加していましたが、令和2年度、令和3年度は新型コロナの影響で中止となっています。

また、健康づくりと介護予防を図るため、65歳以上の高齢者を対象にウォーキング等の運動習慣を促進する「高齢者いきいき健康アップ事業※」を実施していましたが、運動の習慣化という目的を達成したため、令和2年度で事業が終了しています。

■いばらきねりんスポーツつくば市大会の参加者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者数	572	592	593	中止	中止

出所：つくば市社会福祉協議会

※つくば市が主催、つくば市シルバークラブ連合会共催、つくば市社会福祉協議会が事務局となって実施。

※つくば市ゲートボール連合会、つくば市グラウンド・ゴルフ連絡協議会が後援。

■高齢者いきいき健康アップ事業の参加者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者数	404	413	412	394	事業終了

出所：高齢福祉課

※高齢者いきいき健康アップ事業…参加者に活動量計(高機能万歩計)を提供してウォーキングなどの運動を行っていただき、データトラッキングによって歩数データ等を見える化することで、運動の習慣化を促す取組。歩数データや体力測定等のデータから効果を検証・評価を図った。

(5) 障害者スポーツの活動

■障害者のスポーツ推進の取組

本市の障害者スポーツ推進の取組については、誰もがスポーツを楽しむ機会を提供するため、障害者スポーツ教室を開催しています。令和3年度は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、令和2年度の実績として、小学生を対象に車いすバスケ教室を開催しました。

また、福祉部においても、障害者児の社会参加を促進する事業として、専門の指導者による障害児を対象としたスポーツ・レクリエーション教室を開催しています。

さらに市内の知的障害者を対象としたスポーツ交流会として、つくば市社会福祉協議会が主催の「みんなでDO！スポーツ（つくば市社会福祉協議会主催）」を毎年開催し、スポーツを通じた地域交流や仲間づくりを推進しています。DO！スポーツは毎月1回開催されており、筑波大学学生団体「スポーツア」がボランティアとして活動をサポートしています。

そして、障害者スポーツを支援する人材の育成や障害者スポーツに親しむことを目的に、大学等と連携した「障スポサポーター養成講座」を実施しています。アダプテッド卓球や車いすバドミントンの体験しながら、障害者スポーツを学べる講座となっています。

本市では、令和4年度に「スポーツを通して障害者と健常者が共生する社会を目指す取組について」検討を進めてきました。本方針では、「障害のある人がスポーツ・レクリエーションに取り組むことが、特別なことではなく日常的に当たり前であり、スポーツを通して障害者と健常者が共生する社会」の実現と、障害者の活動の選択肢を増やすことで自身の強みを知るきっかけを作るとともに、障害者と健常者の接触機会を増やすことで相互理解を促進し、スポーツ・レクリエーションを通じて全ての人が幸福で豊かな生活を営むことを目指す姿として、今後は各種施策や取組を進めていきます。

■障害者スポーツ教室の参加者数の推移

教室名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
障害者スポーツ教室 参加者数	20	24	0	8	中止

出所：スポーツ振興課

■障害児スポーツ教室の開催回数・参加者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数	調査中	10	9	3	7
参加者数	20	24	25	24	24
延べ参加者数	145	176	192	128	132

出所：障害者地域支援室

■みんなでDO！スポーツの開催回数・参加者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数	11	10	9	3	10
参加者数	195	205	203	61	158

出所：障害者地域支援室

■つくば障スポサポーター講座受講者数の推移

教室名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
講座受講者数	-	-	21	20	11

出所：スポーツ振興課

その他イベントとしては、市民の障害に対する理解、普及啓発及び社会参加の促進を目的として、「おひさまサンサン生き生きまつり」を開催しています。平成 13 年度に障害者スポーツ大会と福祉のまちフェスティバルを統合開催、平成 18 年度からは高齢者いきいきまつりと合同開催しており、障害者児・高齢者及び市民合わせて例年 2,000 人近く参加者が集まるイベントとなっており、ボランティアや市民等の協力を得ながらスポーツやレクリエーション等を開催しています。

また、例年「まつりつくば」と同時に「体験乗馬療法事業」が行われています。ふれあい広場（中央公園）において、乗馬を通して動物とふれあう心を養い、障害児と健常児の交流を図り、市民の障害に対する理解、障害者の社会参加の促進を目的として実施されています。

さらに、「つくばスポーツフェスティバル」などにおいて、ハンドアーチェリー、ブラインドサッカー、車いすバスケットボール、ポッチャなどのブースを設けて、障害者スポーツを体験する機会を提供しています。

しかしながら、いずれも令和 2 年度、令和 3 年度はコロナの影響で中止となっています。

■おひさまサンサン生き生きまつり参加者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
参加者数	1,800	1,605	1,225	中止	中止

出所：障害者地域支援室

■体験乗馬療法事業の参加者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
参加者数	409	403	418	中止	中止

出所：障害者地域支援室

(6) スポーツ施設等の状況

■スポーツ施設の状況

本市における市営の公共スポーツ施設の多くは、つくば市体育施設条例、つくば市都市公園条例、つくば市ウェルネスパーク条例等に基づき設置・管理されています。

その利用状況については、平成29年の709,538人から令和3年度の516,188人に減少しています。原因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館や利用人数を制限するなどの対策を講じられたこと、市民のスポーツ活動自体や施設の利用控えによるものであると考えられます。

(稼働率は現在算出中のため、後日内容を追記)

■体育施設の利用人数・件数・予約システム利用状況 (R3・H29)

施設等名称	令和3年度			平成29年度		
	利用人数 (人)	利用件数 (件)	予約システムからの 利用状況 (回)	利用人数 (人)	利用件数 (件)	予約システムからの 利用状況 (回)
かつらぎ公園	10,716	1,677	351	10,829	1,772	346
さくら運動公園	17,498	2,765	1,777	27,734	2,902	1,550
竹園東公園	6,600	1,301	847	9,972	1,395	753
ウェルネスパーク スポーツフィールド	4,596	77	34	8,836	126	76
セキショウチャレンジ スタジアム	22,297	635	368	57,355	1,489	671
羽成公園	7,391	1,251	391	8,078	1,265	413
科学万博記念公園	11,072	2,925	1,750	11,012	2,712	1,344
吉沼体育館	12,335	1,168	688	25,365	1,282	519
吉沼野球場	4,397	200	117	4,861	143	44
ファミリースポーツ公園	1,279	370	325	1,019	260	237
荃崎運動公園	60,917	7,303	3,560	82,174	8,427	3,637
高見原ソフトボール場	8,904	344	233	13,289	448	232
高崎サッカー場	14,413	288	88	13,537	226	48
桜総合体育館	56,515	10,622	2,759	96,514	9,190	2,516
桜南スポーツ公園	9,238	1,809	810	12,407	7,735	649
手代木公園	16,435	2,519	1,111	19,332	2,636	848
小貝川スポーツ公園	8,536	958	403	11,637	1,092	459
大穂体育館	10,758	1,367	777	16,363	1,353	598
谷田部テニスコート	23,831	4,756	1,909	25,727	4,286	1,795
谷田部総合体育館	56,970	7,503	3,859	67,998	17,602	3,058
谷田部野球場	6,303	348	201	8,687	378	196
大池公園	12,433	1,462	650	9,772	1,156	568
筑波総合体育館	21,772	1,905	1,356	28,532	1,583	820
筑波北部公園	23,260	5,832	4,539	27,451	5,264	3,103
さくら公園	3,327	903	588	2,839	816	563
台山公園	4,032	893	552	1,936	437	269
大崎公園	7,241	304	30	10,814	299	20
東光台運動公園	10,166	1,693	1,259	4,714	1,517	973
東光台体育館	16,538	1,836	913	22,124	1,851	776
二の宮公園	15,306	4,176	2,571	21,943	4,253	2,158
豊里テニスコート	9,152	1,542	861	15,189	986	446
豊里柔剣道場	5,130	859	405	8,781	753	358
豊里多目的広場	4,182	205	125	3,266	167	96
豊里体育館	12,646	1,295	817	19,451	1,300	627
合計	516,186	73,091	37,024	709,538	87,101	30,766

出所:スポーツ施設整備室、公園・施設課

※稼働率(現在算出中)の表を追加予定

■公園施設・運動公園の状況

つくば市都市公園条例に基づき、設置・管理されている公園施設の中には、プール、テニスコート、テニスハウス、野球場、多目的広場などの運動施設が含まれています。また、公園の中には、小貝川スポーツ公園、桜南スポーツ公園、荃崎運動公園、荃崎ファミリースポーツ公園などの運動公園・スポーツ公園も含まれています。公園スポーツ施設の利用者数については、平成29年には273,663人から令和3年には225,447人と利用者数が減少しています。令和2年度から大きく減少傾向にあり、新型コロナウイルスの影響が利用状況にもあらわれていると考えられます。

■公園スポーツ施設の利用者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	273,663	261,394	264,790	221,609	225,447

出所：公園・施設課

■学校体育施設の状況

本市の学校体育施設は、つくば市立学校施設開放規則に基づき、本市に在住または在勤する者で、教育委員会に登録している10名以上の団体に対して原則開放しています。令和3年（2021）年度の学校体育施設開放の状況としては、市内の45の小・中学校及び義務教育学校が開放事業を行っています。

今後の部活動の地域移行により、部活動の実施場所などを検討していく必要があり、学校体育施設の開放についての在り方を検討していく必要があります。

■野外活動施設の状況

自然環境の保全、野外共同生活の場の提供、市民の余暇活動への寄与などのために、つくば市豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、荃崎こもれび六斗の森などの野外活動関連の施設があります。上記野外活動施設の利用者数については、平成29年の106,813人から令和3年で42,702人と減少していますが、新型コロナウイルス感染症が落ち着くにつれて徐々に利用者数が戻ってきています。

■つくば市野外活動施設の利用者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	106,813	105,653	106,608	31,867	42,702

出所：観光推進課

■健康増進や生涯学習活動に関する施設の状況

本市の健康増進や市民の自主活動等に係る施設としては、いきいきプラザ、そして指定管理施設であるふれあいプラザ、つくばウェルネスパークなどがあります。

いきいきプラザは、健康増進施設であり運動を通じて市民の基礎体力の向上を図り、その健康を維持し、健康で豊かな市民生活の形成に寄与するために設置された施設です。当施設のアリーナにおいては、いきいき運動教室などの各種事業が実施されています。

ふれあいプラザは、市民の自主活動の場や交流の場として生涯学習を総合的に支援する施設です。フィットネスプール、ホール、軽運動室などがあり、水中歩行、ヨガ、その他の関連する自主サークル活動が行われています。

つくばウェルネスパークは、市民の運動の場及び保養の場の提供、健康の保持増進のための施設であり、温水プールや温浴施設・トレーニングルーム、ボルダリングなどを配置したヘルスプラザ、人工芝のサッカー場であるフットボールスタジアムつくば（セキショウ・チャレンジスタジアム）、サッカーやグラウンド・ゴルフなど多目的に利用できるスポーツフィールドなどから構成されています。ウェルネスパークにおいては、スタジオレッスン、スイミングレッスン、サッカー教室などの指定管理者による自主事業も行われています。

いずれの施設についても、平成 29 年に比べて令和 3 年は利用者が大きく減少していますがウェルネスパークのヘルスプラザにおいては新型コロナが落ち着いてきて、徐々に利用者が戻ってきていることがうかがえます。

■ふれあいプラザスポーツ関連施設の利用状況の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
プール利用者数	18,009	16,925	10,500	9,468	11,147
ホール利用者数	16,569	17,504	353	3,245	6,084
軽運動室利用者数	6,606	6,604	6,431	4,017	4,351
合計	41,182	41,184	41,033	17,284	16,730

出所：文化芸術課

■つくばウェルネスパーク利用者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
来館者数	240,005	221,917	203,372	133,498	129,061
ヘルスプラザ利用者数	173,809	164,792	149,974	97,598	102,168

出所：スポーツ施設整備室

■その他スポーツ関連施設の状況

その他スポーツ関連施設としては、地域交流センターや指定管理者による管理運営である多目的施設のつくばカピオがあります。地域交流センターは、市民の自主活動の促進を図り、豊かな地域社会の形成に資するための施設で、17の地域交流センターがあります。中には体育館、テニスコート、ホールなどのスポーツ活動に利用される付属施設を有するものもあり、各地域交流センターを利用してヨガやダンスなどの講座が開催されている他(P. 39 参照)、様々なスポーツ関連のサークル団体が活動しています。

また、つくばカピオは、市民の文化活動をはじめとして、各種室内スポーツ活動等による交流の場を目的として設置されている多目的施設です。スポーツ大会や練習等で幅広く利用されているアリーナもあり、令和3年度のアリーナの利用状況(スポーツ利用とそれ以外の利用を含む)は282日、42,999人、利用率99%となっており、新型コロナにより利用者数は減少しているものの、稼働率は依然として高い値となっています。

■つくばカピオ アリーナの利用状況の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用日数(日)	343	341	345	263	282
利用日数(%)	94%	99%	100%	99%	99%
利用者数(人)	109,606	111,383	112,848	25,888	42,999
稼働率(%)	100%	99%	100%	99%	99%

出所：文化芸術課

■筑波山麓周辺や関連施設の整備

筑波山麓周辺は、主に観光やスポーツツーリズムの観点で整備が進んでいます。道案内表示、フットパス、筑波山麓マップなどが企画されており、また、ウォーキングコースも整備されています。さらに、筑波山ジオパークなどと連携した広域的な取組も行われており、自然環境を生かしたスポーツの取組が推進されています。

■フットパスコースの設定

フットパスとは、イギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い街並み等地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと（Foot）ができる小径（Path）のことです。

本市では、筑波山麓をはじめ本市の自然豊かな地域にフットパスコースを設定しています。歩きながら気軽に散策できる小道を整備し、フットパスマップなどの情報を提供しています。

■フットパスコース

フットパス	距離	コース名
つくばまち歩き	約3km	■筑波山口～筑波山神社コース 筑波山南麓の自然と歴史を感じながら歩く小道
筑波山麓フットパス	約6km	■神郷～六所～筑波コース 万葉の時代からの歴史を巡って歩く小道
牛久沼周辺フットパス	約8km	■高崎自然の森～こもれび六斗の森～茎崎運動公園～小茎コース 牛久沼の風景と里山を楽しむ歩く小道
北条・平沢フットパス	約6km	■筑波交流センター～北条商店街～平沢官衙遺跡コース 幾層もの時代を巡って歩く小道
常陸小田城跡フットパス	約2km	■筑波山麓小田駐車場～小田城跡歴史ひろば～宝篋山小田休憩所 宝篋山のふもとの四季と中世の城跡をめぐる小道

出所：市HP

■ウォーキングコースの設定

本市では、健康づくりのために15のウォーキングコースを設定しています。一部コースについては、茨城県ヘルスロードの認定を県から受けており、子どもからお年寄りまで、また障害のある人も安全に歩けるコースとして認められています。コースについては、コースマップを作成し、距離、所要時間、消費カロリーなどの情報提供を行っています。ウォーキングコースは筑波山地域ジオパークの見どころである筑波山、小貝川、六斗などを歩くコースが含まれており、つくばウォークの日には各コースを歩くイベントも開催されています。

■ウォーキングコース

No	距離	コース名	No	距離	コース名
1	約7.2km (ロング約10.1km)	つくば古道コース	9	約7.3km	研究学園都市コース(南回り)
2	約7.9km	小貝川のんびり散歩コース	10	約1.63km	洞峰公園遊歩道コース
3	約10.0km	大穂コース	11	約0.97km	赤塚公園遊歩道コース
4	約7.3km	ゆかりの森コース	12	約7.4km	高崎自然の森コース
5	約8.6km	つくばエクスプレス沿線コース	13	約6.2km	柏崎コース
6	約6.3km	研究学園コース	14	約6.0km (ロング約7.5km)	筑波北部公園コース
7	約9.0km	研究学園都市コース(北回り)	15	約5.7km	桜コース
8	約5.2km	緑と科学の散歩道コース			

出所：市HP

■ランニングコースの設定

本市では、ランナーに愛されるまちづくりを推進するため、平成30年度に実施したつくば市ランニングコースコンテストに応募されたコース案を参考に、ランニングについての情報提供と市内8コースを掲載したつくば市ランニングマップを作成し、各種情報提供を行っています。

また、多様なライフスタイルに合わせてランニングを楽しめるよう、本市では民間企業と提携した「ランニングステーション」をJOYFITつくば竹園（フィットネス施設）内に設置しており、ロッカー、シャワー、風呂、更衣室、トイレなどを有し、市内ランナーのサポートを行っています。

■ランニングコース

No	距離	コース名	No	距離	コース名
1	約6.1km	駅前公園巡りコース	5	約4.8km	大地のいっぽん道コース
2	約10.4km	研究学園駅コース	6	約7.7km	大穂緑の大地コース
3	約7km	小貝川河川敷コース	7	約8.0km	科学の並木道コース
4	約10.8km	筑波山麓コース	8	約10.8km	谷田部の今昔コース

出所：市HP

■ランニングステーション

住所	概要	利用可能サービス
JOYFIT つくば竹園 つくば市竹園 1-3-1	利用可能時間：6時～24時（第1木曜休館） 利用時間：1回3時間（500円） 対象：市内在住・在勤・在学の16歳以上の方	ロッカー、シャワー、風呂、更衣室、トイレ

出所：市HP

■サイクリング関連の整備

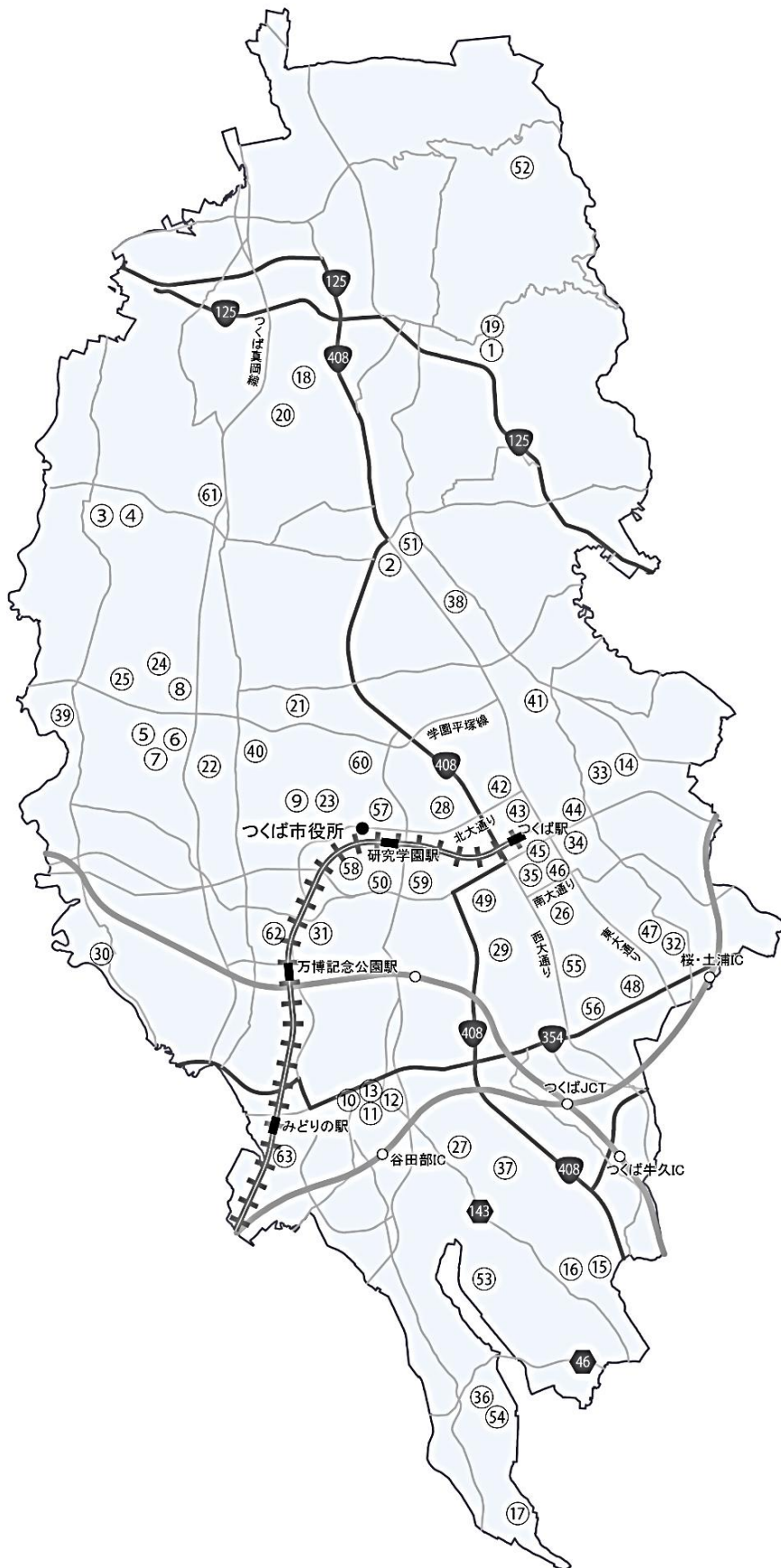
本市は、県整備のサイクリングロード（自転車・歩行者専用道路）である「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を有しています。つくば霞ヶ浦りんりんロードは令和元年に国指定のナショナルサイクルルートに認定され、その活用についてはスポーツツーリズムの観点からも重要なものとなっています。筑波山口及びBiViつくばでのレンタサイクルや、県とつくば霞ヶ浦りんりんロード沿線7市が連携した「RingRing 広域レンタサイクル事業」を実施しています。

また、本市では「ひと・自転車・クルマの共生できるまち」の実現を目指し、サイクリングを楽しむための環境の充実や健康づくりを目指した自転車の利用を促進しています。前述したレンタサイクルのほか、ゆかりの森や荃崎運動公園等でレンタサイクルを実施しています。さらに、「TXつくば駅及び研究学園駅を中心としたエリアで、シェアサイクル実証実験事業「つくチャリ」を実施しています。その他、安全・快適なサイクリングのため空気入れや工具などが利用できる休憩施設であるサイクルサポートステーションの設置や、サイクリングコースや魅力スポットなどを紹介するWebサイト、サイクリングガイドを作成し、サイクリングに親しむための取組を進めているところです。

筑波山地域ジオパークを自転車でめぐる「筑波山麓りんりんツアー」や筑波山ヒルクライムレース「ツール・ド・つくば」などのイベントを実施しています。

■施設位置図・施設等の利用状況

■スポーツ関連施設及び公園図



■スポーツ関連施設及び公園一覧

No.	施設名	施設詳細	住所	電話番号
1	筑波総合体育館	アリーナ 柔剣道場	北条 1477-1	029 (867) 1058
2	大穂体育館	アリーナ	筑穂 1-10-4	029 (864) 3111
3	吉沼体育館	アリーナ	西高野 821	029 (865) 1204
4	吉沼野球場	野球場		029 (865) 1204
5	豊里体育館	アリーナ	高野 1197-20	029 (847) 8112
6	豊里多目的広場 (野球場)	野球場		029 (847) 8112
7	豊里テニスコート	テニスコート		029 (847) 8112
8	豊里柔剣道場	柔剣道場	今鹿島 4262	029 (847) 8112
9	東光台体育館	アリーナ	東光台 5-13-5	029 (847) 8272
10	谷田部総合体育館	アリーナ 柔剣道場、弓道場、卓球場、トレーニング室	谷田部 4711	029 (837) 0959
11	谷田部テニスコート	テニスコート	谷田部 5210	029 (838) 0257
12	谷田部多目的広場	多目的広場	谷田部 5665	029 (837) 0959
13	谷田部野球場	野球場		029 (838) 0257
14	桜総合体育館	アリーナ 柔剣道場、卓球場、トレーニング室	流星台 63	029 (857) 4021
15	高見原ソフトボール場	ソフトボール場	高見原 3-5-1	029 (876) 6600
16	高崎サッカー場	サッカー場	高崎 14-1	029 (876) 6600
17	あしび野多目的広場	多目的広場	泊崎 521-1	029 (876) 6600
	セキショウ・チャレンジスタジアム	サッカー場	山木 1562	029 (867) 5210
18	スポーツフィールド・芝生広場	多目的広場		029 (867) 5210
	ヘルスプラザ	プール、トレーニング室		029 (867) 5210
19	大池公園	テニスコート、野球場	北条 1477-1	029 (867) 1058
20	筑波北部公園	テニスコート	北原 1	029 (864) 4582
21	豊里ゆかりの森	テニスコート、キャンプ場	遠東 676	029 (847) 5061
22	さくら公園	テニスコート	豊里の杜 2-87-48	029 (847) 8272
23	東光台運動公園	テニスコート、野球場	東光台 5-1-2	029 (847) 8272
24	台山公園	テニスコート	緑ヶ原 2-4	029 (847) 8272
25	大崎公園	野球場	緑ヶ原 4-5	029 (847) 8272
26	二の宮公園	プール、テニスコート	二の宮 1-15	029 (851) 4439
27	羽成公園	テニスコート、野球場	観音台 1-27	029 (836) 0931
28	かつらぎ公園	テニスコート	春日 2-39-3	029 (851) 1788
29	手代木公園	テニスコート、野球場	松代 5-11	029 (852) 0009
30	小貝川スポーツ公園	テニスコート、野球場	高良田 455-1	029 (847) 6757
31	科学万博記念公園	テニスコート	御幸が丘 6	029 (856) 1005
32	桜南スポーツ公園	テニスコート、野球場	並木 3-21-2	029 (856) 3020
33	さくら運動公園	テニスコート、野球場	金田 1603	029 (857) 6200
34	竹園東公園	テニスコート	竹園 3-7	029 (851) 6323
35	つくばカピオアリーナ	アリーナ	竹園 1-10-1	029 (851) 2886
36	荻崎運動公園	テニスコート、野球場、多目的広場	下岩崎 2160-10	029 (876) 6600
37	ファミリースポーツ公園	テニスコート	菅間 269-1	029 (876) 6600
38	花畑近隣公園	プール (7、8月) ソフトボール場	花畑 3-11-5	029 (864) 2221 029 (883) 1402
39	川口公園		上郷 3190	
40	せせらぎ公園		豊里の杜 1-373-55	
41	反町の森公園		桜 1-3	
42	松見公園		天久保 1-4	029 (851) 5705
43	中央公園		吾妻 2-7-5	029 (858) 4090
44	さくら交通公園		吾妻 4-3-3	029 (851) 6323
45	大清水公園		竹園 1-5-2	
46	竹園公園		竹園 2-19-1	
47	並木公園		並木 2-13	
48	梅園公園		梅園 2-29	
49	松代公園		松代 3-2	
50	研究学園駅前公園		学園南 2-1	029 (849) 5060
51	健康増進施設いきいきプラザ	アリーナ	大曾根 4067-1	029 (864) 5089
52	筑波ふれあいの里	キャンプ場	臼井 2090-20	029 (866) 1519
53	荻崎こもれび六斗の森	キャンプ場	六斗 1002 番地	029 (876) 5040
54	ふれあいプラザ	フィットネスプール	下岩崎 2164-1	029 (876) 2311
55	洞峰公園 (県営)	体育館、野球場、プール、テニスコート、多目的フィールド	二の宮 2-20	029 (852) 1432
56	赤塚公園 (県営)		稲荷前 11	
57	学園の杜公園		研究学園 5-21	
58	学園南公園		学園南 1-7	
59	葛城水辺公園		学園南 3-15	
60	学園広場公園		学園の森 2-18	
61	大久保公園		大久保 14	
62	香取台吉祥公園		島名 1077 外 (香取台 0-16 街区 61 画地)	
63	みどりの中央公園		みどりの中央 13	

(7) スポーツイベントの状況

■スポーツ大会の状況

市民が気軽に参加できる機会の促進や、本市のスポーツの振興のために、各種スポーツイベントを開催しています。市が主催するスポーツ大会としては、つくばマラソン、つくば健康マラソン大会、つくばウォークラリー大会、つくば陸上競技選手権大会、つくば市長杯、市民大会、つくばリレーカーニバルの各種大会があります。いずれも令和3年度は新型コロナの影響で中止となっておりますが、つくばマラソンはスマートフォンアプリを用いたオンライン大会を代替実施しています。

つくばマラソンは本市最大のスポーツイベントとして定着してきており、毎年市内外からの参加が集い、参加申込者は18,000人、ボランティア数は1,000人を超えます。「マラソンを科学する」という大会テーマのもと、マラソンを様々な角度から捉え、毎年進化してゆくマラソン大会を目指しています。令和3年度のオンライン大会では小型センサーにより走りを解析するプランが設けられました。

また、スポーツ鬼ごっこなどの幅広い世代が楽しめる新しい競技スポーツの大会も開催しています。

本市は「ランナーに愛されるまち」の実現を目指しており、マラソンやウォーキングなどのイベントが多様にあることが特徴の一つです。

■つくば市主催の大会

教室名	概要	対象	参加者数
つくばマラソン	フルマラソンの部、10kmの部のマラソン大会 大会のテーマは「マラソンを科学する」	高校生以上の健康な方	令和3年度中止※
つくば健康マラソン	小学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を目的とした大会。 ファミリーからシニアまでの計12種目 ファミリー・小学3～4年生：2km、 小学5～6年生：3km、中学生以上：5km	市内在住・在学の小学校低学年	令和3年度中止
つくばウォークラリー大会	指定のコースをグループで問題を解きながらゴールを目指す大会	市内在住の方	令和3年度中止
つくば陸上競技選手権大会	小学生、中学生、高校生、一般が参加する陸上競技大会	小学生以上	令和3年度中止
つくば市長杯	・少年サッカー大会（U-12） ・スポーツ少年団野球市長杯大会 ・つくば市長杯ミニバスケットボール大会	小学生以上	令和3年度中止
市民大会	野球、ソフトボール、バレーボール、バドミントン、テニス、剣道、バスケットボール、卓球の各種大会	市内在住の方	令和3年度中止
つくばリレーカーニバル（市共催）	チームで10kmリレーの部、フルリレーの部に分かれ、チームでリレー形式で競技する大会	小学生以上（フルリレーは高校生以上）	令和3年度中止
スポーツ鬼ごっこ大会（市共催）	U-9の部、U-12の部、シニアの部 各部でチームに分かれ競い合う。 予選グループ、決勝トーナメント方式の大会	市在住・在学・在勤の方で構成されたチーム	令和3年度中止

※つくばマラソンについては代替企画としてオンライン大会を実施
出所：スポーツ振興課、つくば市HP

つくばマラソンの参加者数とボランティア数は概ね横ばいで安定して推移しています。また、つくばウォークラリーは年々参加申込数が増加しています。つくばリレーカーニバルは過去5年間で台風やコロナによる中止が続いており、継続した実施が難しい状況です。

■つくばマラソンの参加申込数及びボランティアの推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
参加申込数	18,052	18,113	18,112	中止	中止
ボランティア数	1,049	1,063	1,018	中止	中止

出所：スポーツ振興課

■つくば健康マラソンの参加申込数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
参加申込数	1,526	1,960	1,930	中止	中止

出所：スポーツ振興課

■つくばウォークラリーの参加申込数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
参加申込数	257	398	403	中止	中止

出所：スポーツ振興課

■つくばリレーカーニバルの参加者数（組数）の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
参加者数	1,215	中止（台風）	867	中止	中止
（組）	178	中止（台風）	129	中止	中止

出所：スポーツ振興課

■スポーツイベントの状況

市のスポーツイベントとしては、つくばスポーツフェスティバルやつくばウォークの日を開催しています。スポーツフェスティバルは、ボルダリングやラート、バドミントンなど様々な競技種目や障害者スポーツを体験できるコーナーを設けており、子どもから高齢者まで気軽に体験ができる他、スポーツフォーラムなども行っており市民のスポーツへの理解促進と交流する機会の提供を目的に実施しています。

また、毎月第1日曜日をつくばウォークの日と定め、健康づくりや介護予防を目的として市民が運動に親しむイベントを開催しています。約6～10kmのウォーキングコースが設定されており、一部は茨城県ヘルスロードとなっています。また、茨城県公式アプリ「元気アップ！りいばらき※」とも提携しています。

しかしながら、いずれのイベントも参加者数は年々減少傾向となっています。

その他として、市が後援となり開催しているイベントも複数実施しています。令和3年度は19事業開催されました。また、スポーツ協会の専門部会、スポーツ振興会及びスポーツ少年団で実施しているスポーツ行事などもあり、様々な場においてスポーツイベントが開催されています。

■つくばスポーツフェスティバル

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加申込数	1,107	1,212	805	中止	中止

出所：スポーツ振興課

■つくばウォークの日

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数	14	10	9	4	中止
参加延べ人数	1,509	431	818	469	中止

出所：健康増進施設いきいきプラザ

■その他つくば市後援のスポーツに関するイベント（令和3年度実績）

事業名
1 放課後子どもクラブ
2 WEEKENDスポーツ教室2021
3 茨城新聞創刊130周年記念 第46回茨城県選抜中学校野球大会
4 4R2Zライオンズクラブ少年野球大会予選会
5 ライオンズベースボールスクール無料体験会
6 令和3年度県民総合体育大会兼国民体育大会茨城県大会
7 ルートインBCリーグ公式戦
8 錬成稽古会
9 令和3年度第1回BIGCONCソフトテニスチャレンジカップ
10 2021-22 V.LEAGUE DIVISION2 MEN バレーボール茨城大会
11 第1回BIGCONCソフトテニス講習会
12 National Tryout Camp 3球団合同トライアウト
13 日本スポーツ振興協会杯ジュニアテニストーナメント2021
14 第14回三大学連携障がい者のためのスポーツイベント
15 第34回全日本ベンチプレス選手権大会
16 2022つくばりんりんロード100キロウォーク大会
17 一般社団法人つくば市スポーツ協会 スポーツ講演会
18 WEEKENDスポーツ教室2022
19 放課後子どもクラブ

※元気アップ！りいばらき…県民の健康づくり活動を推進することを目的として開発されたスマートフォン用アプリのことで、健康のための取組を行うことで、いばらきヘルスケアポイントを取得し、貯まったポイントにより優待を受けられたり、景品抽選などに申し込める制度となっています。

(8) スポーツ団体の状況

■つくば市スポーツ協会について

一般社団法人つくば市スポーツ協会（令和2年度より法人化し名称変更）は、つくば市民を対象とするスポーツ諸団体相互の緊密な協調連絡を図り、正しいスポーツの普及振興を通して、競技力の向上とスポーツ精神を養うとともに、市民の健康づくりの推進と体力向上に寄与することを目的に活動を行っている団体です。

つくば市スポーツ協会は、スポーツ振興会、専門部会、スポーツ少年団により構成されています。

スポーツ振興会は地域住民を対象に大穂、豊里、谷田部、桜、筑波、荃崎の6支部で構成されており、スポーツ大会、スポーツ教室、運動会、ハイキング、ウォークラリー、スポーツ交流会など各地域のスポーツの振興のための事業を企画・運営しています。また、各支部では地区単位での活動を行っています。

専門部会には、社会人を対象とした競技種目の各専門部会があり、毎年、各種大会や行事を開催しています。しかし、団体数・会員数ともに年々減少傾向にあり、特に新型コロナウイルス感染症が流行した令和元年度から令和2年度の団体数・会員数の減少が顕著となっています。

スポーツ少年団は、スポーツを通じた青少年の教育の場です。特定の少年少女だけではなく、一人でも多くの子どもたちにスポーツの楽しさと喜びを与え、健全なからだを心育てる地域の組織として活動しています。新型コロナウイルス感染症が流行した令和元年度から令和2年度の会員数の減少が目立つものの、団体数・団員数・指導者数共に回復の兆しがあります。

■スポーツ振興会の事業の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業数	50	55	49	11	11

出所：つくば市スポーツ協会事務局

■専門部会の団体数、会員数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体数	261	263	253	222	212
会員数		5,617	5,616	4,679	4,352

出所：つくば市スポーツ協会事務局

■スポーツ少年団の団体数、会員数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体数	97	97	96	89	92
団員数		2,654	2,630	2,150	2,305
指導者数		580	582	503	504

出所：つくば市スポーツ協会事務局

■区会の活動について

本市には、地域住民の相互の交流を深めるために自主的に組織され、各種コミュニティ活動を行っている区会があり、令和4年4月現在 601 区会、46,211 戸が加入しています。(区会加入率 41.6%) また、これらの区会はそれぞれが大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区、筑波地区、荃崎地区の地区連合会に属し、さらに地区連合会は、つくば市区会連合会のもとに組織されています。




区会では、スポーツ大会やレクリエーション活動などを実施しています。

■総合地域スポーツクラブについて

総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。①子どもから高齢者まで(多世代)、②様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、③初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持っています。

令和3年7月1日現在の設立済みクラブ数は、全国で3,439クラブ、茨城県(44市区町村)には50クラブがあり、クラブ育成率は86.4%となっています。また、つくば市内には、NPO法人つくばフットボールクラブ(つくばFC)、NPO法人Next one.、NPO法人日本スポーツアカデミーの3つの総合型地域スポーツクラブがあります。

■つくば市の総合型地域スポーツクラブ

NPO法人つくばフットボールクラブ (茨城スポーツネットワーク)	NPO 法人 Next One.	NPO 日本スポーツアカデミー
		
<p>すべての人が、生涯、素晴らしい環境でスポーツを楽しむことを目指して活動中。 【活動内容】グラウンドゴルフ、ヨガ、ハンドボール、バスケットボール、プレススポーツ教室など</p>	<p>スポーツを通じて、笑顔あふれる未来をつくることを目的に活動中。 【活動内容】こども体育教室、スポーツキャンプ、スポーツイベントなど</p>	<p>健康で明るく生きるをテーマに活動中。 【活動内容】大人のスポーツ教室、小学生スポーツ教室、幼児発育支援教室、アスリート育成・部活動支援、フィットネスや放課後事業など</p>

出所:各団体HPより

(9) スポーツを支える担い手（指導者やボランティア）の状況

■スポーツ指導者の現状について

日本スポーツ協会は、中央競技団体や都道府県体育・スポーツ協会等と連携し、スポーツ指導者を養成しています。現在、公認スポーツ指導者資格として5つの領域にわたる18種の資格を設け、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を育成しています。

つくば市では、コーチやスポーツリーダーなど、令和4年8月現在439人のスポーツ指導者が活躍しています。

令和4年度において日本スポーツ協会やつくば市スポーツ少年団等が主催し、「スタートコーチ※養成講習会」が実施され、指導者の養成が進められています。

部活動の地域移行の取組が進むなか、部活動の指導にも対応できる指導者の養成が進められているところです。

※スタートコーチ（スポーツ指導者基礎資格）：地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等において、上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する者のこと（日本スポーツ協会）

■つくば市の日本スポーツ協会（JSP0）公認スポーツ指導者の登録者数

No.	資格名	H25	H29	R 4
1	コーチ1（旧：指導員）	87	111	117
2	コーチ3（旧：コーチ）	43	66	75
3	スポーツリーダー	22	30	30
4	コーチ2（旧：上級指導員）	20	16	17
5	コーチ4（旧：上級コーチ）	18	28	29
6	ジュニアスポーツ指導員	7	6	8
7	教師	6	6	4
8	スポーツプログラマー	3	5	5
9	アスレティックトレーナー	2	31	35
10	アシスタントマネージャー	1	8	10
11	スポーツドクター	-	-	65
12	上級教師	-	-	1
13	フィットネストレーナー	-	-	0
14	スポーツ栄養士	-	-	1
15	クラブマネージャー	-	-	4
16	スポーツトレーナー1級	-	-	0
17	スポーツトレーナー2級	-	-	0
18	スポーツデンティスト	-	-	1
19	スタートコーチ	-	-	9
20	コーチングアシスタント	-	-	28
	合計	209	307	439

※R4年8月1日現在
出所：市民部 スポーツ振興課

■スポーツ推進委員

本市では、つくば市スポーツ推進委員規則に基づきスポーツ推進委員が任命されています。スポーツ推進委員は、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、スポーツの実技の指導、スポーツの活動の促進のための組織の育成、スポーツ関係団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業への協力、その他スポーツに関する指導及び助言などの役割を担っています。

令和4年度の本市のスポーツ推進委員は大穂、豊里、谷田部、桜、筑波、荃崎の各地区から合計70名以内が任命されています。

■運動普及推進員

運動普及推進委員は市民自らが進んで健康づくりを行うことができるよう、日常生活の中に運動習慣を普及することを目的として、地域に密着した形で活動するボランティアです。それぞれのメンバーが、自分の得意なことを役割として担っており、現在は100名以上の会員が活躍しています。市では、運動普及推進員の養成講座を実施し、運動普及推進員を養成しています。

活動として、「つくばウォークの日」イベント運営（準備・整理体操など）、ウォーキングコースの下見、地区ウォーク（地区でのウォーキング）の企画・運営などを行っています。



出所：市 HP いきいきプラザ、運動普及推進員養成講座パンフレット

■学校スポーツ指導者

学校においては、各学校の部活動の顧問による指導が行われています。しかし、学校における体育・スポーツの指導は安全のために専門性が求められ、顧問教諭の指導法や運動部活動の在り方を検討する必要がありました。つくば市においても、地域移行に向けた取組が進められています。(P. 32 参照)

つくば市では運動部活動指導員として、外部指導員 25 名の配置を予定しており、令和 3 年度においては 16 名、18 の部活動に指導員を配置しています。

また、体育授業への外部指導員は専門技能を擁する種目や水泳指導などにおいて、平成 25 年度から派遣されています。令和 3 年度においては、ボール運動、機械運動、水泳等で 2 校に 3 名の指導員が配置されています。

■つくば障スポサポーター

本市では、障スポサポーター養成講座を実施し、「つくば障スポサポーター」を養成しています。障スポサポーターとは、市内外の障害者スポーツの振興のため、障害者スポーツに関わり、活躍する人材です。令和 4 年度現在 4 人のサポーターが登録されています。サポーターは、障害者スポーツ大会、イベントの運営補助や障害者スポーツイベント、教室、講座等への参加などの活動を行っています。

(10) トップスポーツチームとの連携について

■トップスポーツチームとの連携について

本市に拠点を置くトップスポーツチームとしては、バレーボールの V.LEAGUE Division2 (V2) に参加している「つくばユナイテッド Sun GAIA」、つくば F C の男子サッカーチーム「ジョイフル本田つくば F C」と女子サッカーチーム「つくば F C レディース」があり、多様な地域連携が行われスポーツの推進が図られています。

また、バスケットボールの B.LEAGUE 1 部 (B 1) に所属する「茨城ロボッツ」のマザータウンとなっており、相互連携の協定を締結している他、市内にアカデミーセンターを設置している「鹿島アントラーズ F C」とも協定を締結し、サッカーを通じた地域連携が行われています。さらに、自転車漫画の「弱虫ペダル」のオフィシャルチームである「弱虫ペダルサイクリングチーム」の拠点となっていることから連携協定を締結し、「自転車のまちつくば」として自転車の利用促進を図っています。

本市には筑波大学や筑波技術大学などの大学や数多くの企業を有しており、オリンピックやパラリンピック、世界選手権などに参加する選手や指導者などスポーツに関する人的資源が豊富です。

「する」スポーツの推進だけでなく、「みる」「ささえる」スポーツの推進のためにも、これらチームや団体、人材等との更なる連携や協力及び交流が期待されています。

■つくば市と連携・協働するチーム (ホームタウンのチーム)



つくばユナイテッド Sun GAIA



ジョイフル本田つくば F C
つくば F C レディース

スポーツ推進審議会における「スポーツ推進計画」審議スケジュール

スポーツ推進計画 目次	スポーツ推進審議会日程							
	令和4年度 第1回 6月29日	令和4年度 第2回 9月28日	令和4年度 第3回 3月15日	令和5年度 第1回 4～5月	令和5年度 第2回 6～7月	令和5年度 第3回 9～10月	令和5年度 第4回 11～12月	令和5年度 第5回 2～3月
I つくば市スポーツ推進計画について								
I-i スポーツの意義と価値		●						
I-ii 計画策定の目的		●						
I-iii 計画の位置づけ		●						
I-iv 計画期間		●						
II スポーツを取り巻く現状と課題								
II-i スポーツを取り巻く社会情勢の変化			●					
II-ii これまでの取組の実績と評価			●					
II-iii スポーツを取り巻く現状			●					
II-iv 課題の整理			●	●				
III 計画の基本的な考え方								
III-i 基本理念				●				
III-ii 基本目標と成果指標		●		●	●			
IV スポーツ推進に向けた取組								
IV-i 施策の体系				●	●			
IV-ii 具体的な取組					●	●		
IV-iii 計画の実現に向けた連携・協働体制					●	●		
V 計画の進捗管理・評価・見直し								
V-i 計画の進捗管理						●		
V-ii 計画の評価・見直し						●		

パブリックコメント

